

男女共同参画社会に関する 市民意識調査報告書

令和7年10月
総務部企画政策課

目次

I. 調査の概要.....	3
II. 調査結果.....	4
1. 回答者の属性.....	4
(1) 性別 (F1)	4
(2) 年齢 (F2)	4
(3) 職業 (F3)	4
(4) 居住年数 (F4)	5
(5) 結婚状況 (F5)	5
(6) 就労状況 (F6)	5
2. 男女平等と人権の尊重.....	6
(1) 男女の地位平等について.....	6
(2) 性別役割分担意識について.....	11
3. 学校教育.....	13
(1) 学校教育の場で必要なことについて.....	13
4. 就労.....	13
(1) 女性が働く環境について.....	17
(2) 女性が働きやすい理由について.....	18
(3) 女性が働きづらい理由について.....	22
(4) 望ましい仕事のあり方について.....	26
(5) 女性が役職に就くことについて.....	28
(6) 働きやすい職場づくりについて.....	30
5. 家庭生活.....	34
(1) 役割分担の現状について.....	34
(2) 役割分担意識について.....	40
6. DV (ドメスティックバイオレンス)	44
(1) DV の被害経験について.....	44
(2) DV を受けた年齢について.....	45
(3) DV 加害者の続柄について.....	49
(4) DV の内容について.....	51
(5) DV 相談について.....	55
(6) DV 相談先について.....	56
(7) DV 相談をしない理由について.....	60
(8) DV に対する見聞について.....	64
(9) 行政の DV 支援対応について.....	67
7. 性の多様性.....	71
(1) LGBTQ+ の認知について.....	71
(2) 性的少数者に対する環境について.....	72
(3) パートナーシップ宣誓制度の実施について.....	73
(4) パートナーシップ宣誓制度の対象者について.....	74
8. 市民と行政の役割.....	75
(1) 男女共同参画推進のためにやりたいことについて.....	75
(2) 活かすべき女性の視点について.....	79
(3) 行政の事業展開について.....	84
9. 自由記述意見.....	89
(付) 調査票	

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、八街市における市民の男女共同参画社会に関する考えや意見について把握し、八街市男女共同参画計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の項目

- (1)回答者の属性
- (2)男女平等と人権の尊重
- (3)学校教育
- (4)就労
- (5)家庭生活
- (6)DV(ドメスティックバイオレンス)
- (7)性の多様性
- (8)市民と行政の役割

3. 調査の方法

- (1)調査対象 市内に居住する満18歳以上の男女2,000人
- (2)抽出方法 住民基本台帳に基づく無作為抽出
- (3)調査方法 アンケート調査票の郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用法
- (4)調査期間 令和7年8月15日～9月30日

4. 回収結果

- (1)対象者数 2,000人
- (2)有効回収数 457件(内 郵送356件、インターネット101件)
- (3)有効回収率 22.9%

5. 報告書の見方

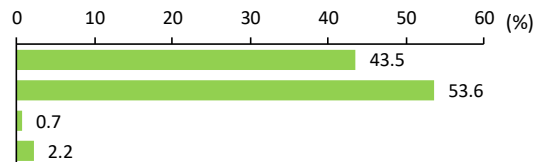
- (1)回答の比率(%)は、各設問の回答者数(n)を基数として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで示した。したがって、選択肢の中から1つだけ回答を選ぶ設問では、すべての選択肢の比率の合計が100%にならない場合がある。また、選択肢の中から複数の回答を選ぶ設問では、すべての選択肢の比率を合計すると100%を超える場合がある。
- (2)令和2年度に実施した調査と共通の設問については、調査結果の比較を行った。なお、令和2年度の調査は郵送配布・郵送回収法で実施している。今年度の調査は郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用法で行っており、調査方法が異なっている。

Ⅱ. 調査結果

1. 回答者の属性

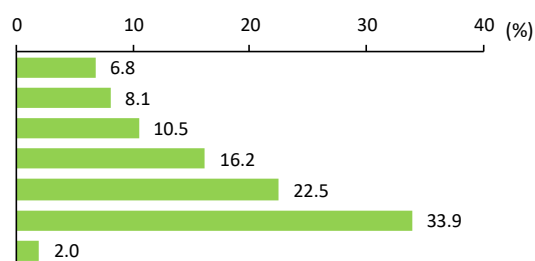
(1)性別 (F1)

	人数	構成比
1. 男性	199	43.5
2. 女性	245	53.6
3. どちらともいえない	3	0.7
無回答	10	2.2
全体	457	100



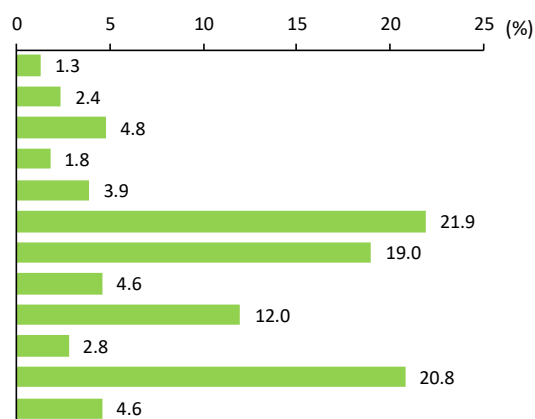
(2)年齢 (F2)

	人数	構成比
1. 20歳代以下	31	6.8
2. 30歳代	37	8.1
3. 40歳代	48	10.5
4. 50歳代	74	16.2
5. 60歳代	103	22.5
6. 70歳以上	155	33.9
無回答	9	2.0
全体	457	100



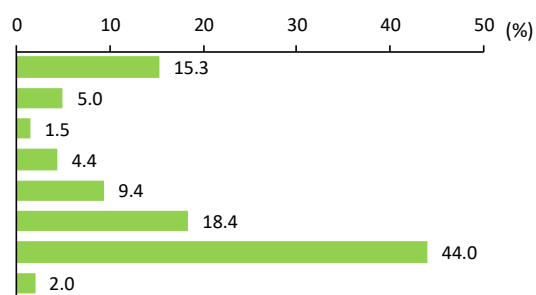
(3)職業 (F3)

	人数	構成比
1. 農業-事業主	6	1.3
2. 農業-家族従業者	11	2.4
3. 自営業・自由業-事業主	22	4.8
4. 自営業・自由業-家族従業者	8	1.8
5. 勤め人-管理職（部課長以上）	18	3.9
6. 勤め人-管理職以外の一般社員・職員	100	21.9
7. 勤め人-パート・アルバイト・内職	87	19.0
8. 勤め人-派遣・契約社員	21	4.6
9. 専業主婦・主夫	55	12.0
10. 学生	13	2.8
11. 無職	95	20.8
無回答	21	4.6
全体	457	100



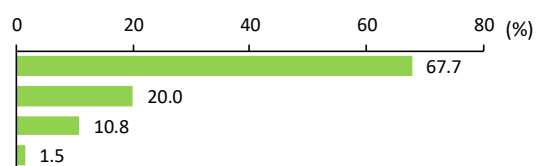
(4)居住年数 (F4)

	人数	構成比
1. 生まれたときから	70	15.3
2. 3 年未満	23	5.0
3. 3 年以上 5 年未満	7	1.5
4. 5 年以上 10 年未満	20	4.4
5. 10 年以上 20 年未満	43	9.4
6. 20 年以上 30 年未満	84	18.4
7. 30 年以上	201	44.0
無回答	9	2.0
全体	457	100



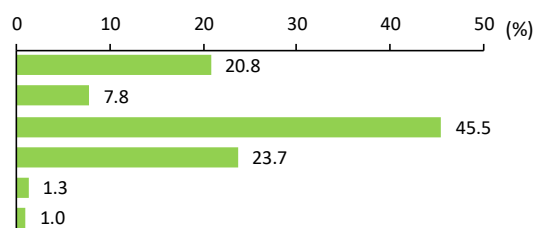
(5)結婚状況 (F5)

	人数	構成比
1. 現に婚姻をしている（事実婚を含む。）	308	67.7
2. 未婚	91	20.0
3. 離死別	49	10.8
無回答	7	1.5
全体	455	100



(6)就労状況 (F6)

	人数	構成比
1. 夫（男性のパートナー）だけが働いている	64	20.8
2. 妻（女性のパートナー）だけが働いている	24	7.8
3. ふたりとも働いている	140	45.5
4. ふたりとも働いていない	73	23.7
5. その他	4	1.3
無回答	3	1.0
全体	308	100



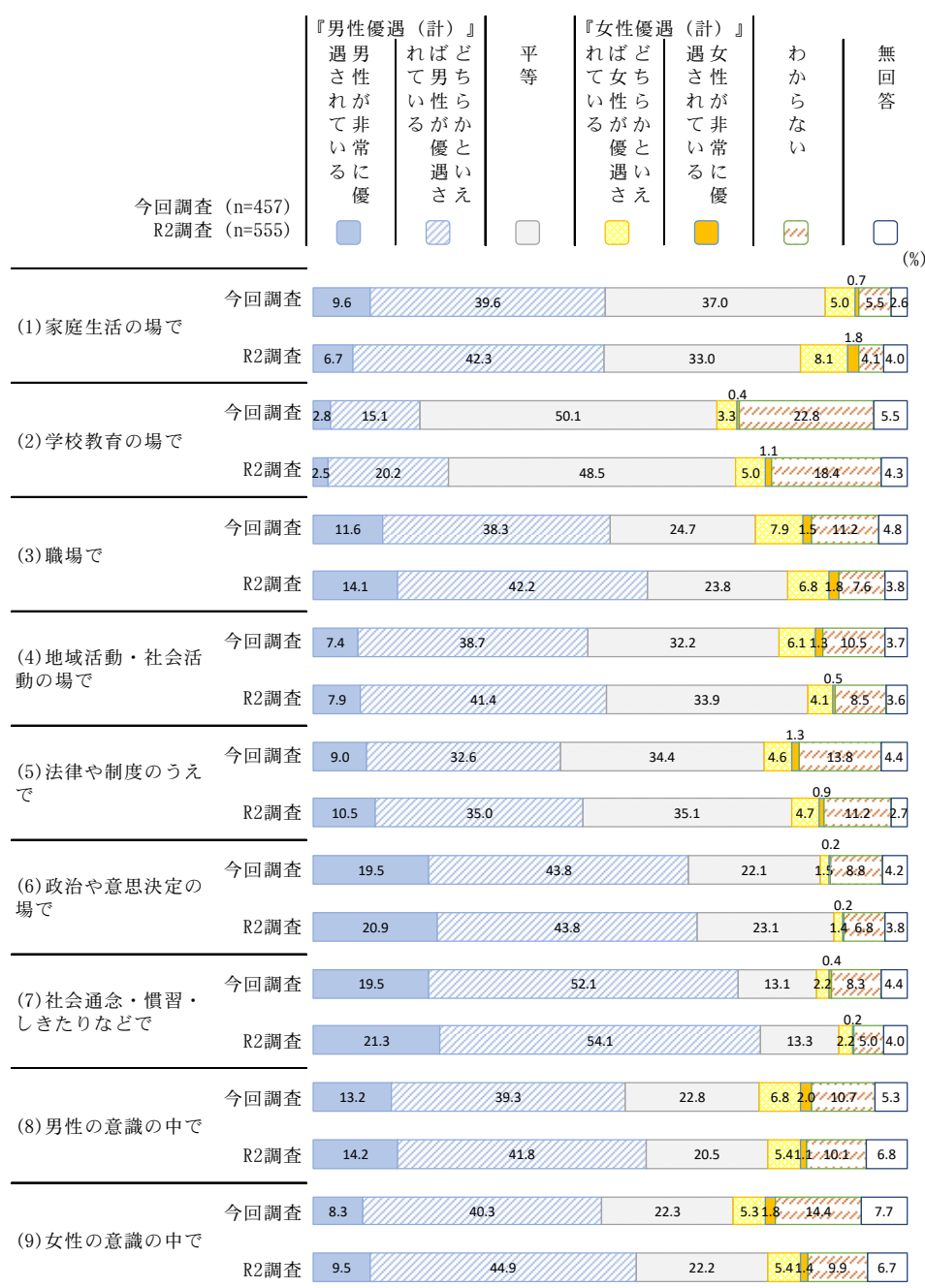
2. 男女平等と人権の尊重

(1)男女の地位平等について

問1.あなたは現在、次のような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。(1)から(9)のそれぞれについて、あてはまる番号をひとつずつ選んでください。

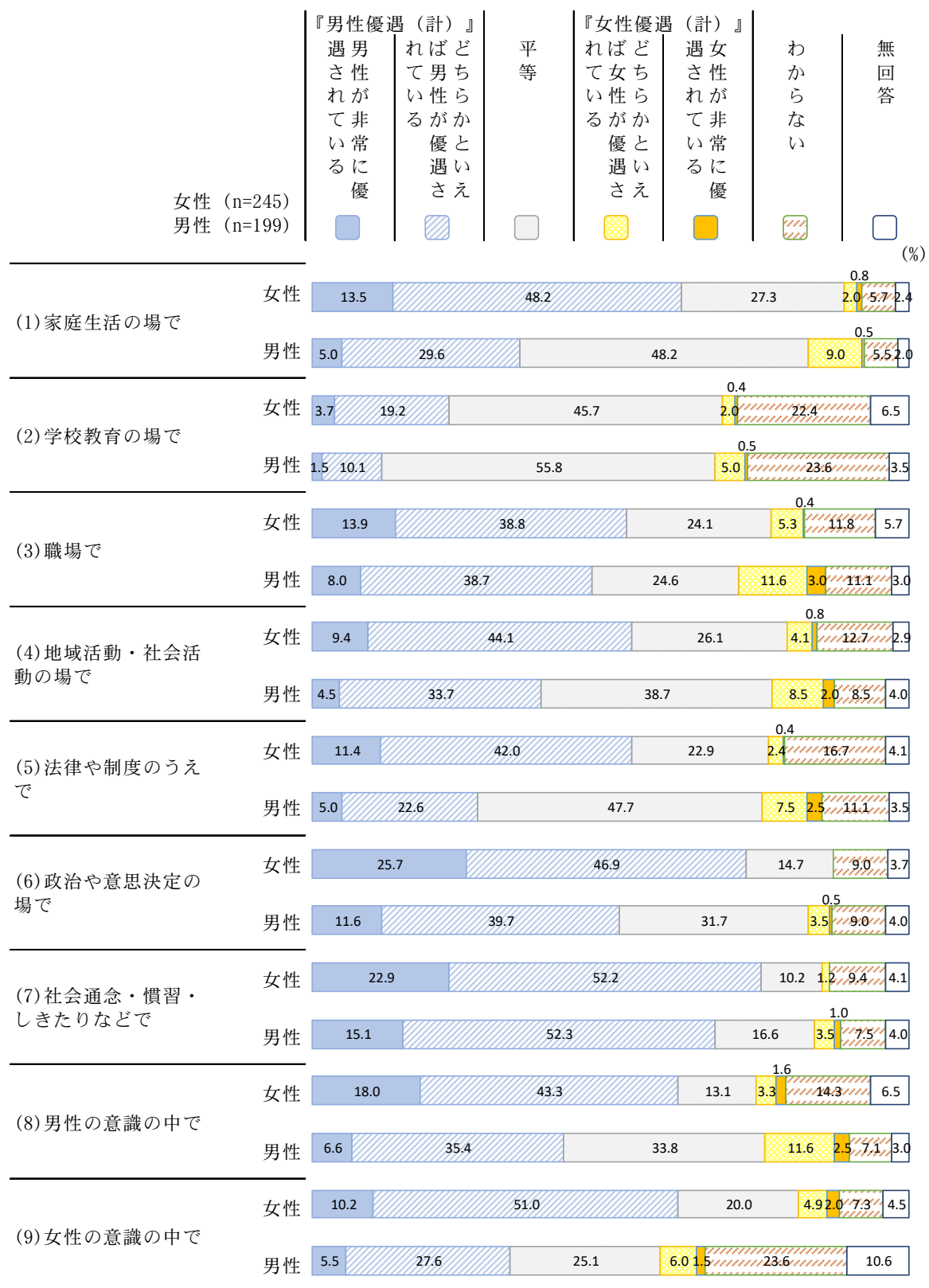
男女の地位平等について、『男性優遇(計)』が最も高い項目は、「(7)社会通念・慣習・しきたりなどで」の71.6%となっており、次いで「(6)政治や意思決定の場で」の63.3%となっている一方、『女性優遇(計)』が最も高い項目でも、「(3)職場で」の9.4%となっており、全体的に男性優遇の占める割合が高くなっている。

前回調査との比較としては、「平等」と答えた割合が「(1)家庭生活の場で」が4.0ポイント高くなっている一方、『女性優遇(計)』の割合は4.2ポイント低くなっている。



【性別】

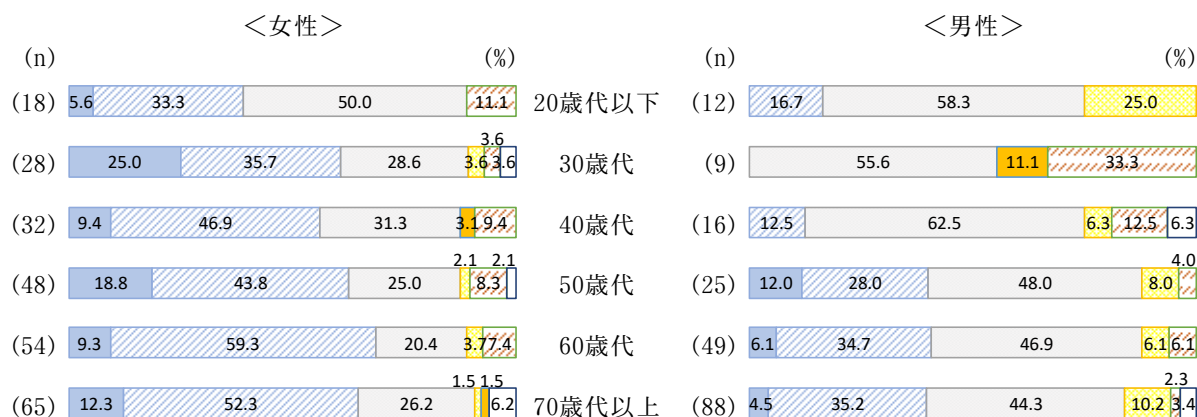
性別でみると、どの項目も女性は男性に比べ、『男性優遇（計）』の占める割合が高くなっており、特に「(9)女性の意識の中で」では女性が28.1ポイント高くなっている一方、男性は女性に比べ、「平等」の占める割合が高くなっている。



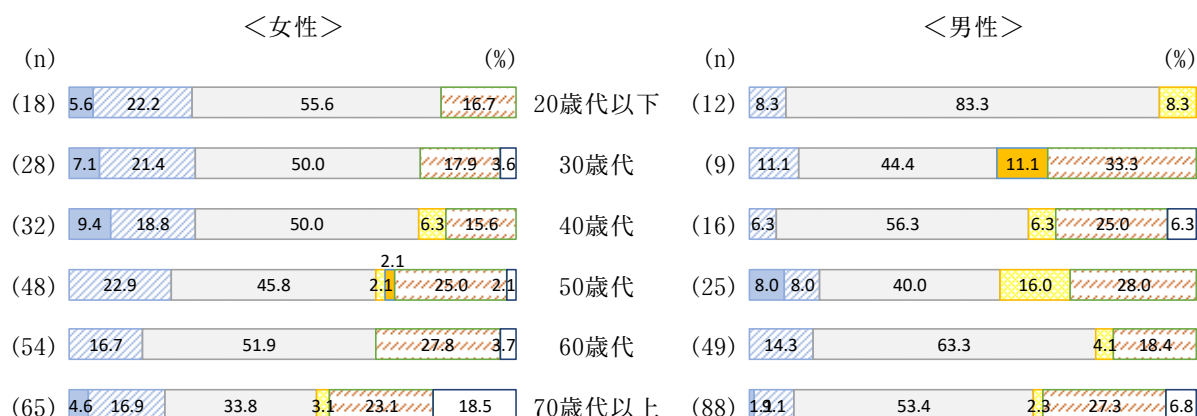
【性・年齢別】

性・年齢別でみると、『男性優遇(計)』の割合は、女性では40歳代の「(6)政治や意思決定の場」で、男性では20歳代以下の「(7)社会通念・慣習・しきたりなどで」が高くなっている。また、『女性優遇(計)』の割合は、女性では30歳代の「(3)職場で」、男性では30歳代の「(8)男性の意識の中で」が高くなっている。

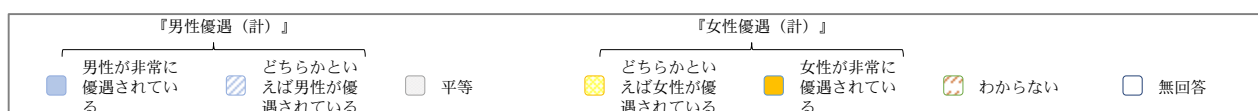
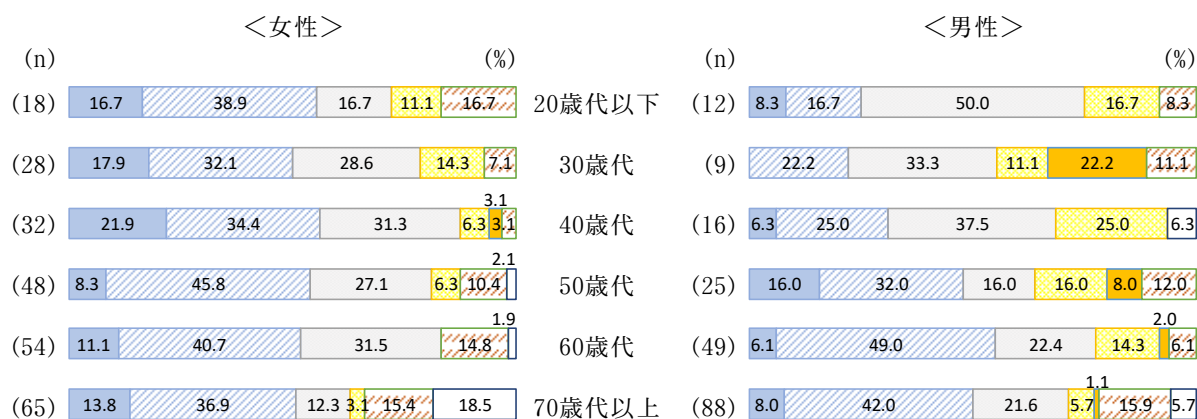
(1) 家庭生活の場で



(2) 学校教育の場で



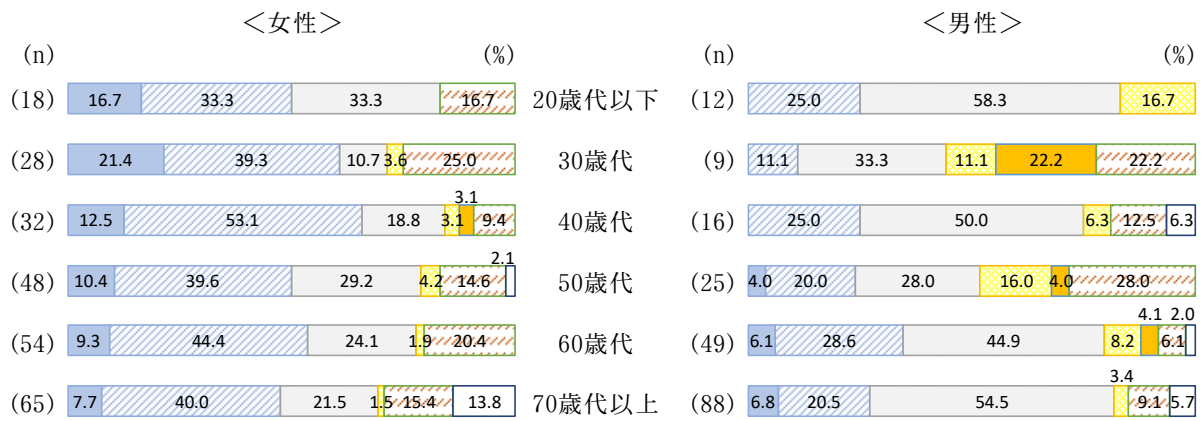
(3) 職場で



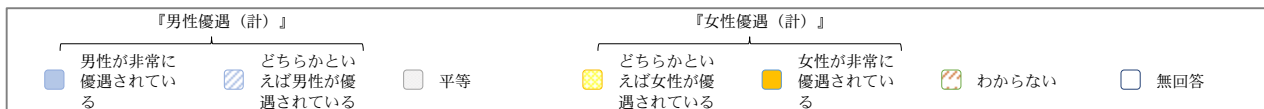
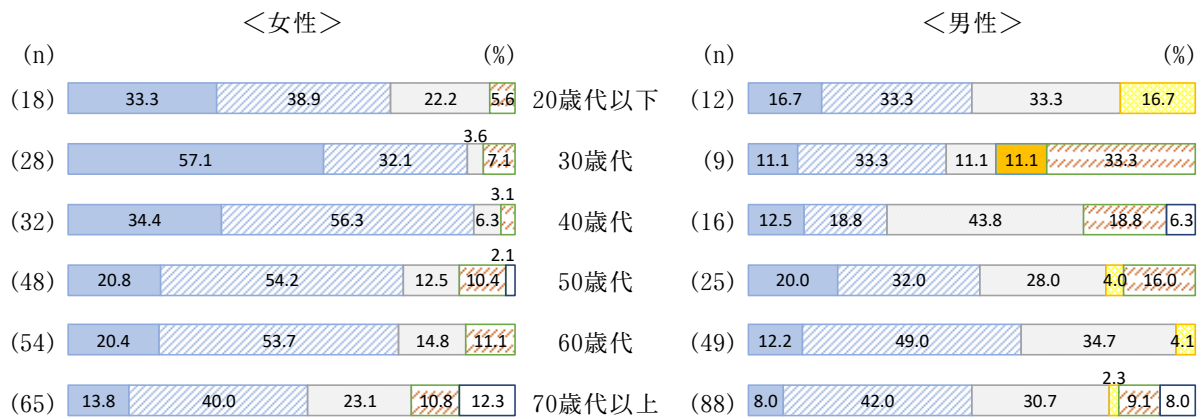
(4)地域活動・社会活動の場で



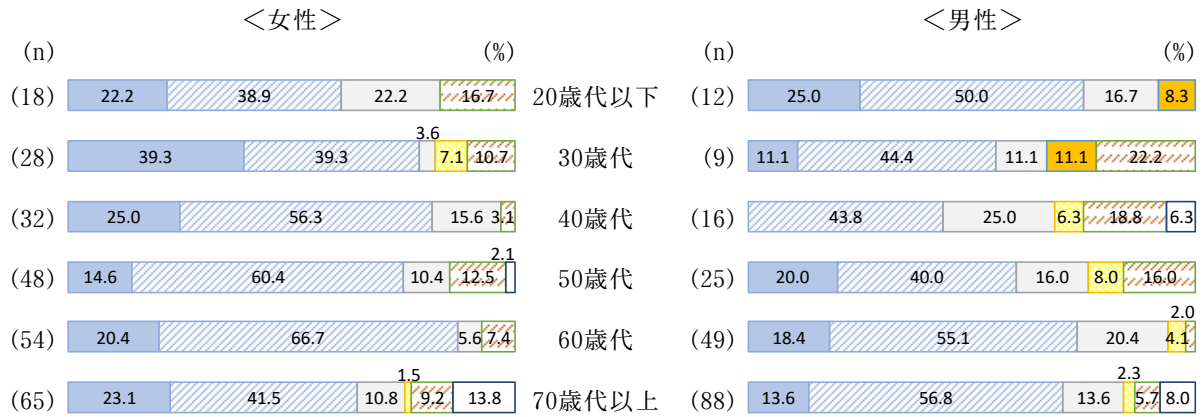
(5)法律や制度のうえで



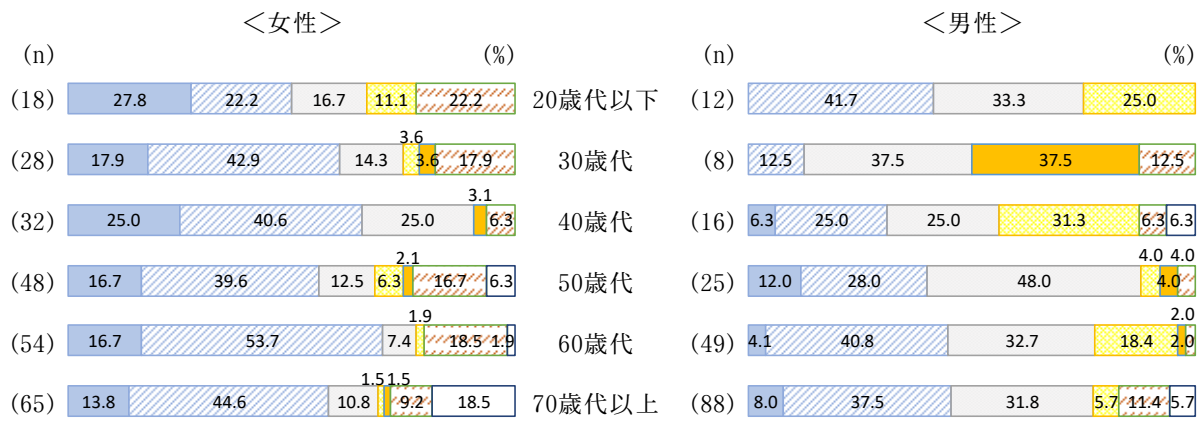
(6)政治や意思決定の場で



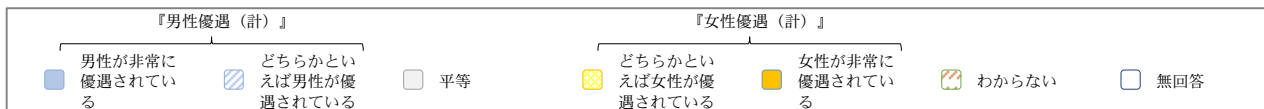
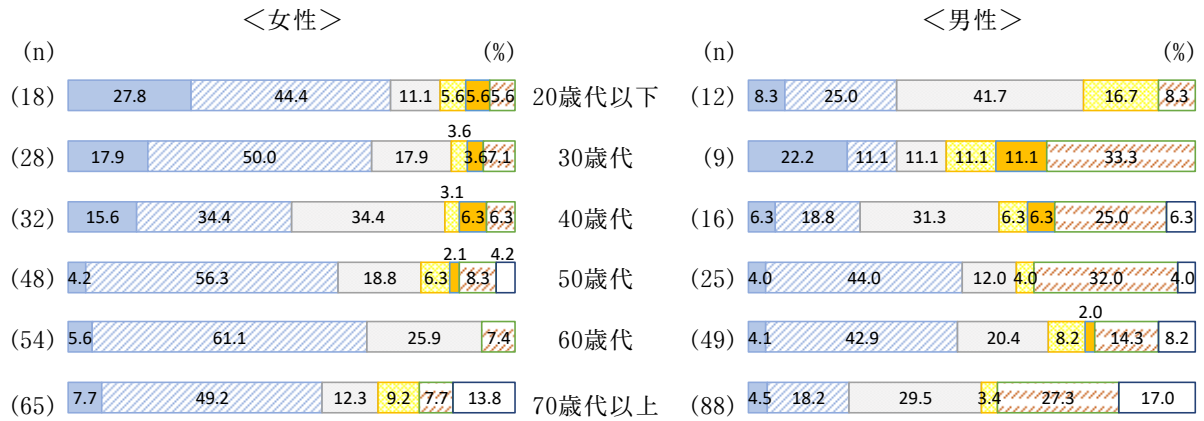
(7)社会通念・慣習・しきたりなどで



(8)男性の意識の中で



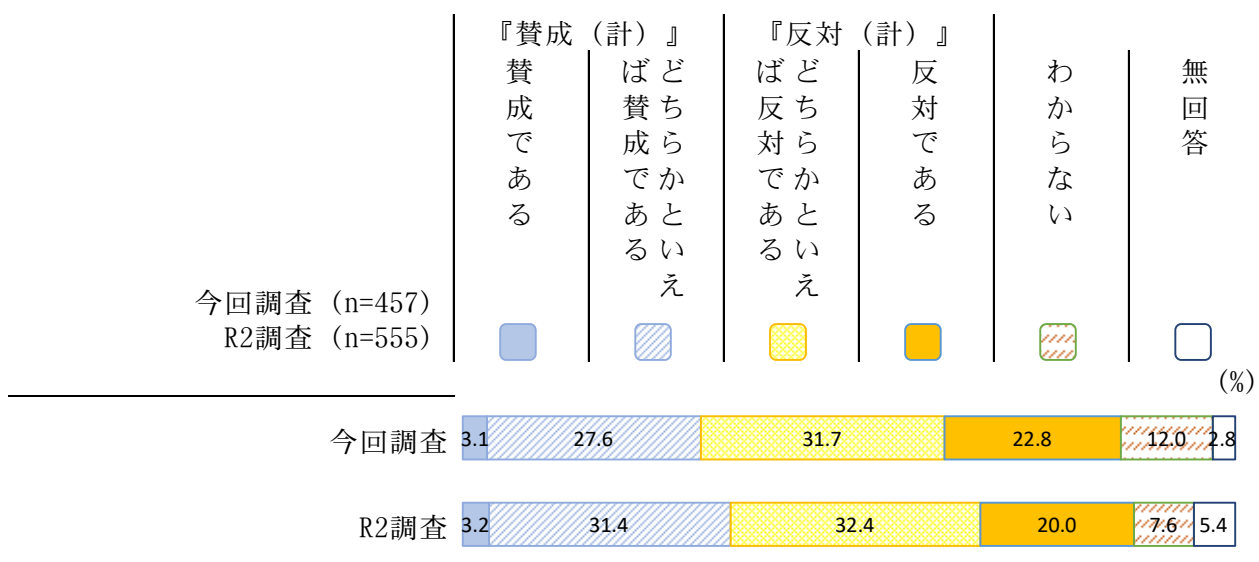
(9)女性の意識の中で



(2)性別役割分担意識について

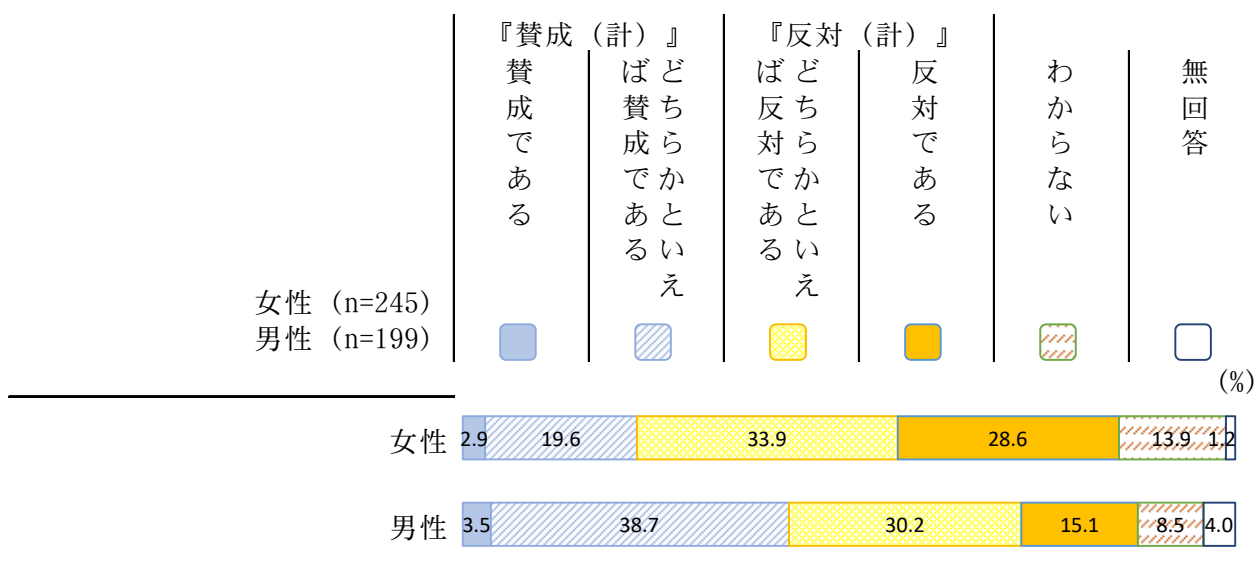
問2.あなたは「男性は仕事、女性は家事・育児」という考え方について、どのように思っていますか。あてはまる番号をひとつ選んでください。

性別役割分担意識について、『賛成（計）』は30.7%となっており、前回調査より3.9ポイント減少している一方、『反対（計）』は54.5%となっており、前回調査より2.1ポイント増加している。



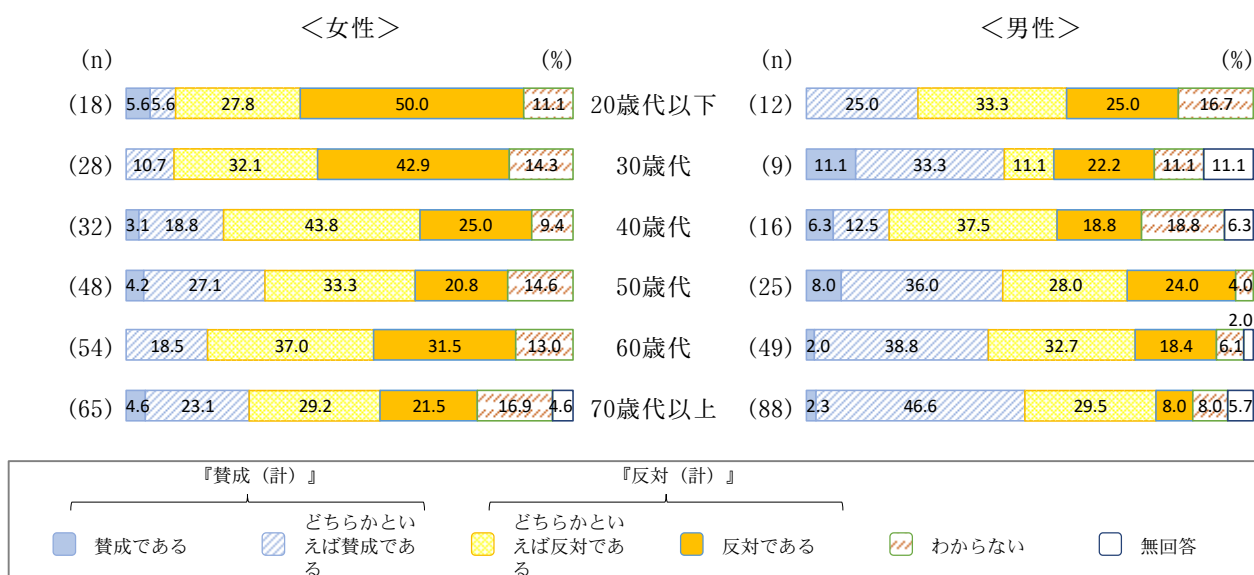
【性別】

性別でみると、男女ともに『反対（計）』の占める割合が高いが、女性は男性に比べ、『反対（計）』の占める割合が高くなっている一方、男性は女性に比べ、『賛成（計）』の占める割合が高くなっている。



【性・年齢別】

性・年齢別でみると、女性はこの年代も『反対（計）』の占める割合が高い一方、男性は30歳代、70歳代以上で『賛成（計）』の占める割合が『反対（計）』を上回っている。

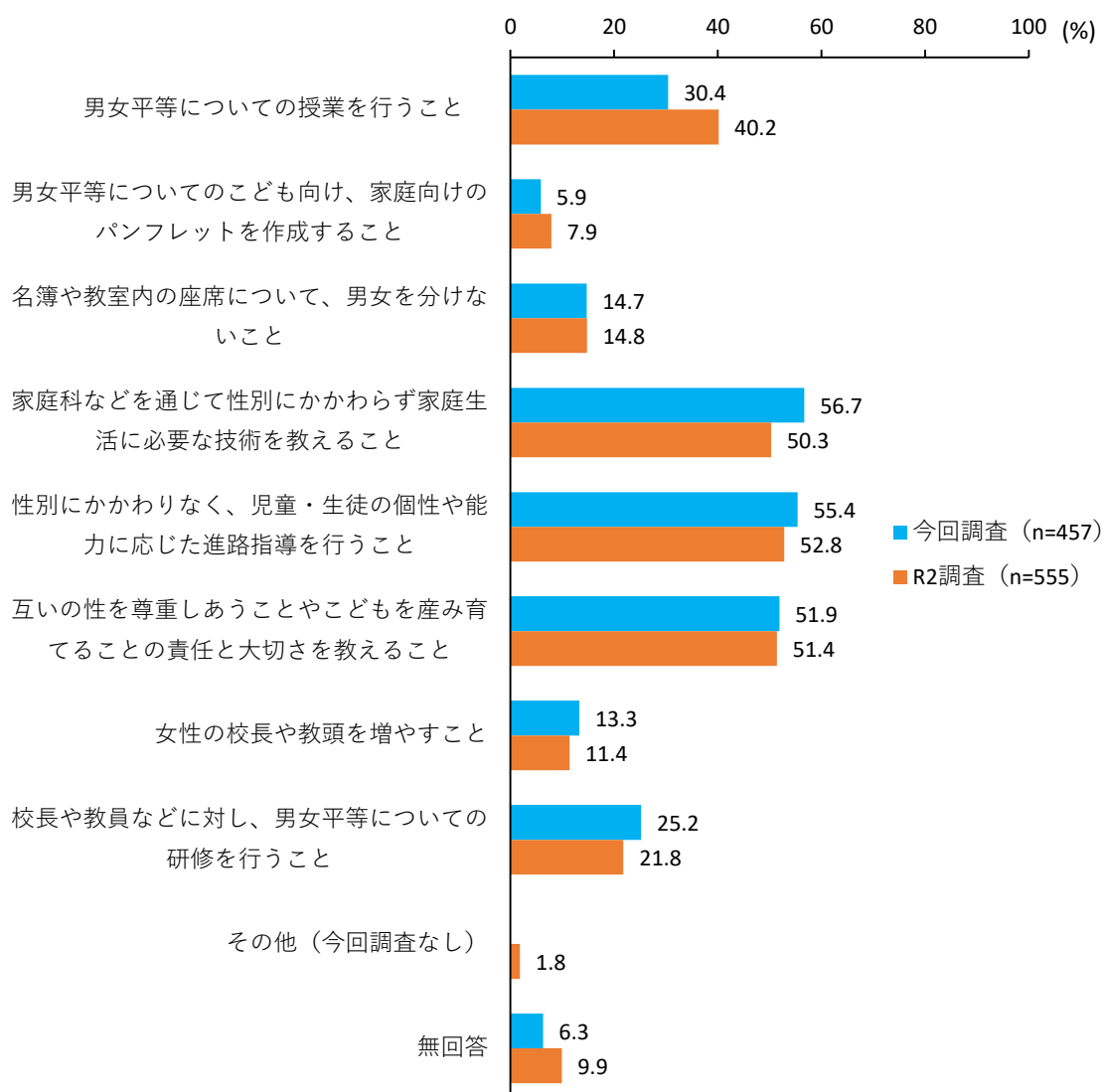


3. 学校教育

(1) 学校教育の場で必要なことについて

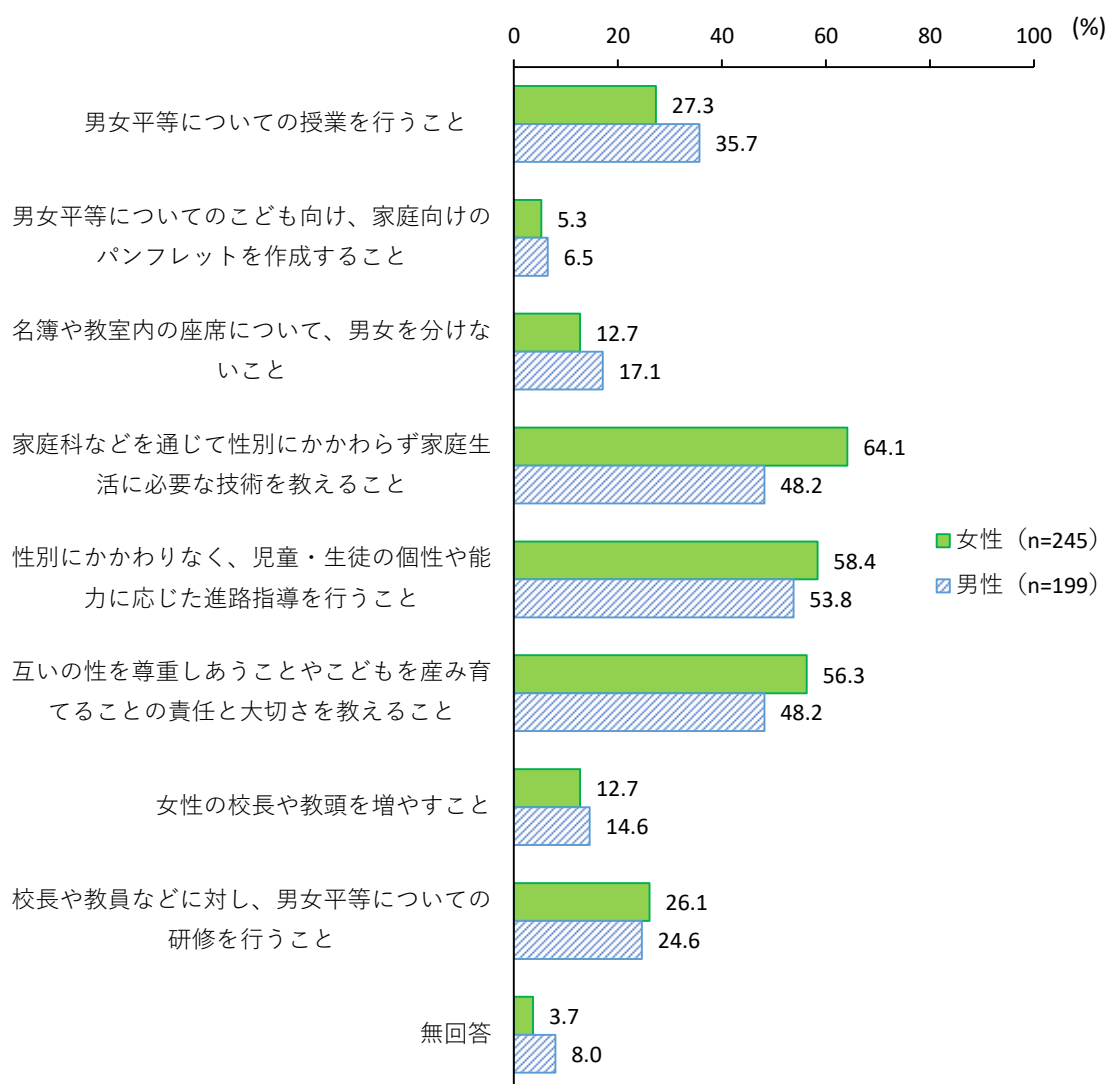
問3.あなたは男女共同参画をすすめるためには、学校教育の場で何が必要だと思いますか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

学校教育の場で必要なことについて、最も高い項目は、「家庭科などを通じて性別にかかわらず家庭生活に必要な技術を教えること」の56.7%となっており、次いで「性別にかかわらず、児童・生徒の個性や能力に応じた進路指導を行うこと」の55.4%となっている。



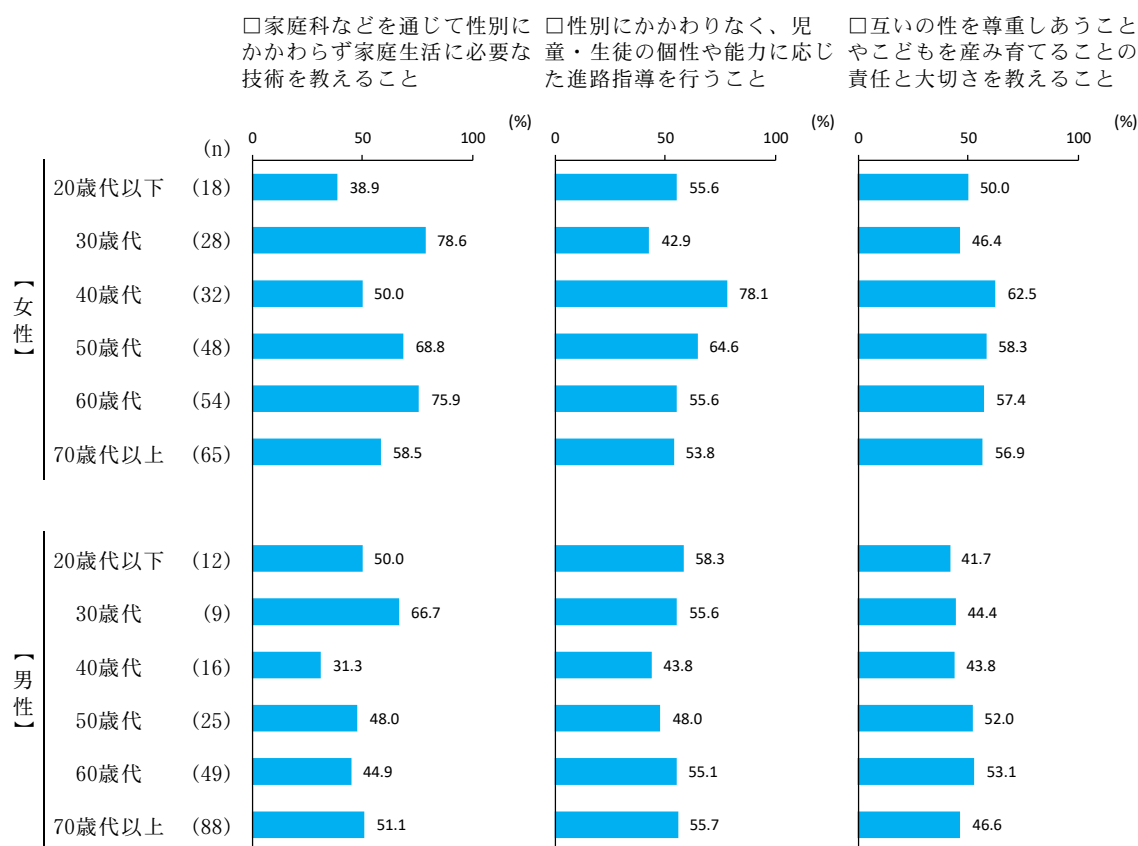
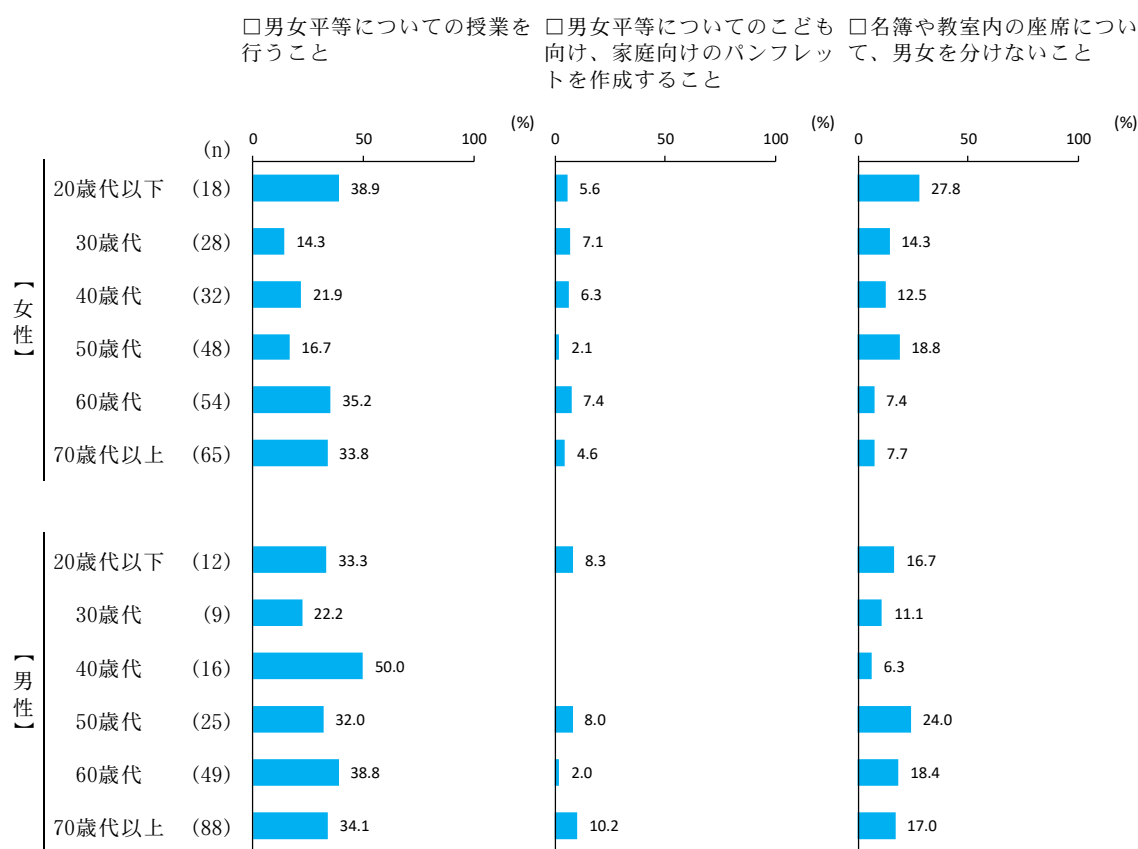
【性別】

性別でみると、「家庭科などを通じて性別にかかわらず家庭生活に必要な技術を教えること」は女性が男性に比べ15.9ポイント高くなっている。

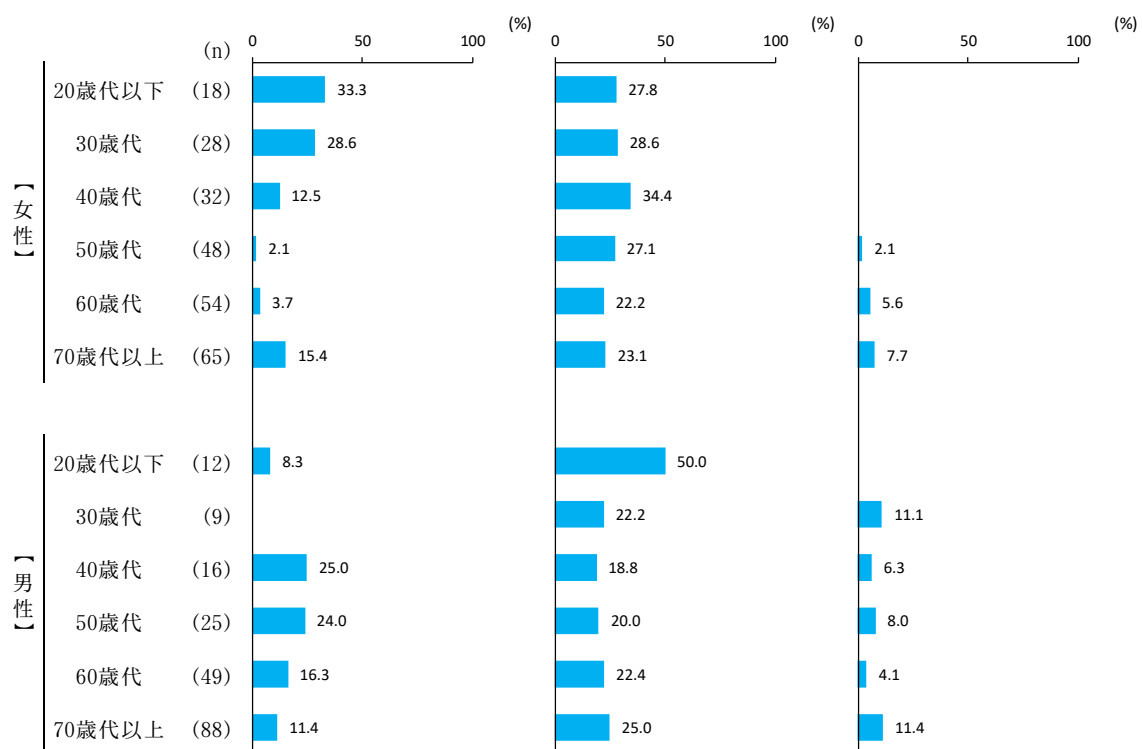


【性・年齢別】

性・年齢別でみると、「家庭科などを通じて性別にかかわらず家庭生活に必要な技術を教えること」は、男女ともに 30 歳代が高くなっている。



□女性の校長や教頭を増やすこと □校長や教員などに対し、男女平等についての研修を行うこと □無回答

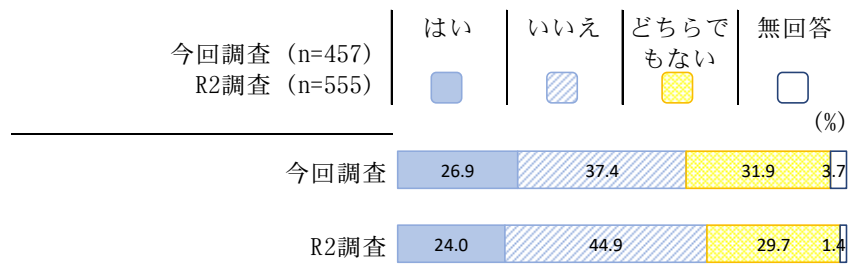


4. 就労

(1) 女性が働く環境について

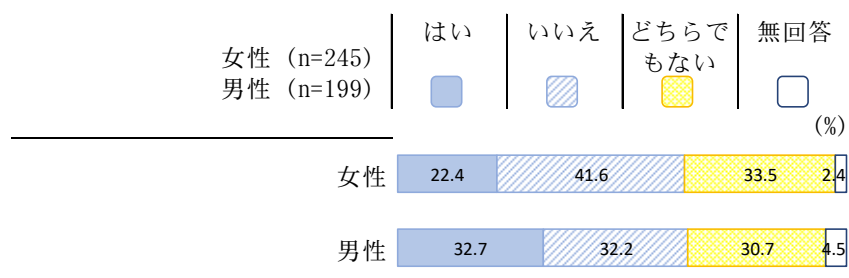
問4.あなたは現在の女性は働きやすい環境にあると思いますか。あてはまる番号をひとつ選んでください。

女性が働く環境について、「はい」は 26.9%となっており、前回調査より 2.9 ポイント増加している一方、「いいえ」は 37.4%となっており、前回調査より 7.5 ポイント減少している。



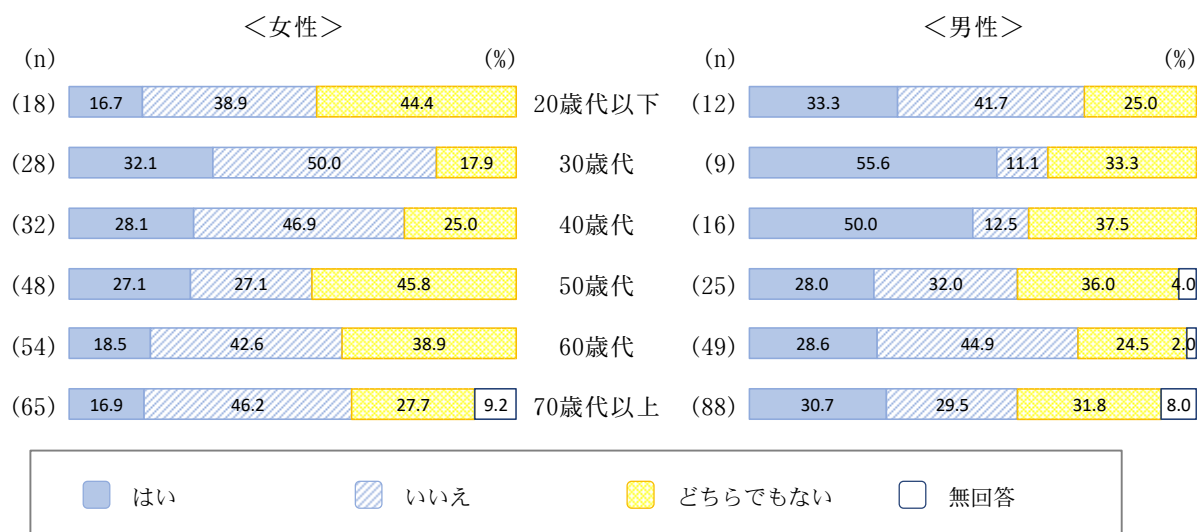
【性別】

性別でみると、女性は男性に比べ、「いいえ」の占める割合が高いが、男性は「はい」と「いいえ」の占める割合がほぼ同等となっている。



【性・年齢別】

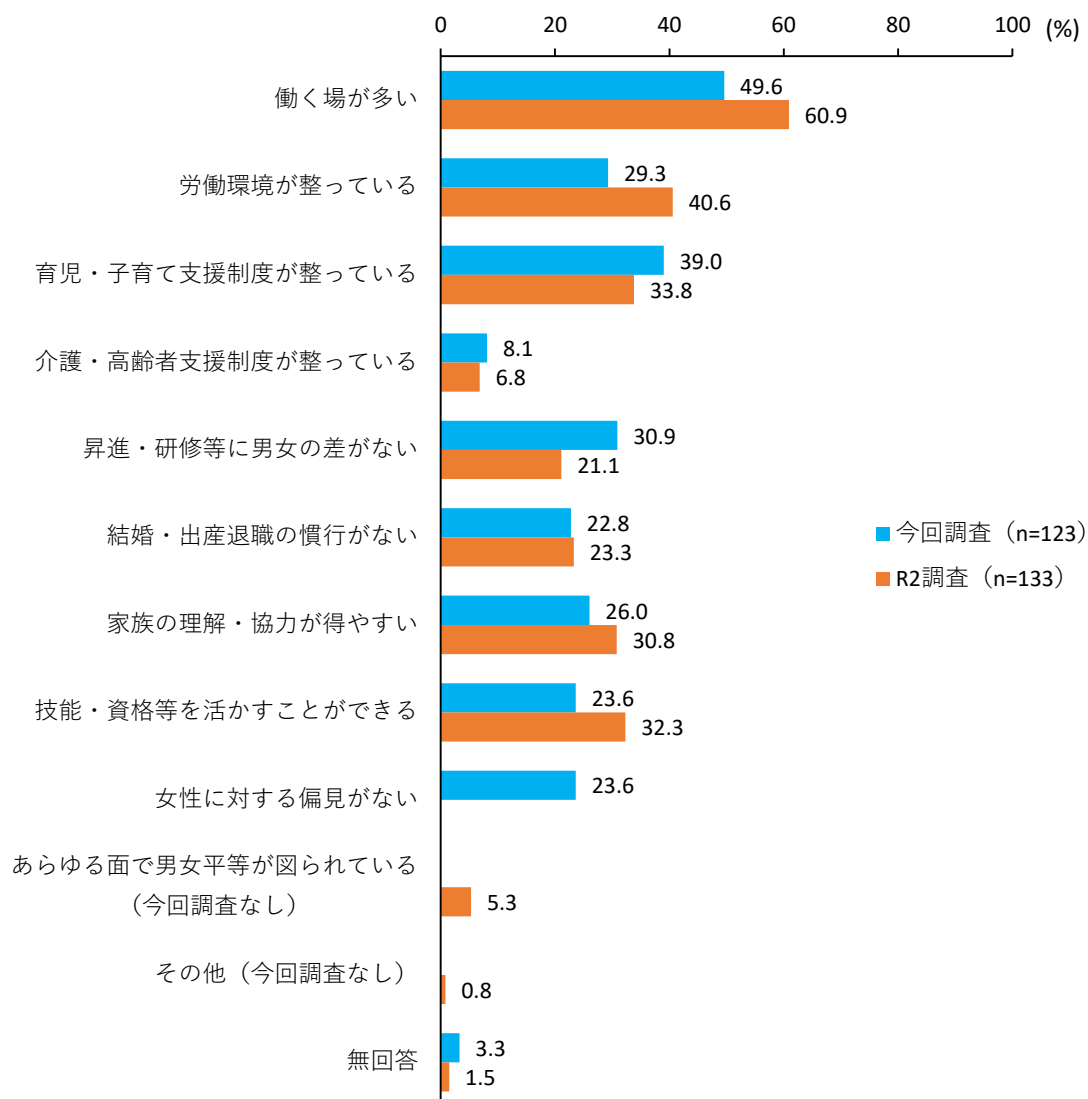
性・年齢別でみると、女性は 50 歳代を除いて「いいえ」の占める割合が「はい」を上回っている一方、男性は 30 歳代、40 歳代、70 歳代以上で「はい」の占める割合が「いいえ」を上回っている。



(2)女性が働きやすい理由について

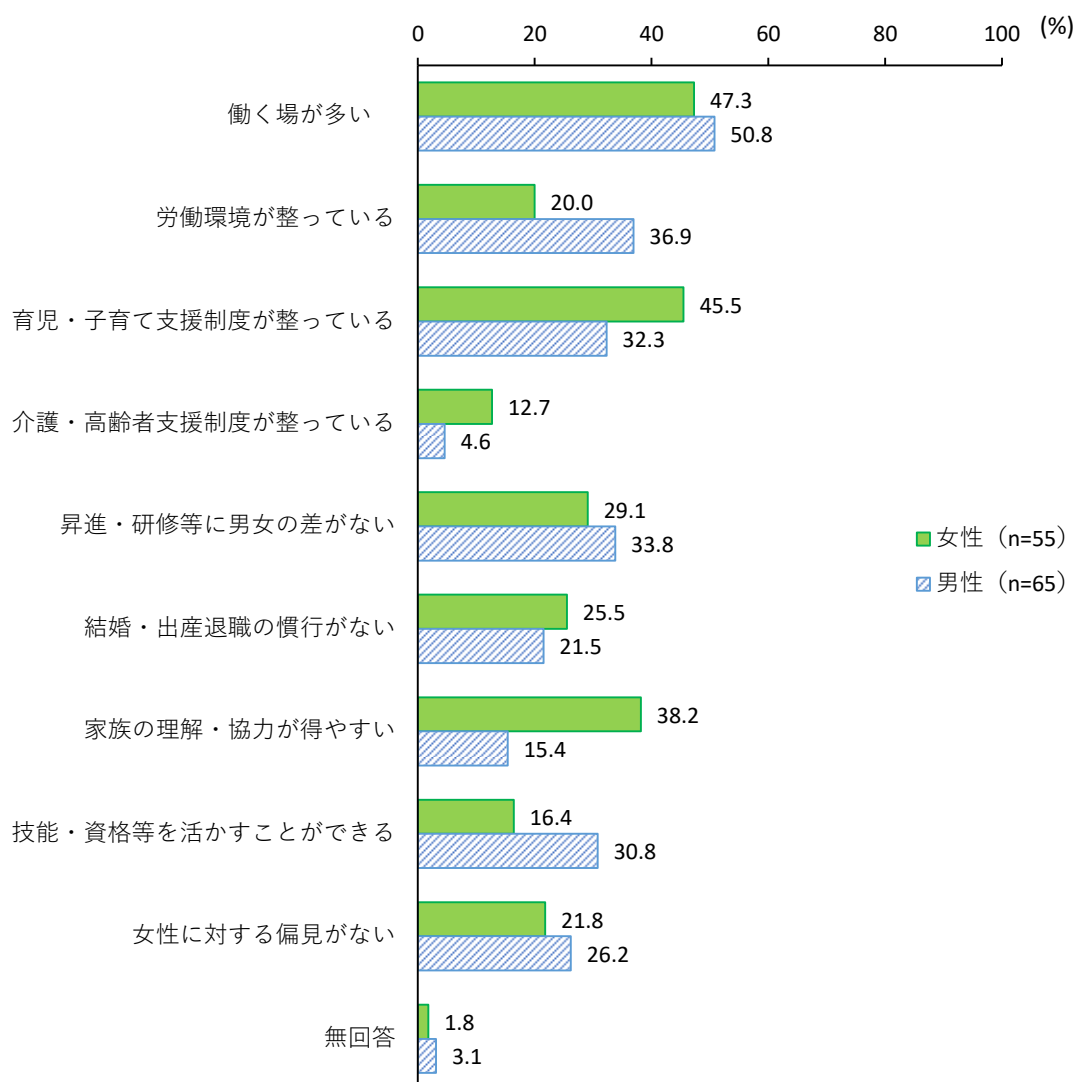
問5-1.現在の女性は働きやすい環境にあると思うのはどのような理由からですか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

女性が働きやすい理由について、最も高い項目は、「働く場が多い」の49.6%となっており、次いで「育児・子育て支援制度が整っている」の39.0%となっている。



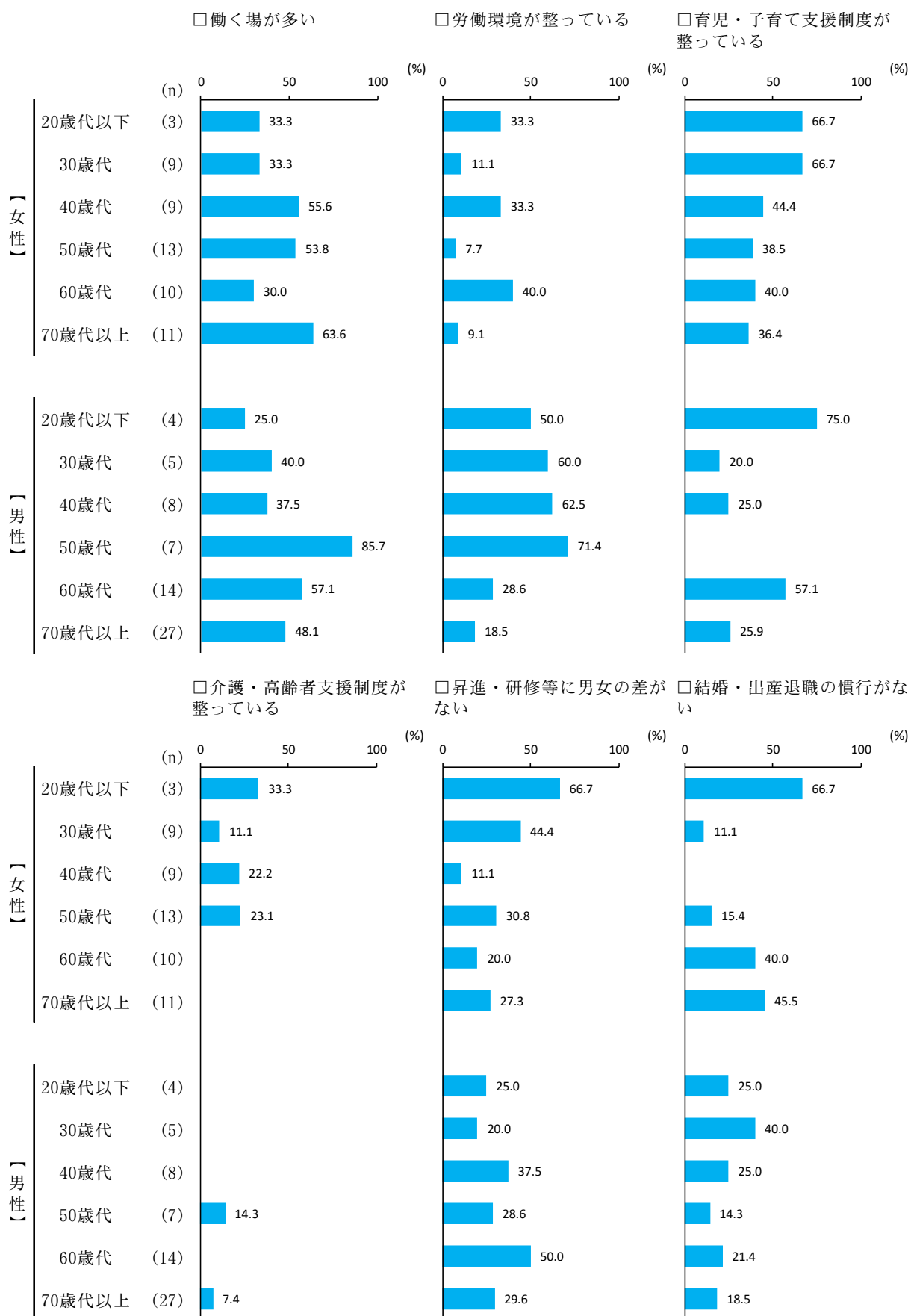
【性別】

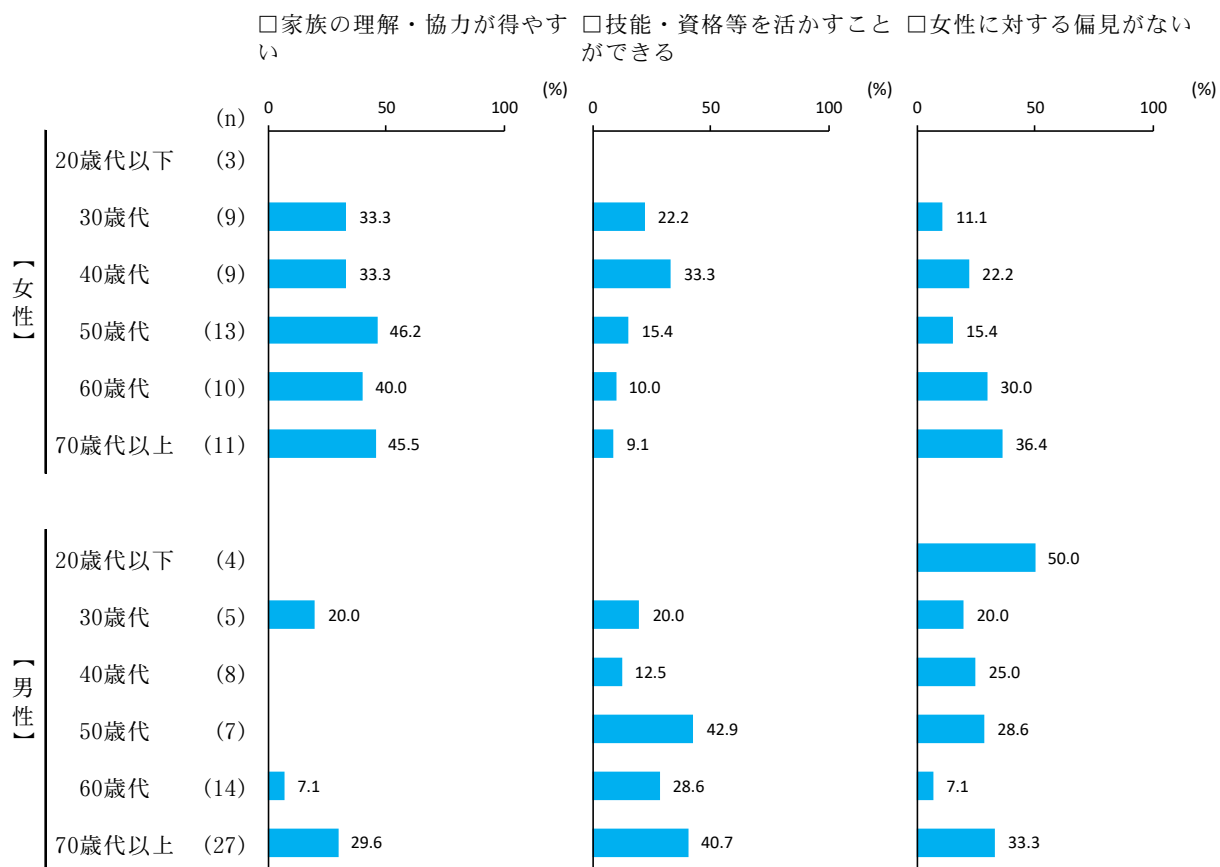
性別でみると、「家族の理解・協力が得やすい」は女性が男性に比べ 22.8 ポイント高くなっている。
また、「労働環境が整っている」は男性が女性に比べ 16.9 ポイント高くなっている。



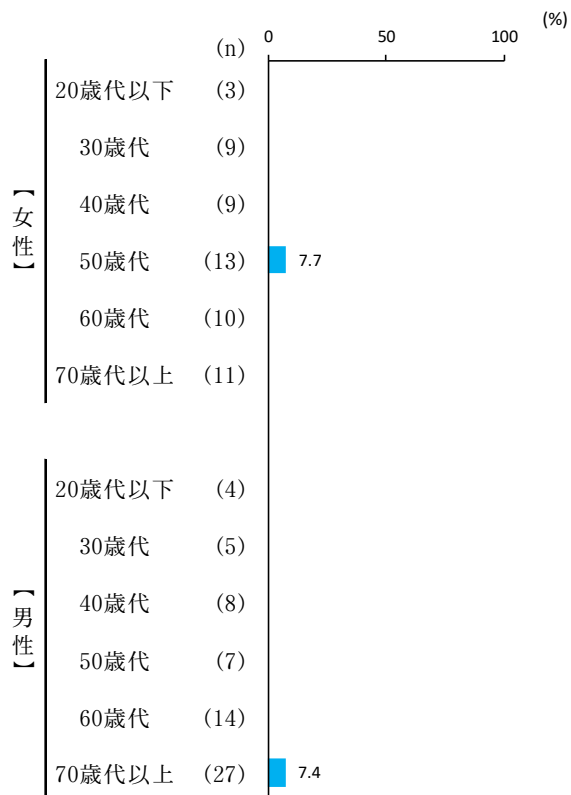
【性・年齢別】

回答者数が少ないため参考値として掲載する。





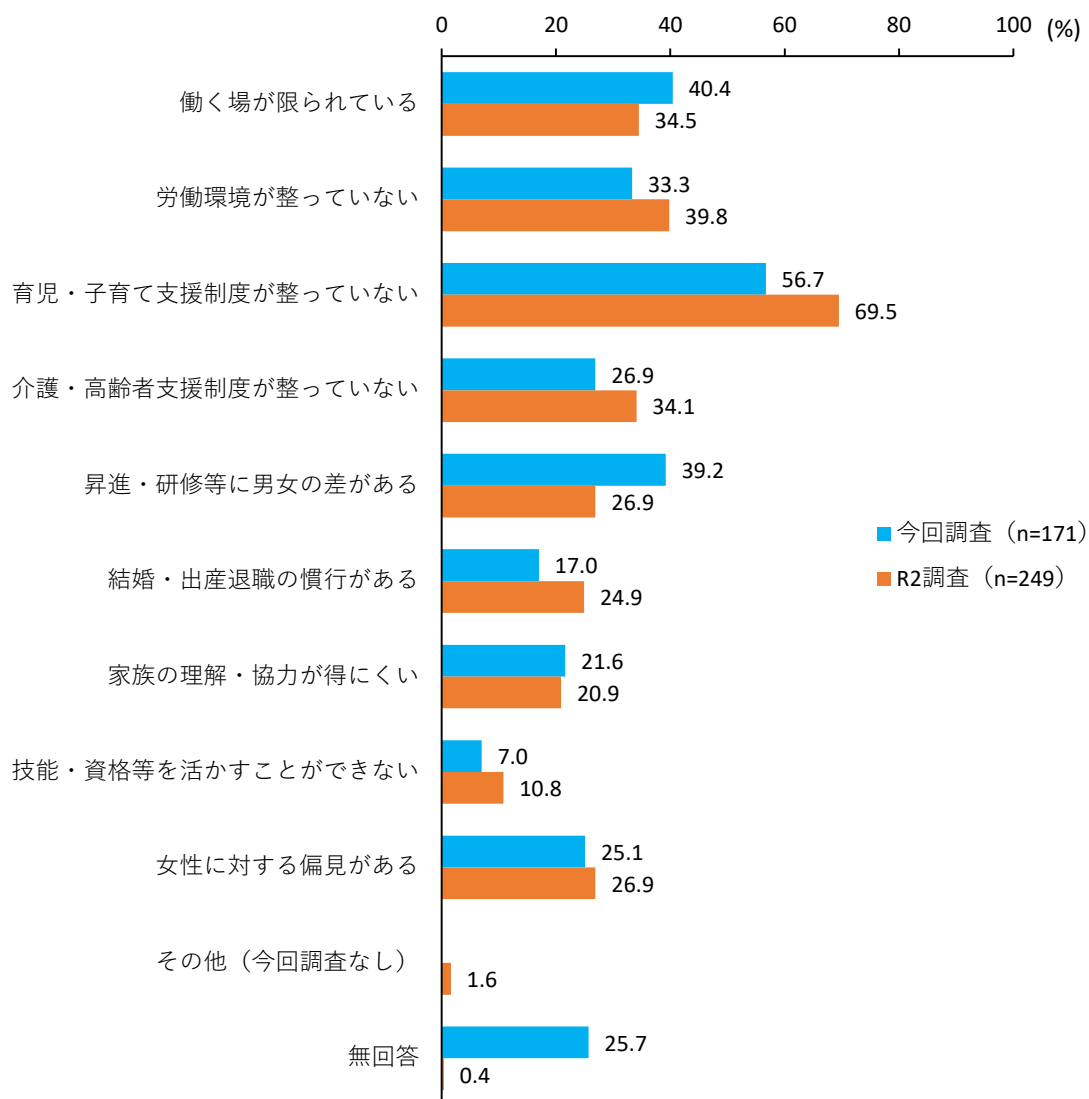
□ 無回答



(3)女性が働きづらい理由について

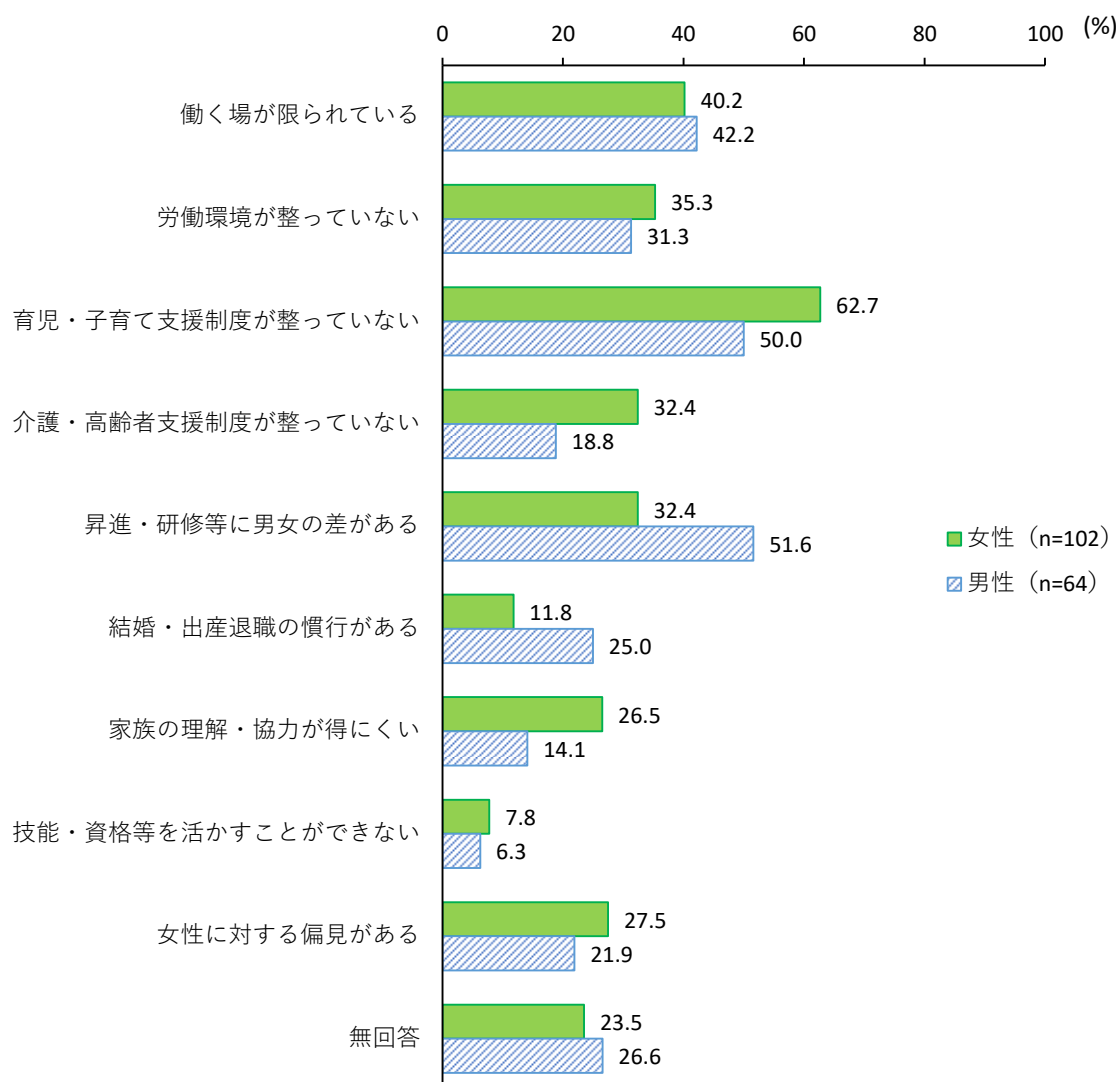
問5-2.現在の女性は働きやすい環境にないと思うのはどのような理由からですか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

女性が働きづらい理由について、最も高い項目は、「育児・子育て支援制度が整っていない」の56.7%となっており、次いで「働く場が限られている」の40.4%となっている。



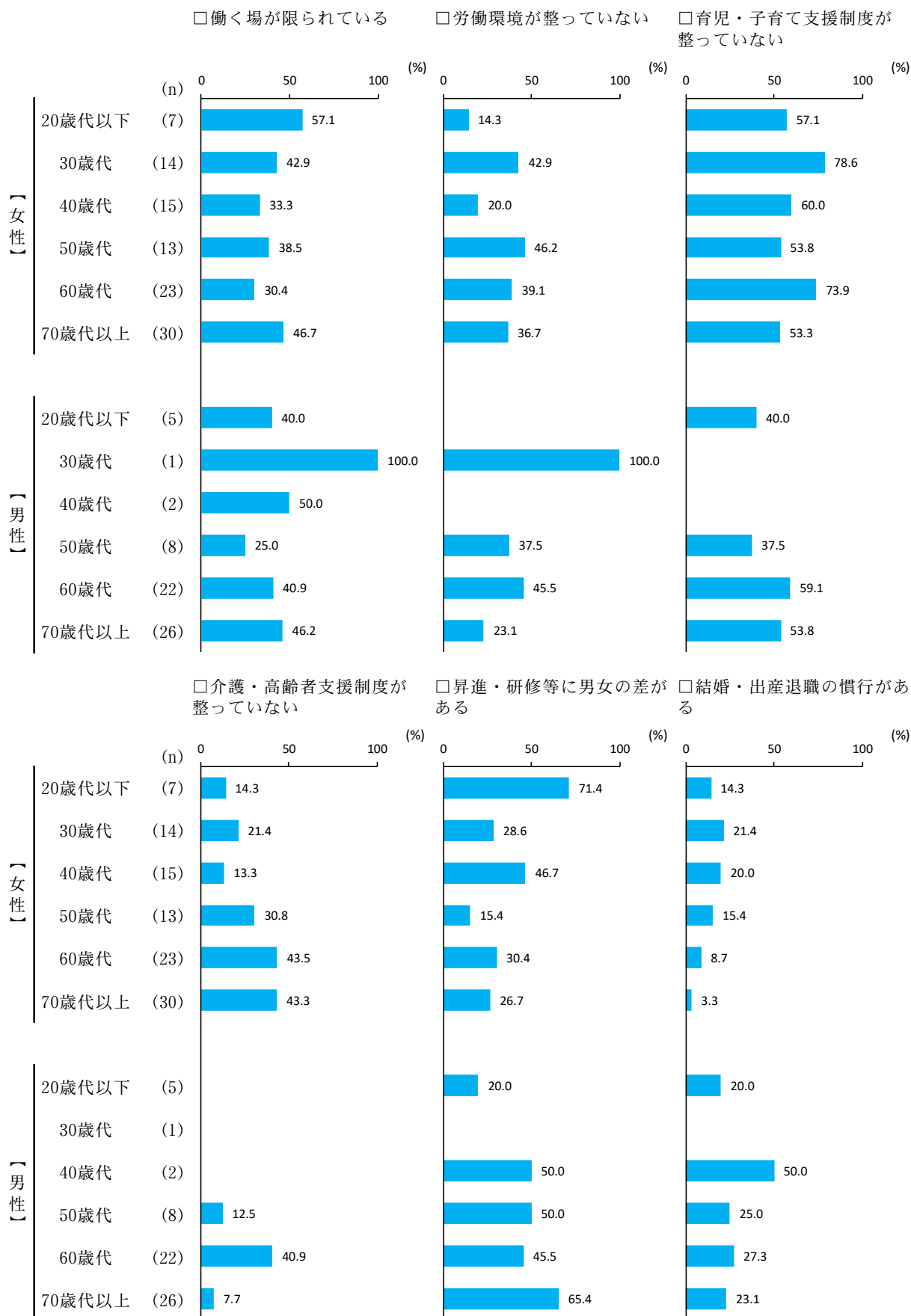
【性別】

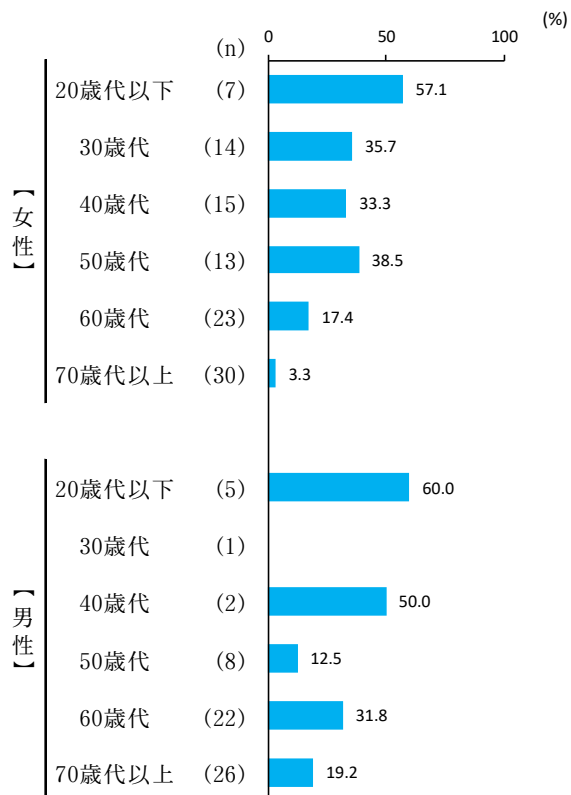
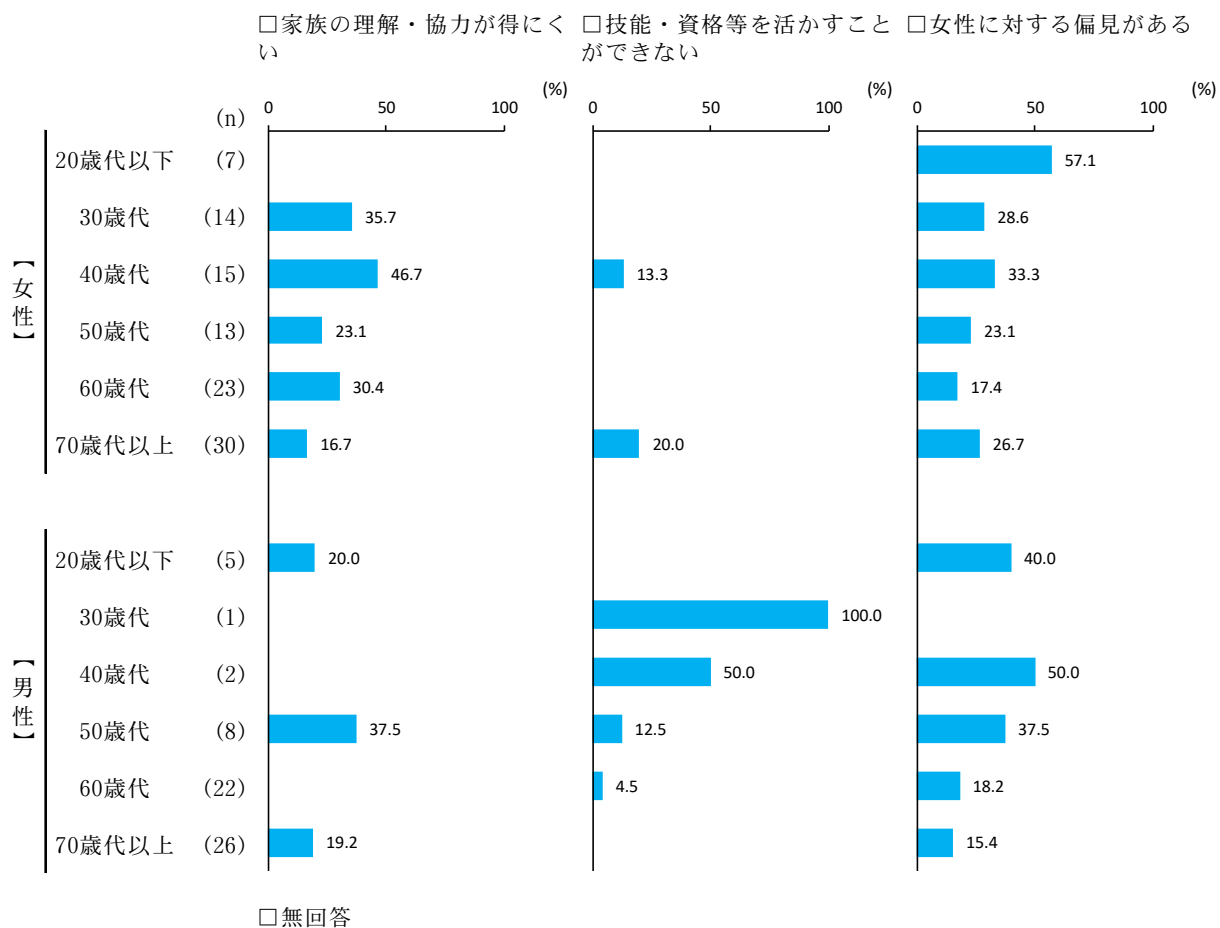
性別でみると、「介護・高齢者支援制度が整っていない」は女性が男性に比べ 13.6 ポイント高くなっている。また、「昇進・研修等に男女の差がある」は男性が女性に比べ 19.2 ポイント高くなっている。



【性・年齢別】

回答者数が少ないため参考値として掲載する。



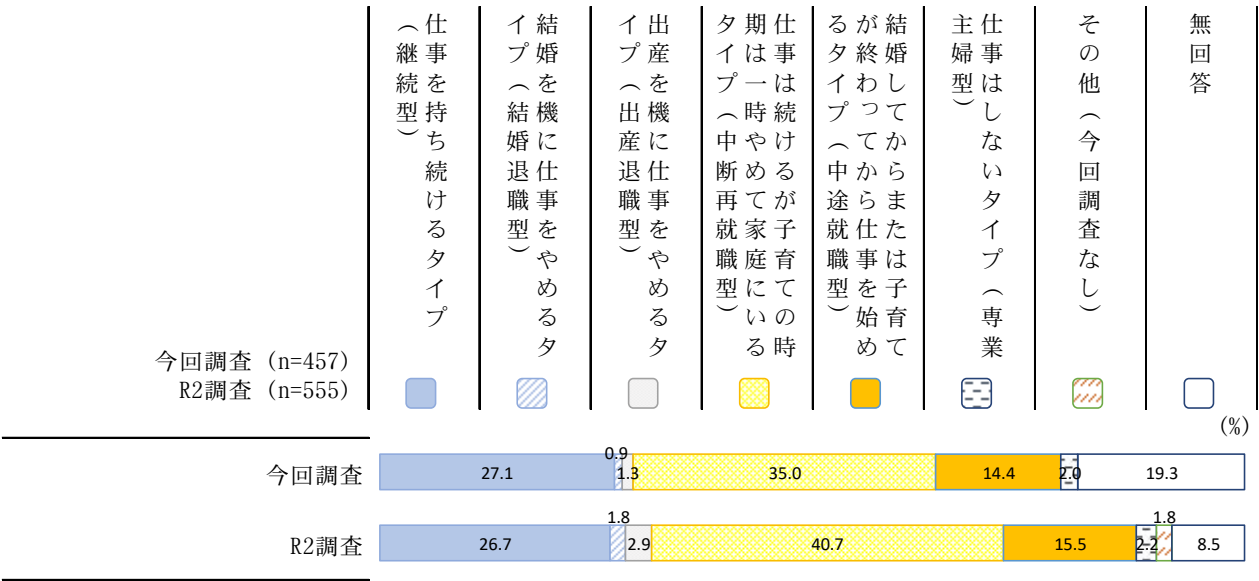


(4)望ましい仕事のあり方について

問6.あなたは次のなかで、女性の仕事に対するあり方でどれが最も望ましいと思いますか。あてはまる番号をひとつ選んでください。

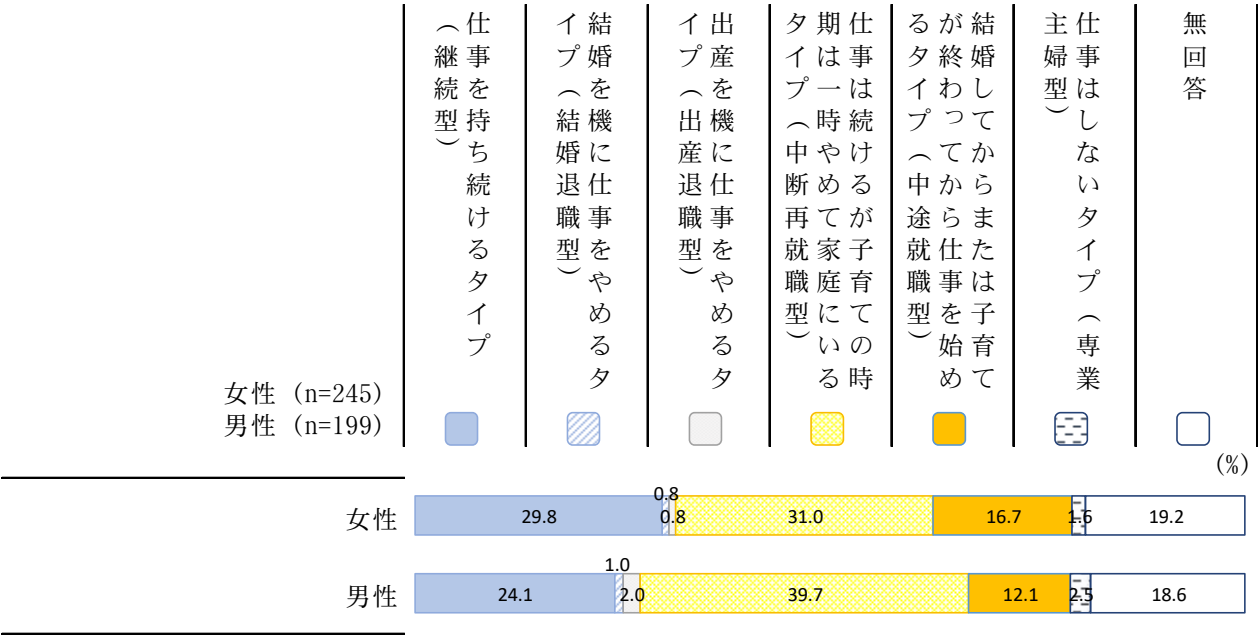
望ましい仕事のあり方について、最も高い項目は、「仕事は続けるが子育ての時期は一時やめて家庭にいるタイプ（中断再就職型）」の 35.0%となっており、次いで「仕事を持ち続けるタイプ（継続型）」の 27.1%となっている。

前回調査との比較としては、「無回答」の割合が 10.8 ポイント高くなっている。



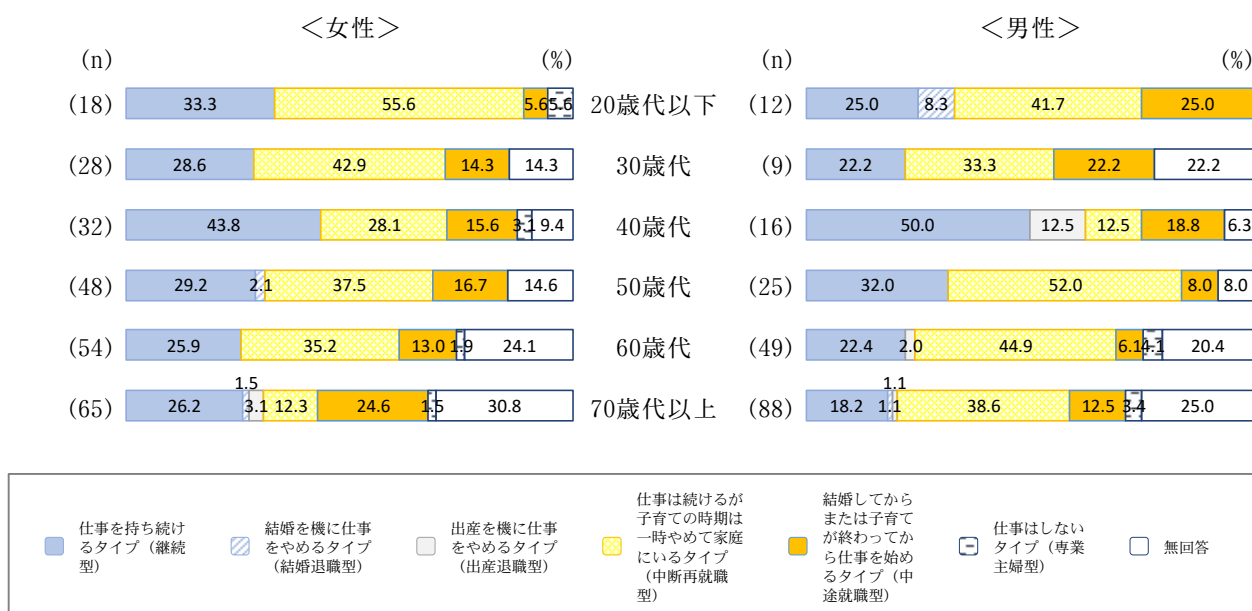
【性別】

性別でみると、「仕事を持ち続けるタイプ（継続型）」は女性が男性に比べ 5.7 ポイント高くなっている。また、「仕事は続けるが子育ての時期は一時やめて家庭にいるタイプ（中断再就職型）」は男性が女性に比べ 8.7 ポイント高くなっている。



【性・年齢別】

性・年齢別でみると、「仕事は続けるが子育ての時期は一時やめて家庭にいるタイプ（中断再就職型）」は、女性の20歳代以下で55.6%と高くなっており、男性も50歳代で52.0%と高くなっている。

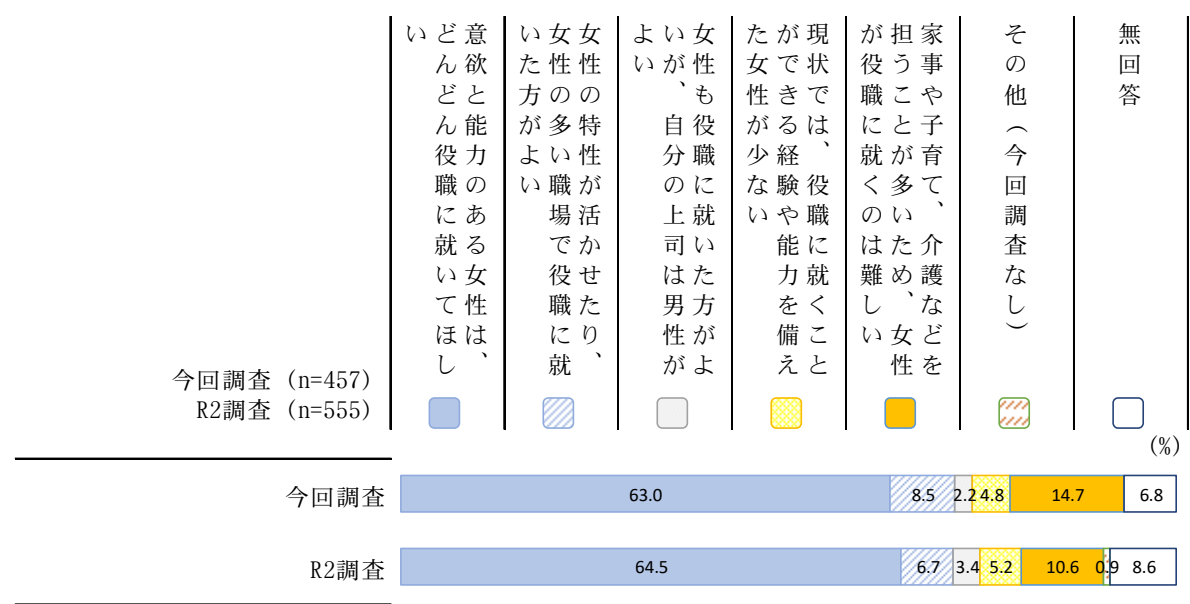


(5)女性が役職に就くことについて

問7.あなたは女性が職場で役職に就くことについて、どのようにお考えですか。あてはまる番号をひとつ選んでください。

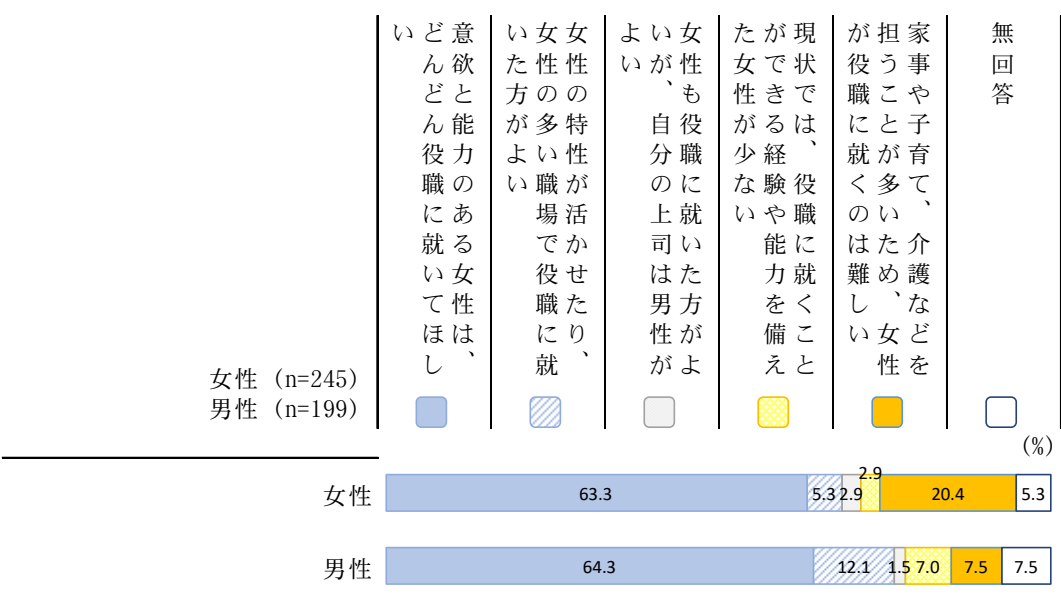
女性が役職に就くことについて、最も高い項目は、「意欲と能力のある女性は、どんどん役職に就いてほしい」の63.0%となっており、次いで「家事や子育て、介護などを担うことが多いため、女性が役職に就くのは難しい」の14.7%となっている。

前回調査との比較としては、「家事や子育て、介護などを担うことが多いため、女性が役職に就くのは難しい」と答えた割合が4.1ポイント高くなっている。



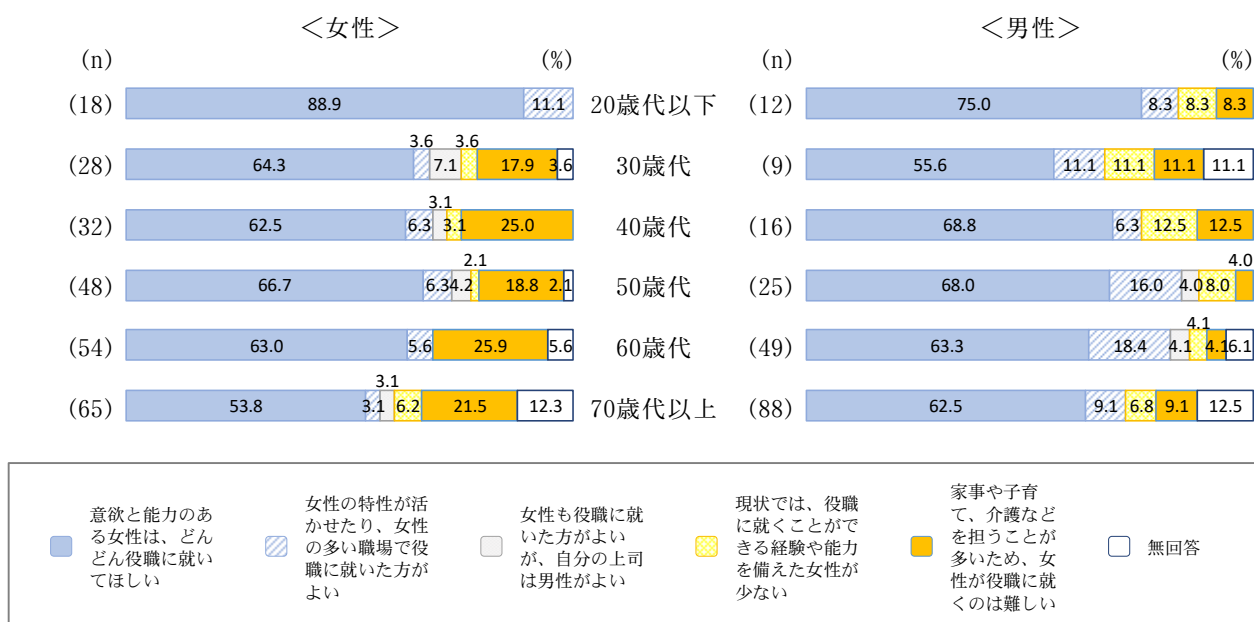
【性別】

性別でみると、「家事や子育て、介護などを担うことが多いため、女性が役職に就くのは難しい」は女性が男性に比べ12.9ポイント高くなっている。また、「女性の特性が活かされたり、女性の多い職場で役職に就いた方がよい」は男性が女性に比べ6.8ポイント高くなっている。



【性・年齢別】

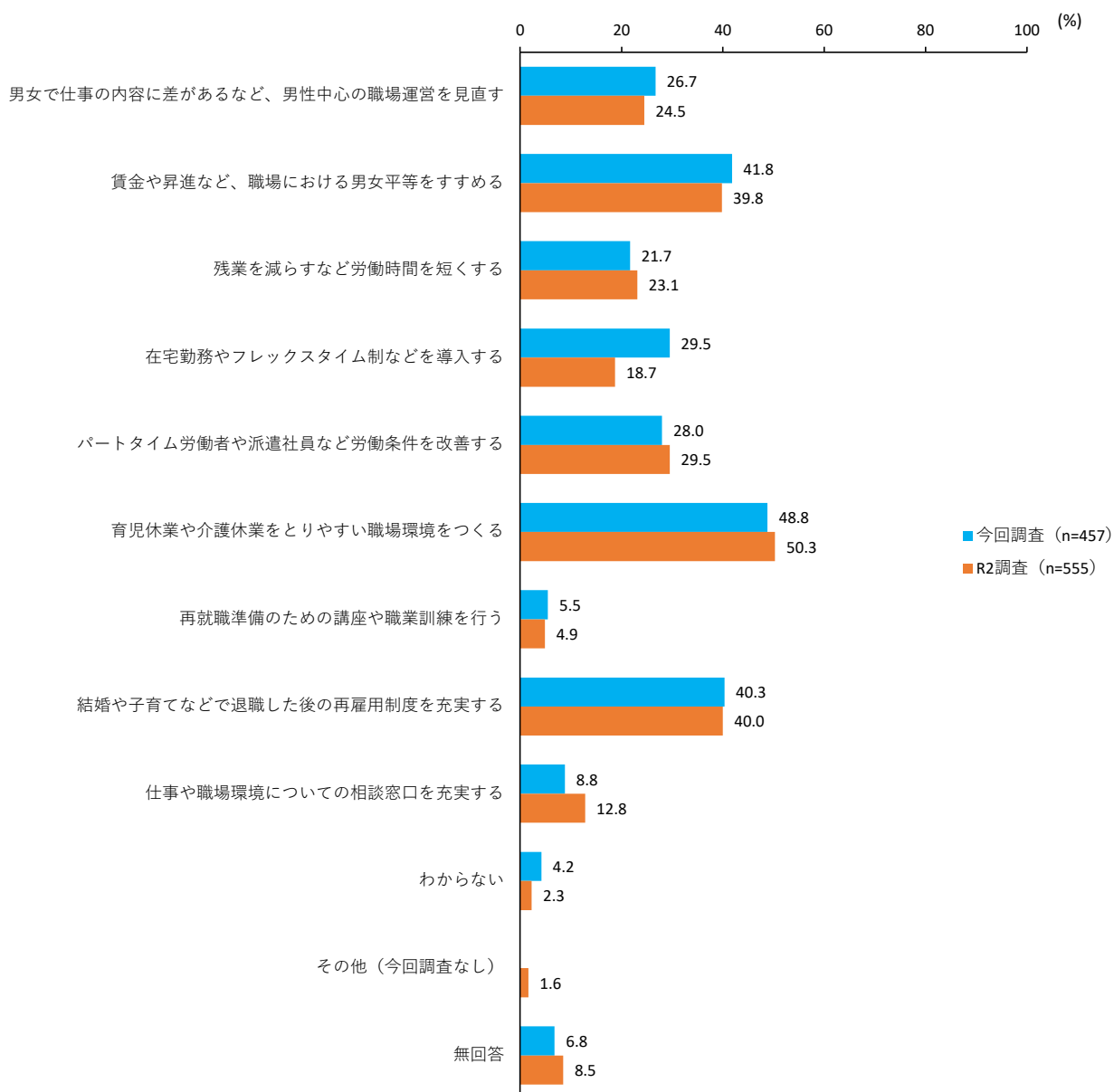
性・年齢別でみると、「意欲と能力のある女性は、どんどん役職に就いてほしい」は、男女ともに20歳代以下が高くなっている。



(6)働きやすい職場づくりについて

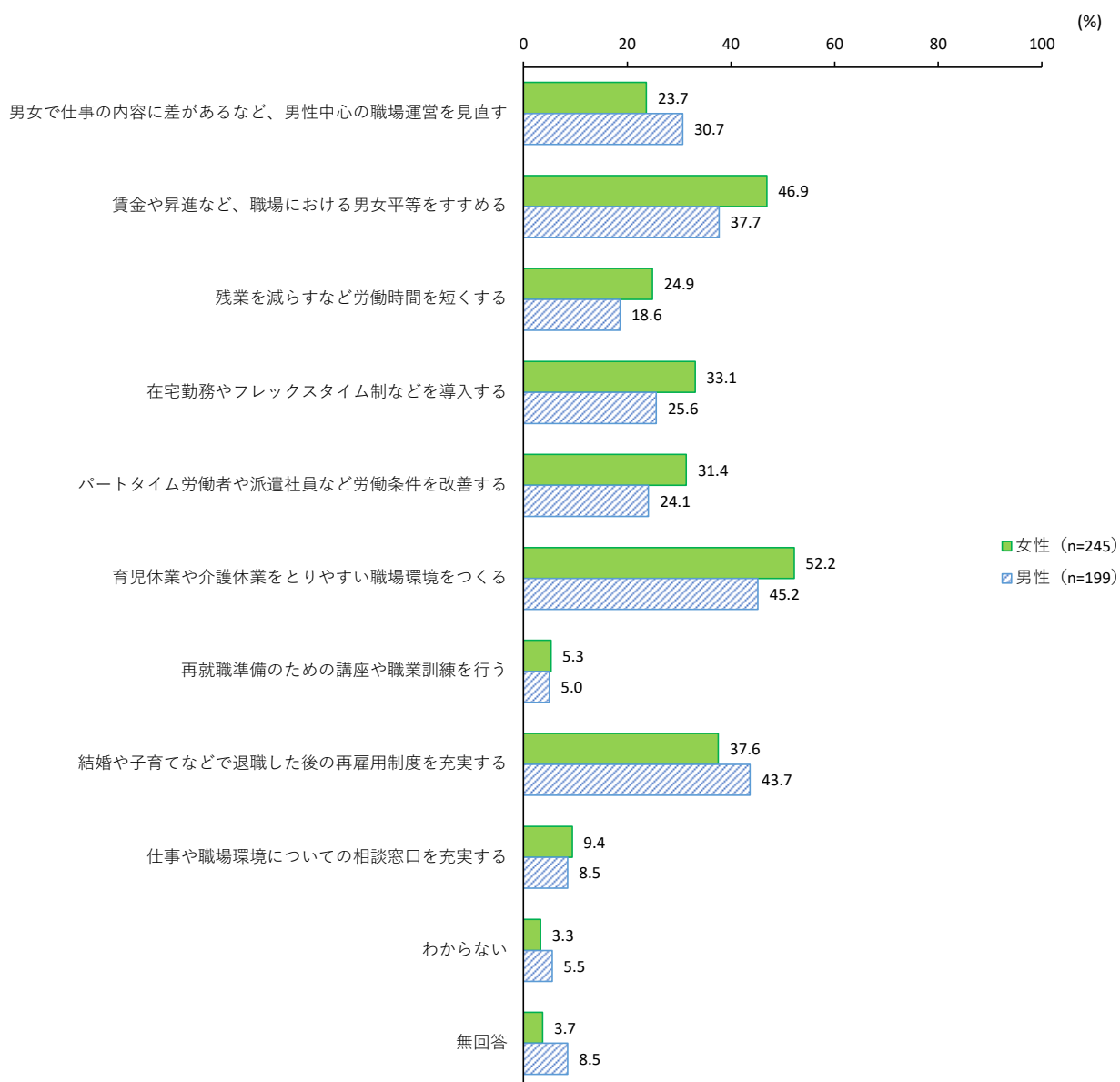
問8.あなたは男女がともに働きやすい職場をつくるためには、どのようなことが大切だと思いますか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

働きやすい職場づくりについて、最も高い項目は、「育児休業や介護休業をとりやすい職場環境をつくる」の48.8%となっており、次いで「賃金や昇進など、職場における男女平等をすすめる」の41.8%となっている。



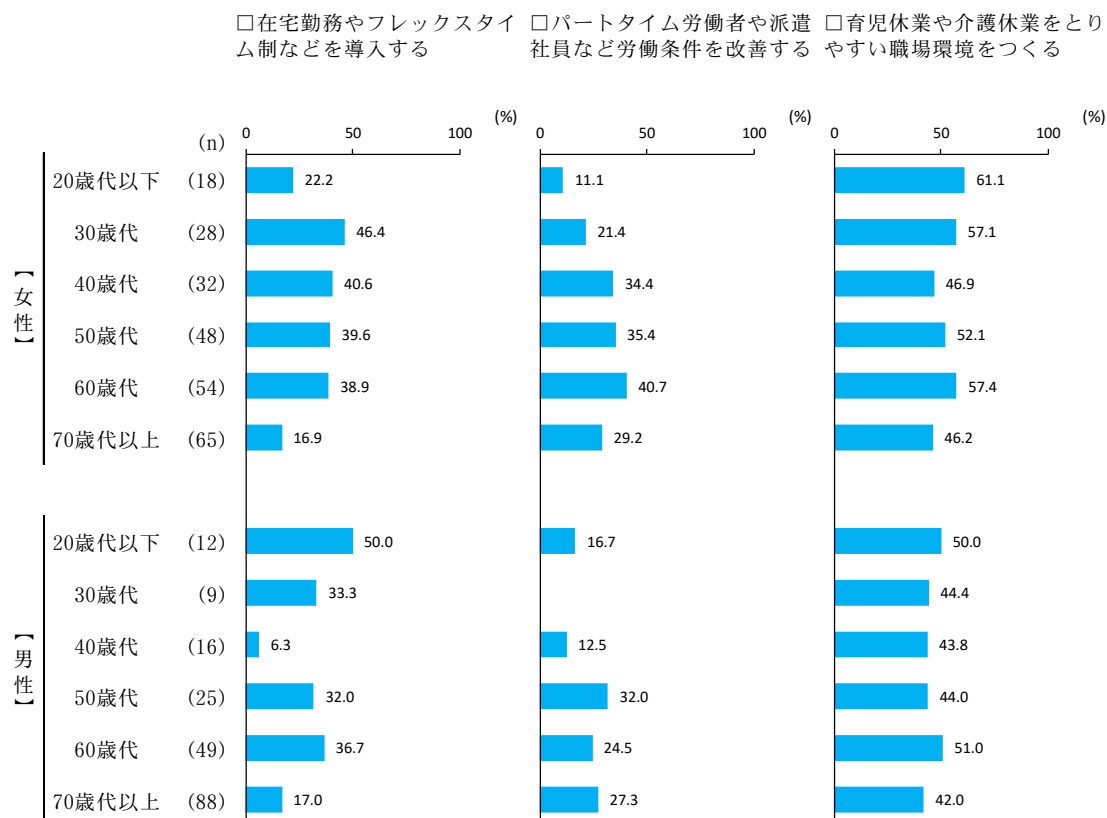
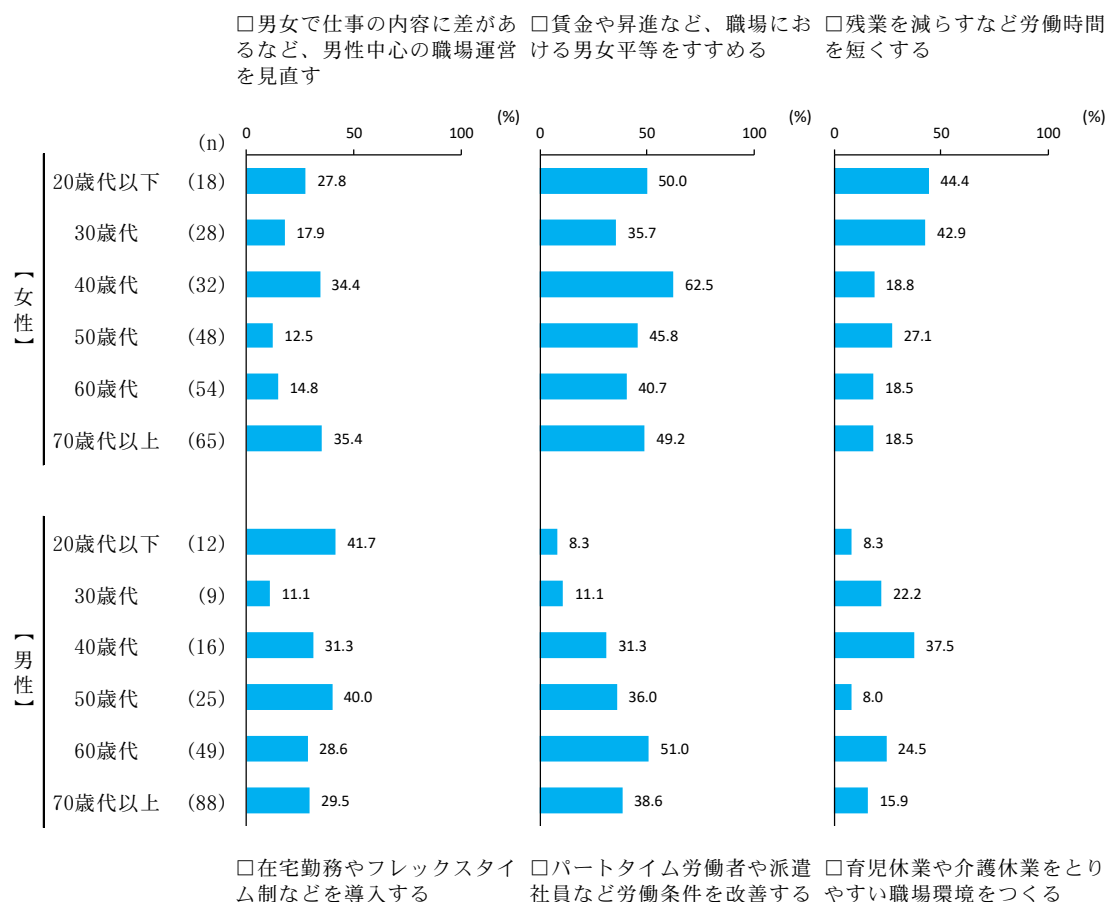
【性別】

性別でみると、「賃金や昇進など、職場における男女平等をすすめる」は女性が男性に比べ 9.2 ポイント高くなっている。また、「男女で仕事の内容に差があるなど、男性中心の職場運営を見直す」は男性が女性に比べ 7.0 ポイント高くなっている。

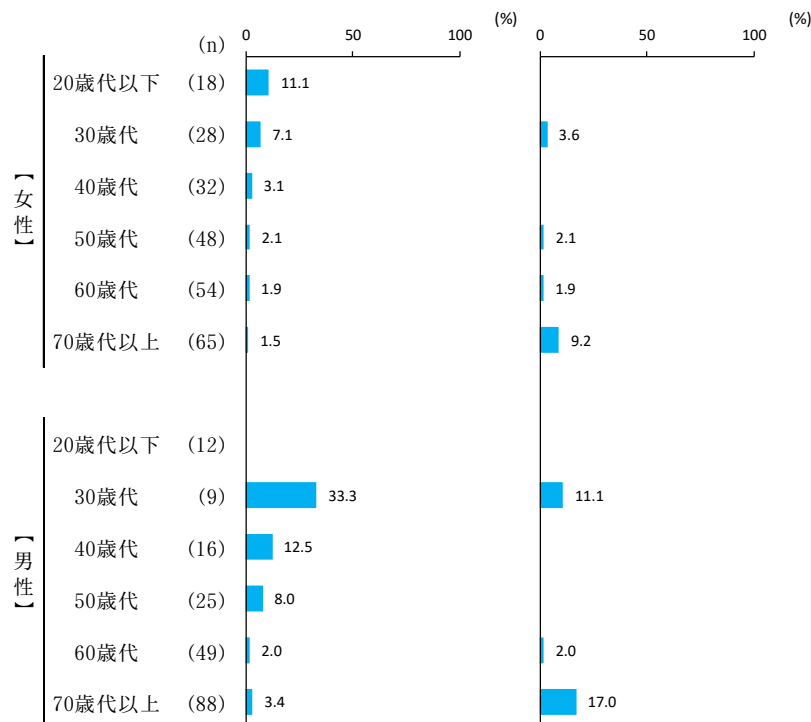


【性・年齢別】

性・年齢別でみると、「賃金や昇進など、職場における男女平等をすすめる」は、女性の40歳代で62.5%と高くなっている。また、「結婚や子育てなどで退職した後の再雇用制度を充実する」は男性の20歳代以下で58.3%と高くなっている。



□再就職準備のための講座や職業訓練を行う □結婚や子育てなどで退職した後の再雇用制度を充実する □仕事や職場環境についての相談窓口を充実する



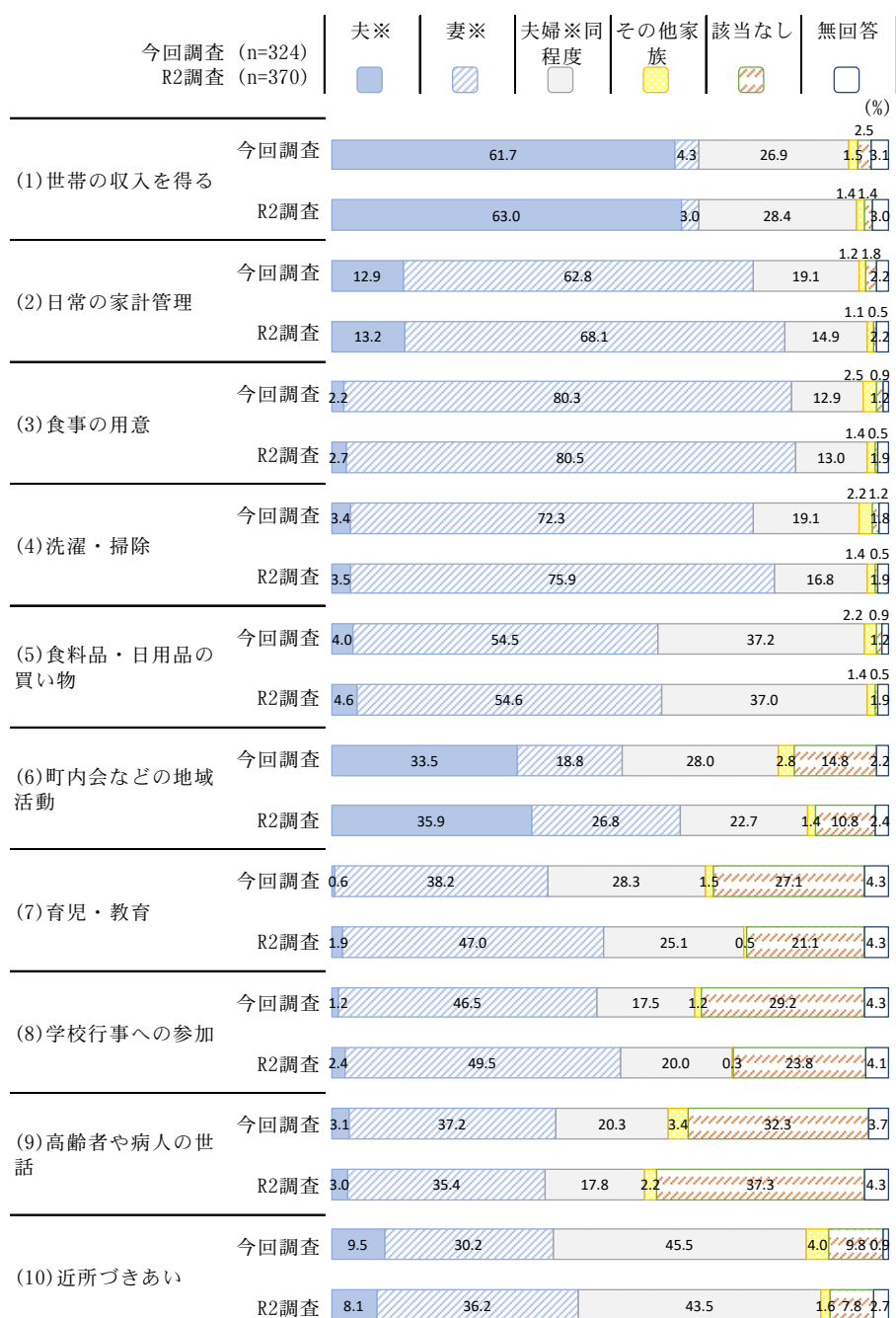
5. 家庭生活

(1) 役割分担の現状について

※現に婚姻をしている方（事実婚を含む。）のみお答えください。

問9.あなたの家庭では、次の役割を主にどなたが担当していますか。（1）から（10）のそれぞれについて、あてはまる番号をひとつずつ選んでください。

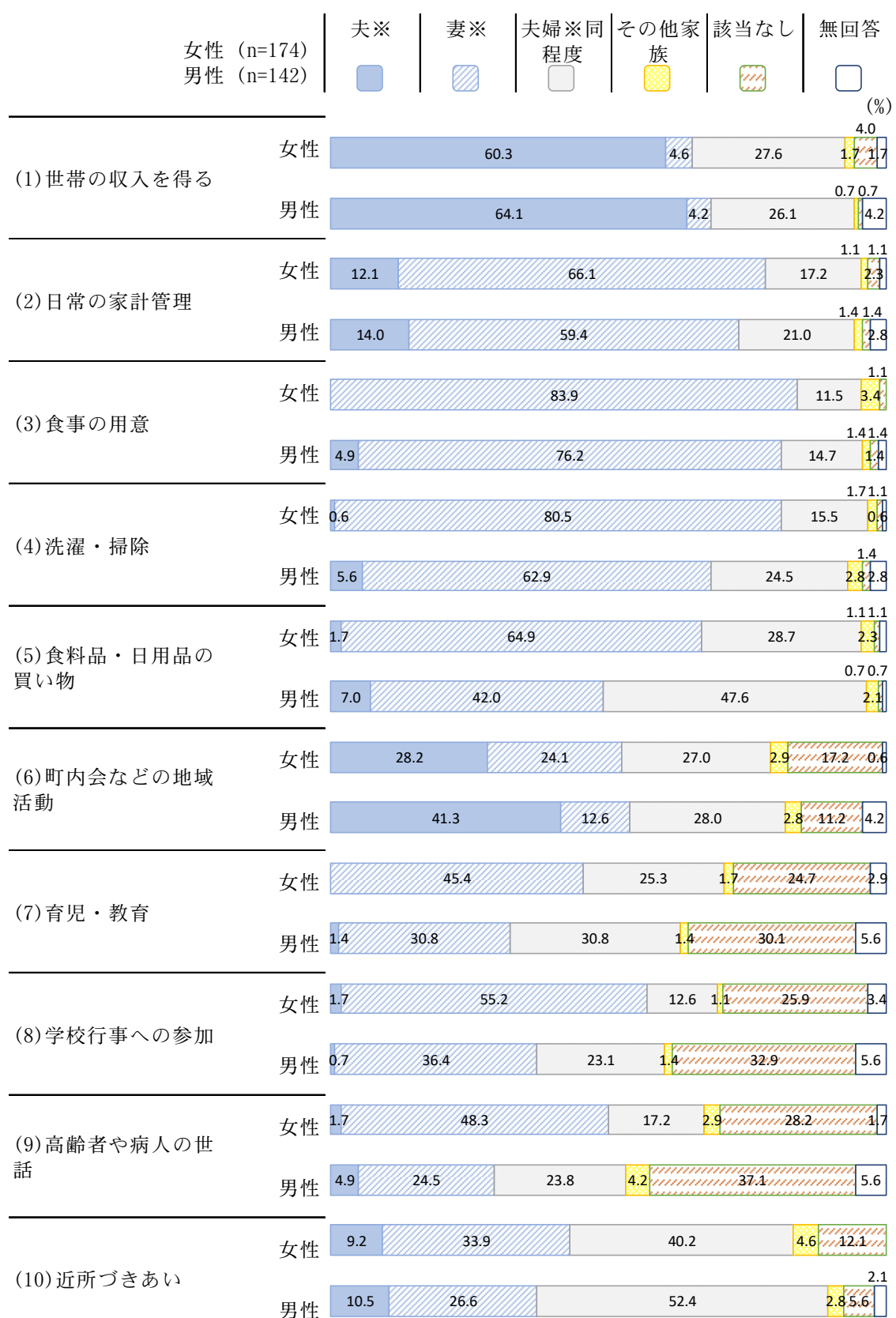
役割分担の現状について、「夫」が最も高い項目は、「（1）世帯の収入を得る」の61.7%となっており、次いで「（6）町内会などの地域活動」の33.5%となっている一方、その他の多くの項目では「妻」の割合が高くなっている。「妻」が最も高い項目は、「（3）食事の用意」の80.3%となっており、次いで「（4）洗濯・掃除」の72.3%となっている。



※夫婦には、それぞれ同居のパートナーを含む

【性別】

性別でみると、どの項目も女性は男性に比べ、「妻」の占める割合が高くなっており、特に「(9)高齢者や病人の世話」では女性が23.8ポイント高くなっている。

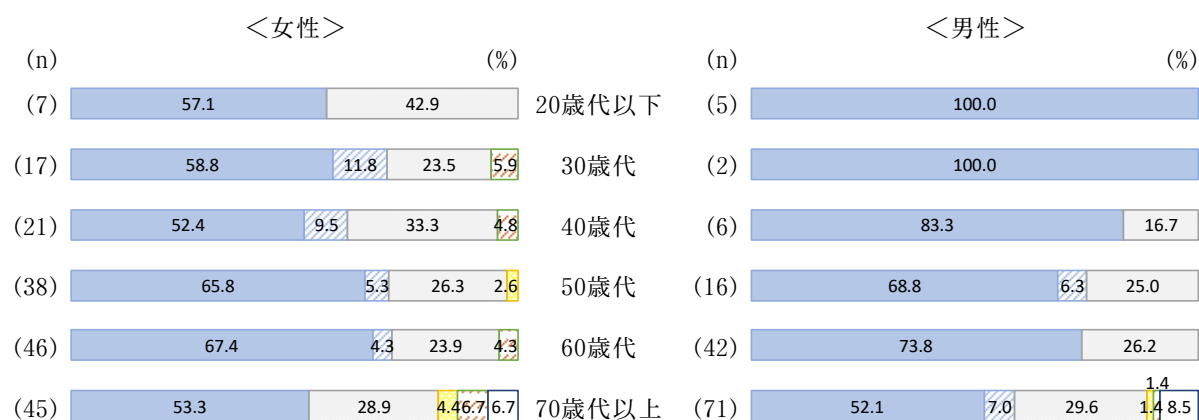


※夫婦には、それぞれ同居のパートナーを含む

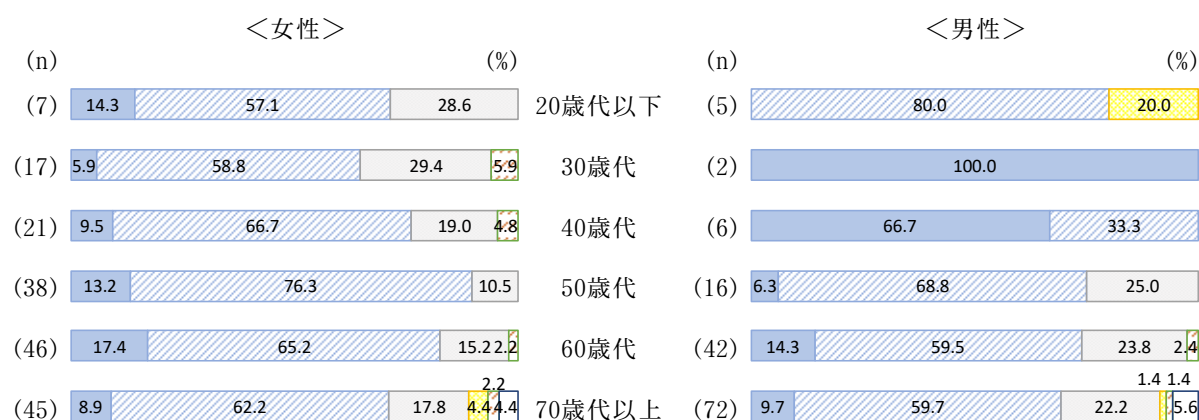
【性・年齢別】

回答者数が少ないため参考値として掲載する。

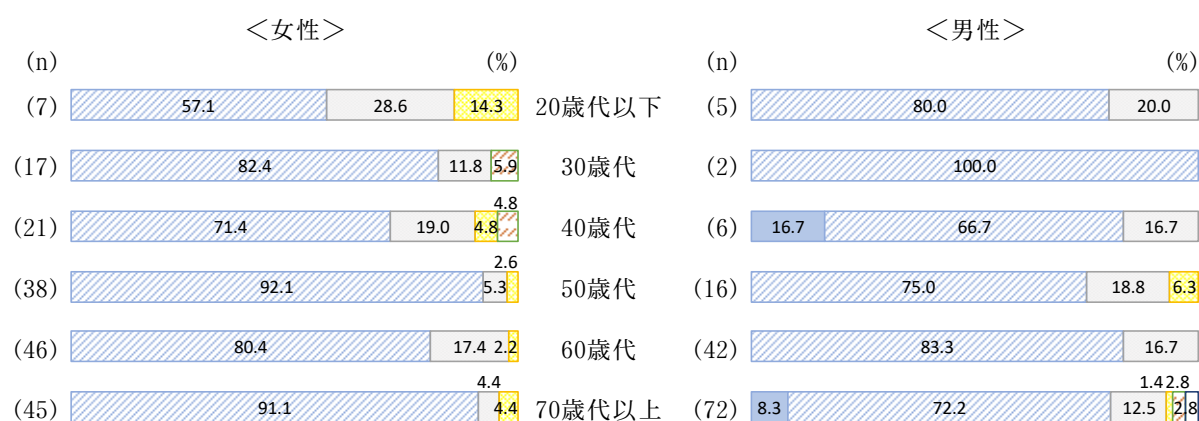
(1)世帯の収入を得る



(2)日常の家計管理



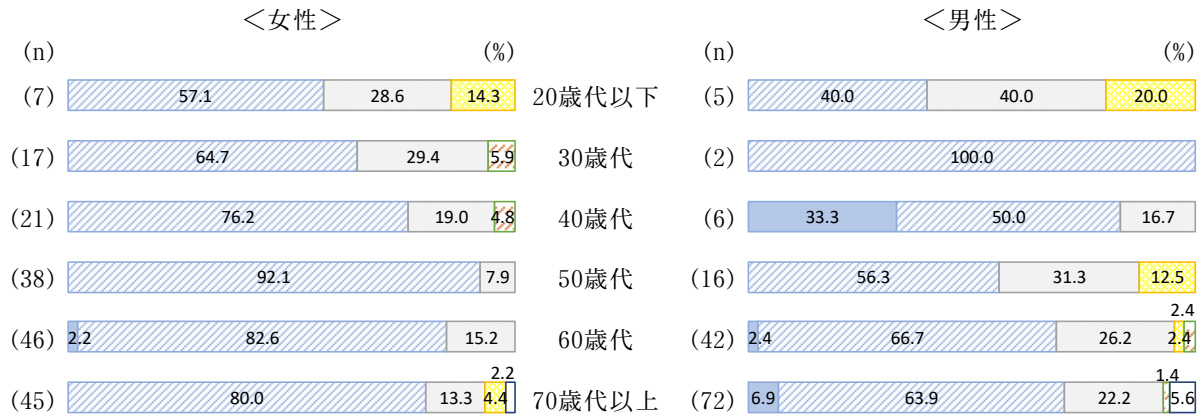
(3)食事の用意



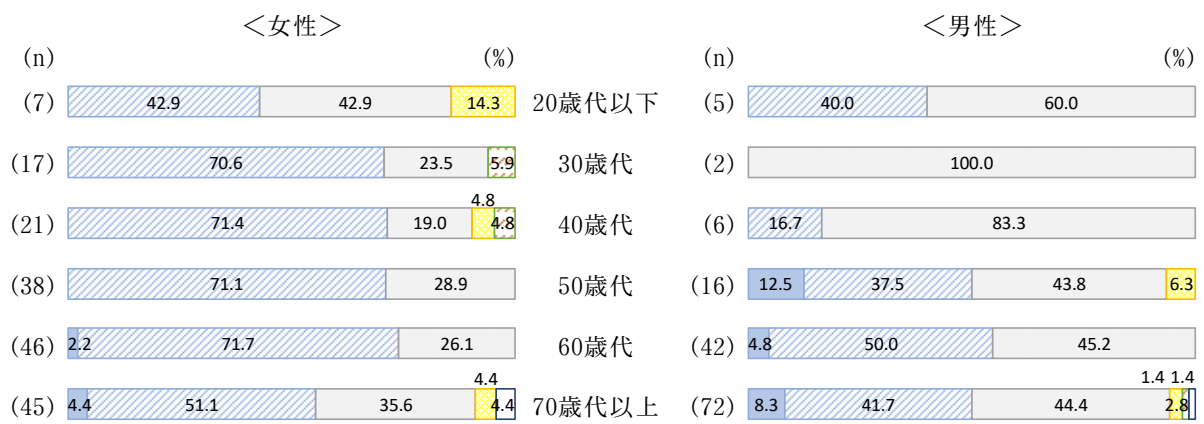
■ 夫※ ■ 妻※ ■ 夫婦※同程度 ■ その他家族 ■ 該当なし □ 無回答

※夫婦には、それぞれ同居のパートナーを含む

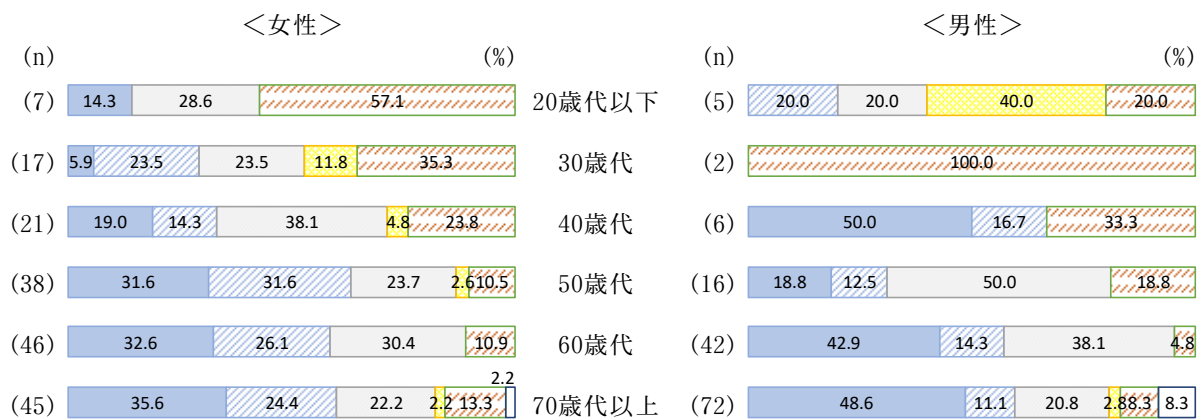
(4)洗濯・掃除



(5)食料品・日用品の買い物



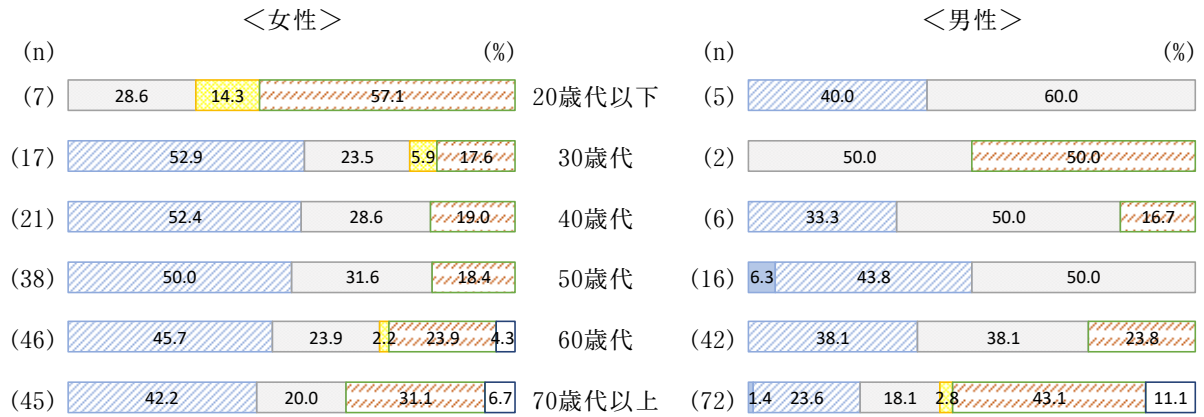
(6)町内会などの地域活動



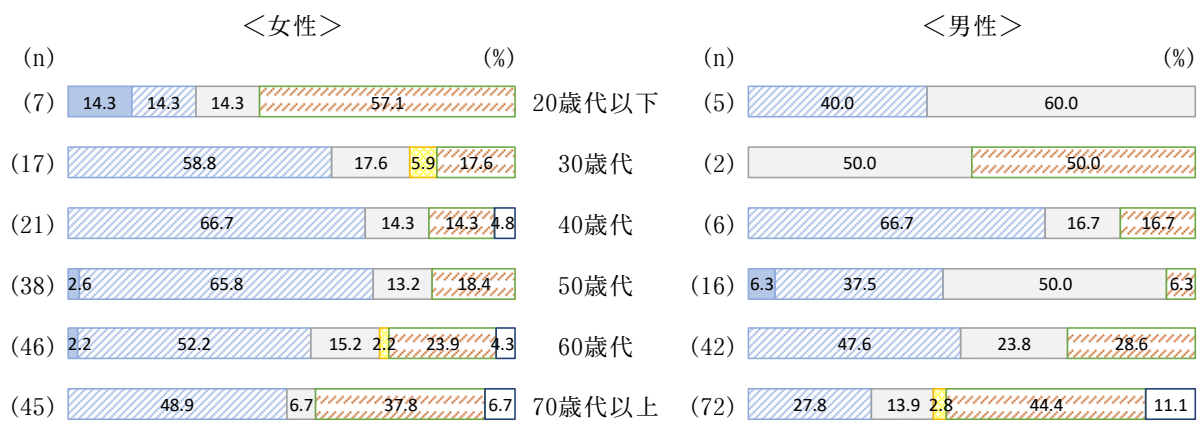
夫※
 妻※
 夫婦※同程度
 その他家族
 該当なし
 無回答

※夫婦には、それぞれ同居のパートナーを含む

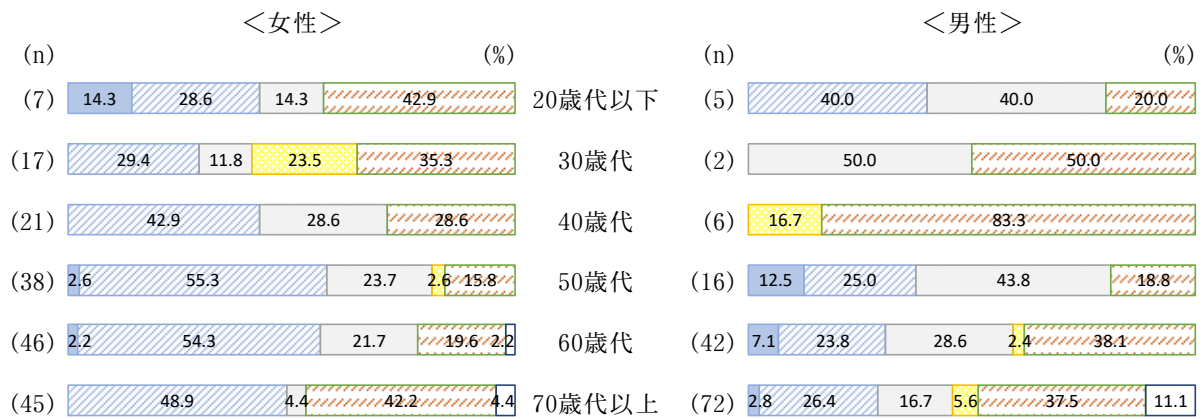
(7) 育児・教育



(8) 学校行事への参加



(9) 高齢者や病人の世話



夫※
 妻※
 夫婦※同程度
 その他家族
 該当なし
 無回答

※夫婦には、それぞれ同居のパートナーを含む

(10)近所づきあい

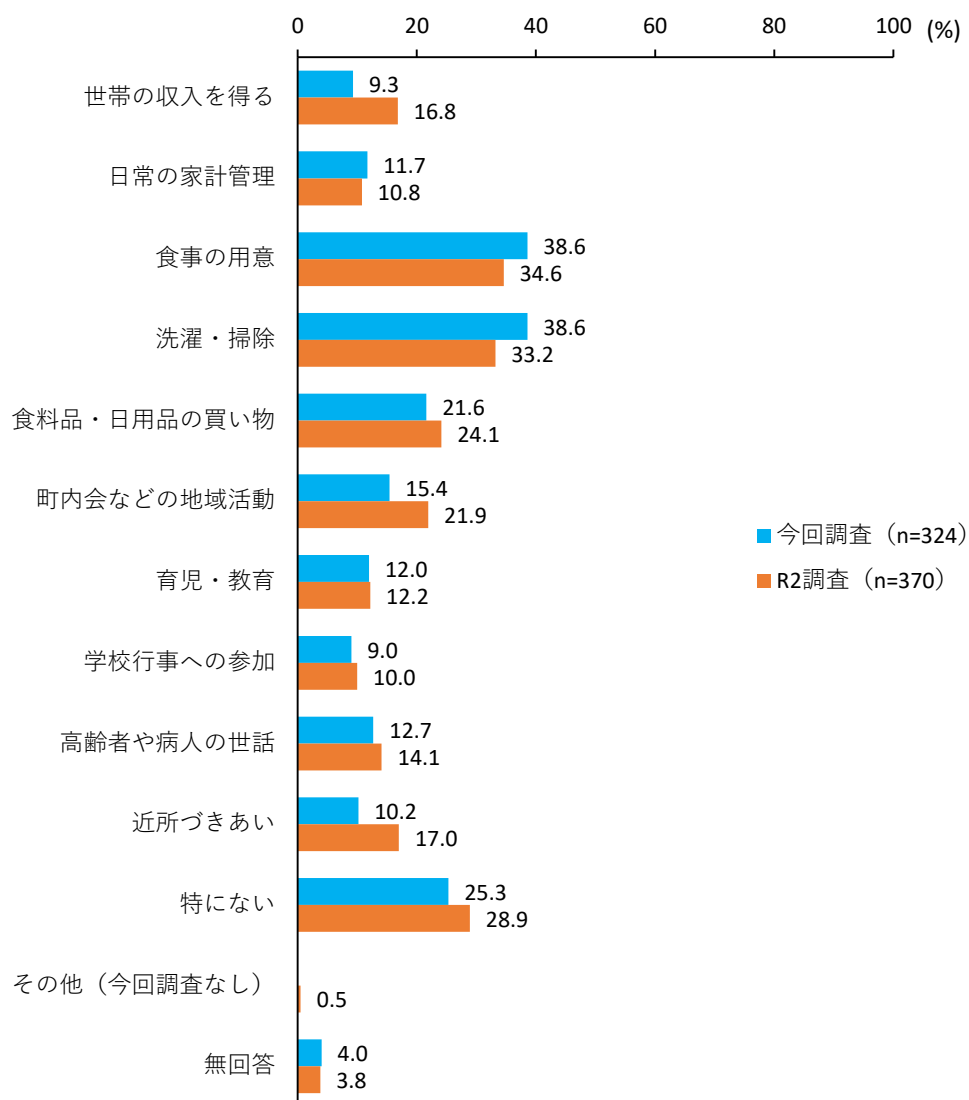


(2)役割分担意識について

※現に婚姻をしている方（事実婚を含む。）のみお答えください。

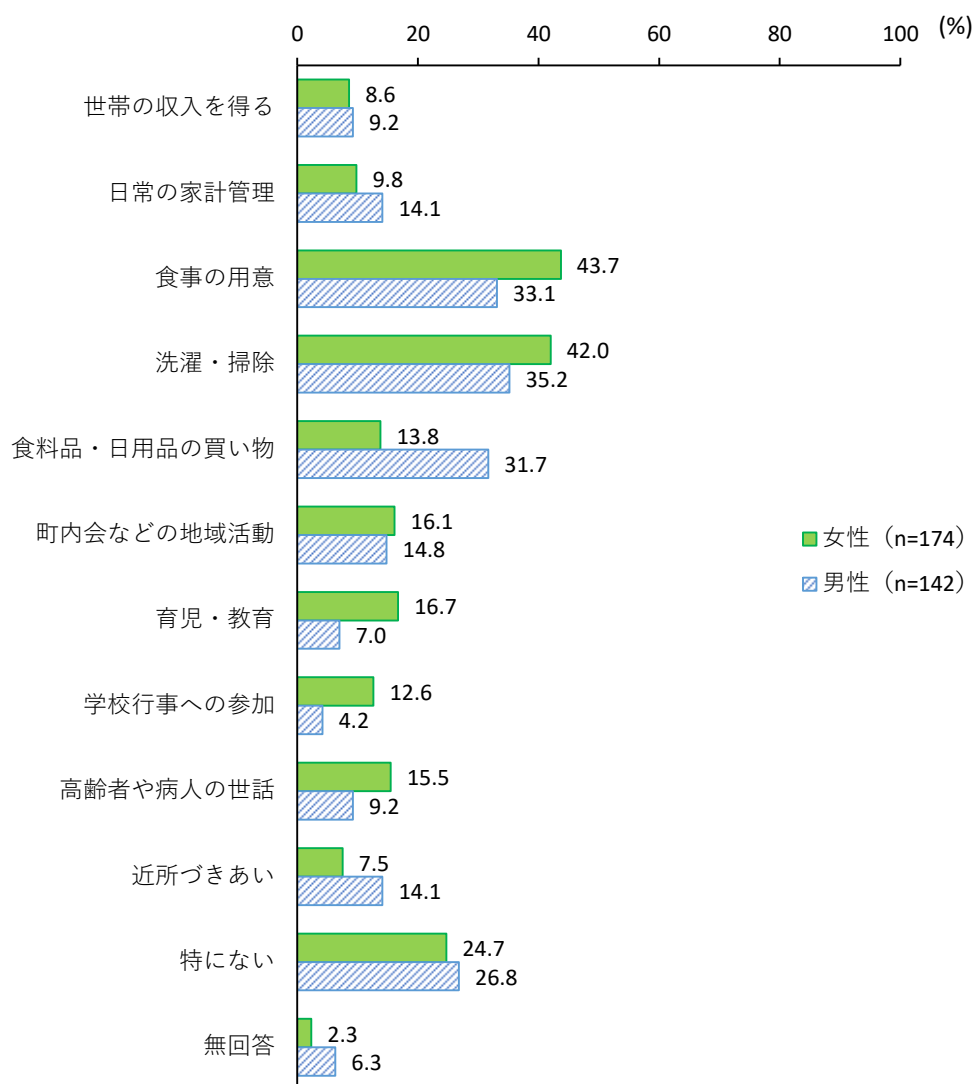
問10.次のような日常的な仕事のうち【女性の方は】男性が今以上分担してほしいと思うもの【男性の方は】自分が今以上分担してもよいと思うものがありますか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

役割分担意識について、最も高い項目は、「食事の用意」、「洗濯・掃除」が同率で 38.6%となっており、次いで「特にない」の 25.3%となっている。



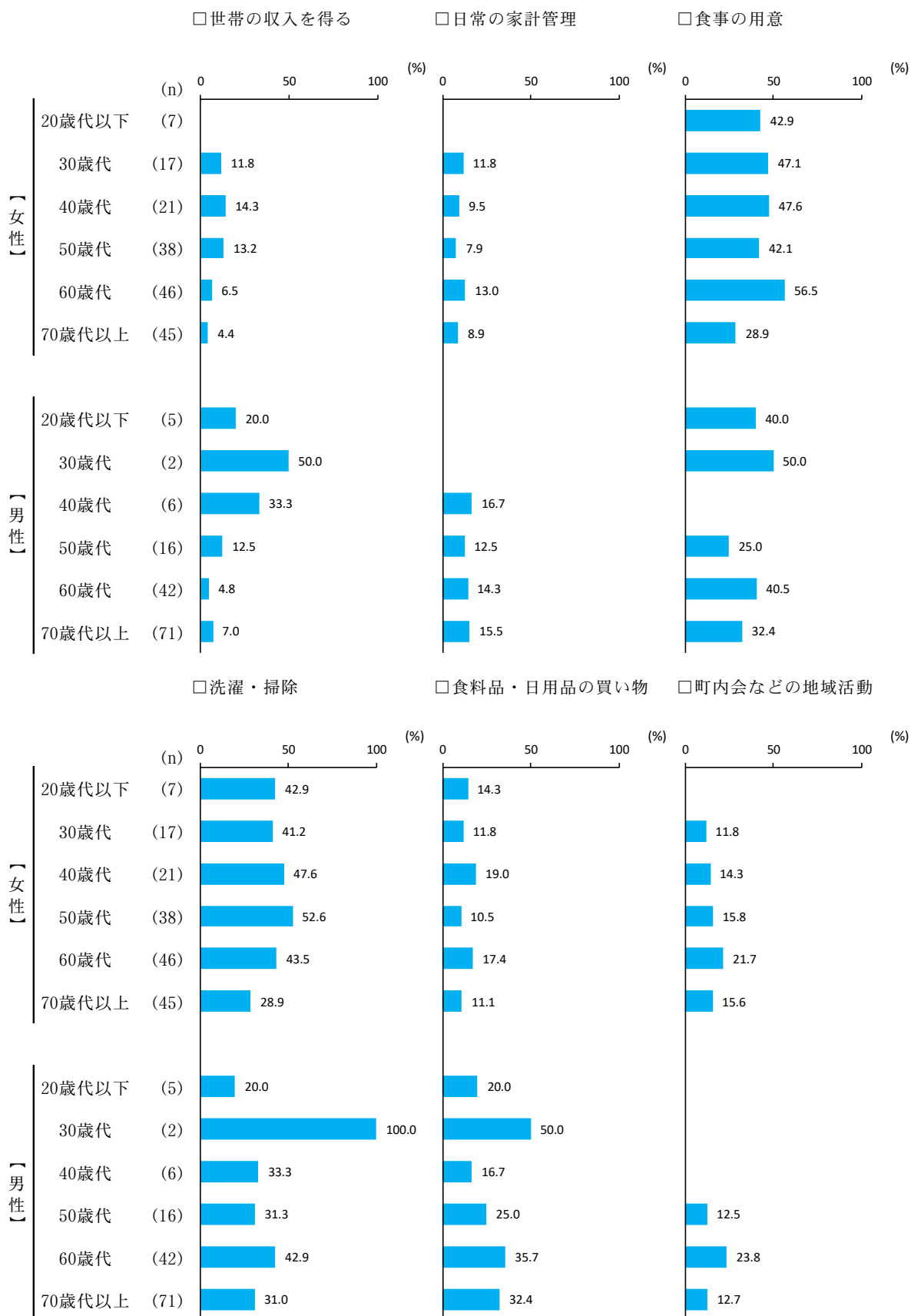
【性別】

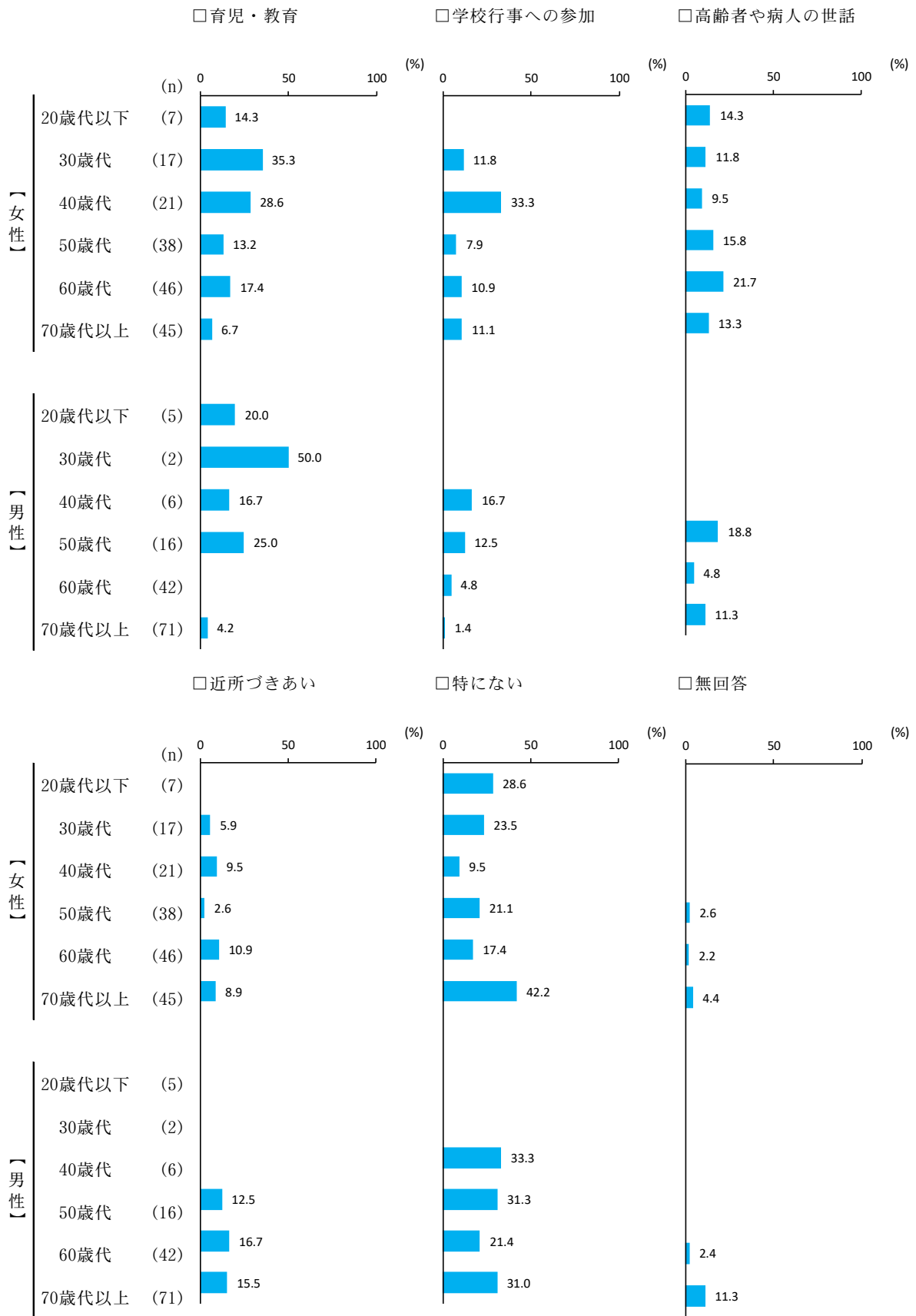
性別でみると、「食事の用意」は女性が男性に比べ 10.6 ポイント高くなっている。また、「食料品・日用品の買い物」は男性が女性に比べ 17.9 ポイント高くなっている。



【性・年齢別】

回答者数が少ないため参考値として掲載する。



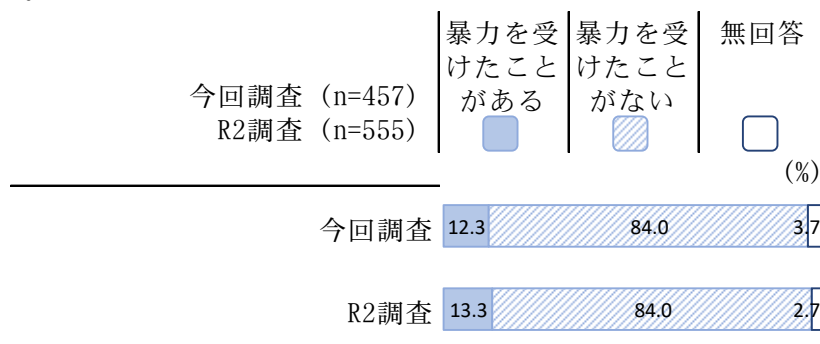


6. DV（ドメスティックバイオレンス）

(1)DVの被害経験について

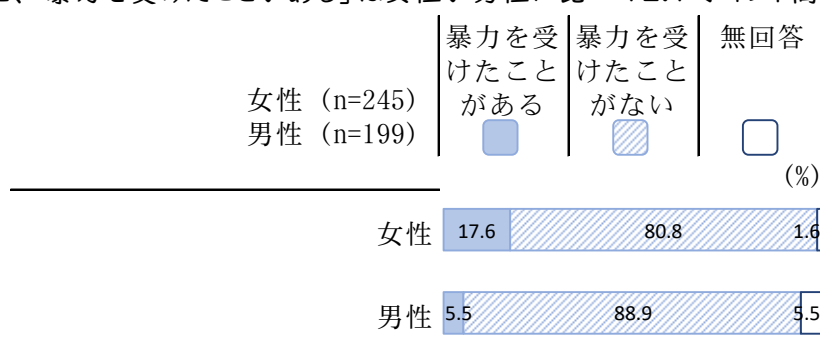
問11.あなたは配偶者やパートナー、交際相手から、DV（身体的・精神的・経済的・性的・社会的暴力など）を受けたことがありますか。あてはまる番号をひとつ選んでください。

DVの被害経験について、「暴力を受けたことがある」は12.3%となっており、前回調査より1.0ポイント減少している。



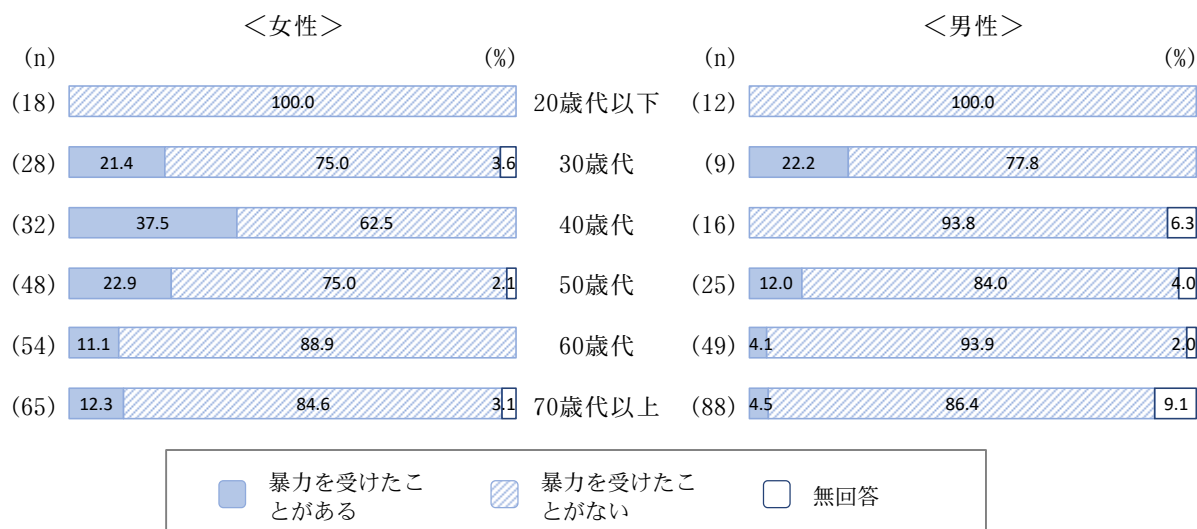
【性別】

性別でみると、「暴力を受けたことがある」は女性が男性に比べ12.1ポイント高くなっている。



【性・年齢別】

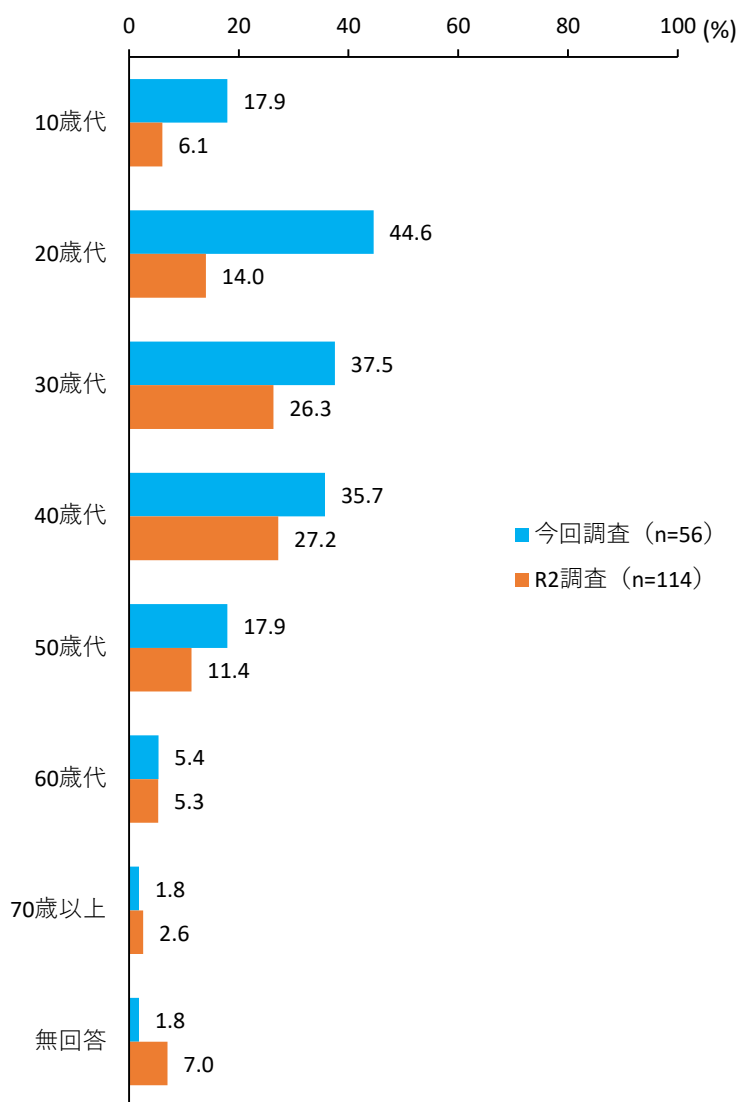
性・年齢別でみると、「暴力を受けたことがある」は、女性の40歳代で37.5%と高くなっている。また、男性の30歳代で22.2%と高くなっている。



(2)DV を受けた年齢について

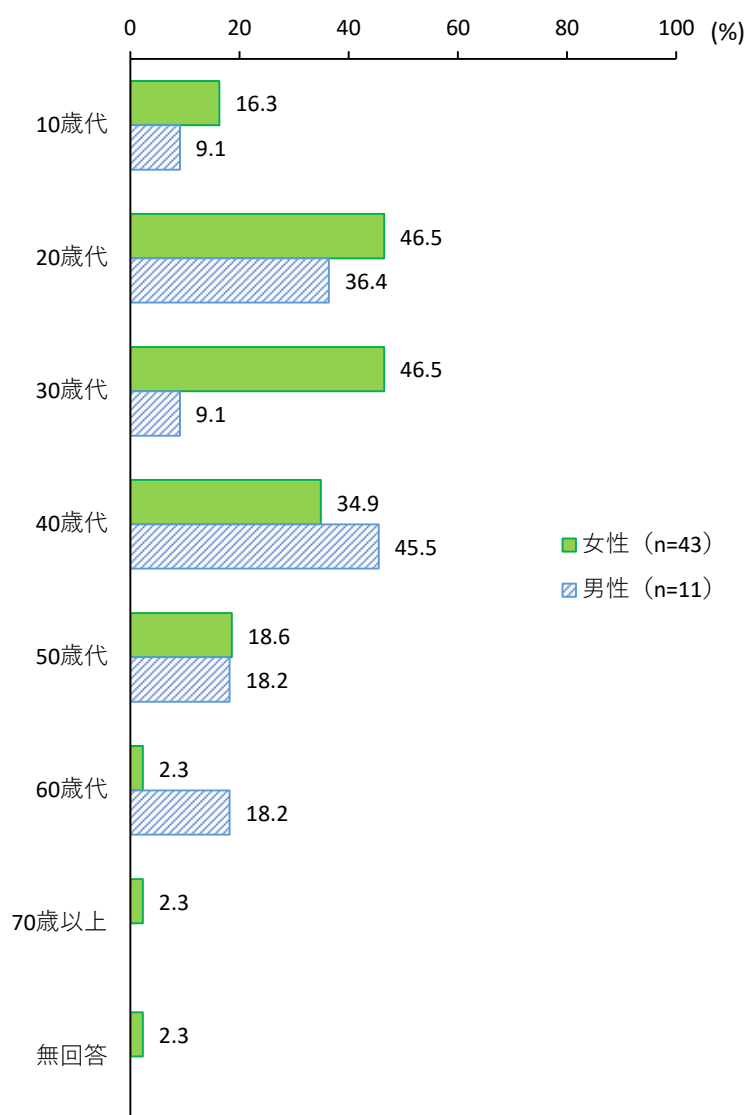
問12.あなたが何歳の時にDVを受けましたか。あてはまる番号を選んでください。(複数回答可)

DV を受けた年齢について、最も高い項目は、「20 歳代」の 44.6%となっており、次いで「30 歳代」の 37.5%となっている。



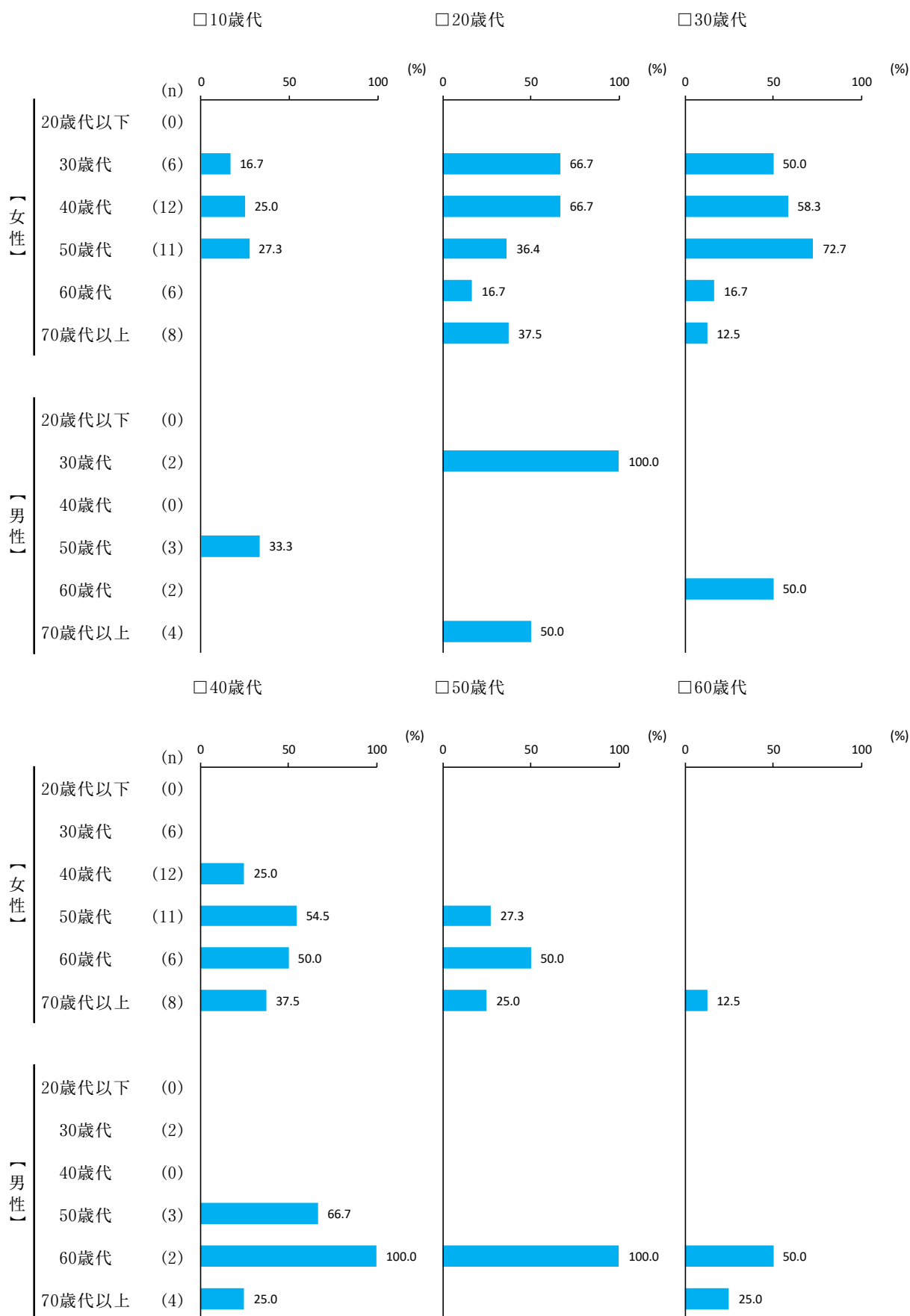
【性別】

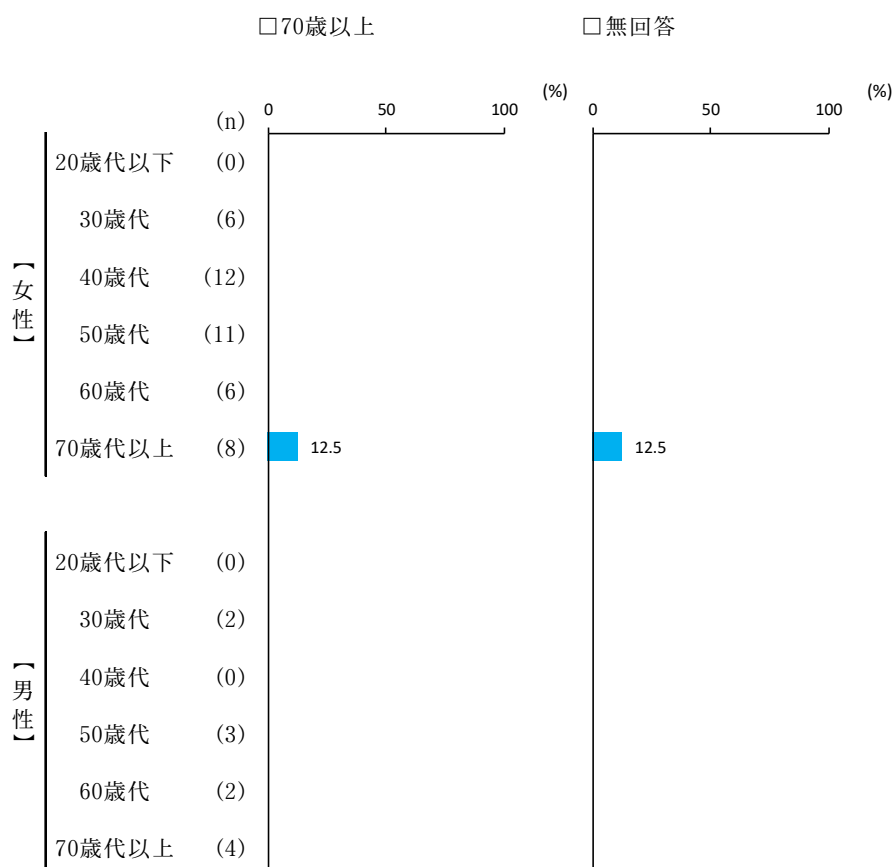
性別でみると、「30 歳代」は女性が男性に比べ 37.4 ポイント高くなっている。また、「60 歳代」は男性が女性に比べ 15.9 ポイント高くなっている。



【性・年齢別】

回答者数が少ないため参考値として掲載する。

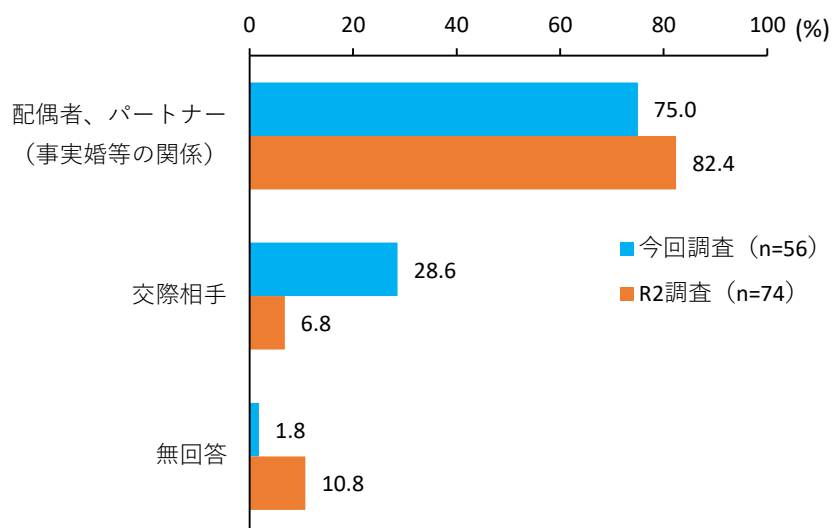




(3)DV 加害者の続柄について

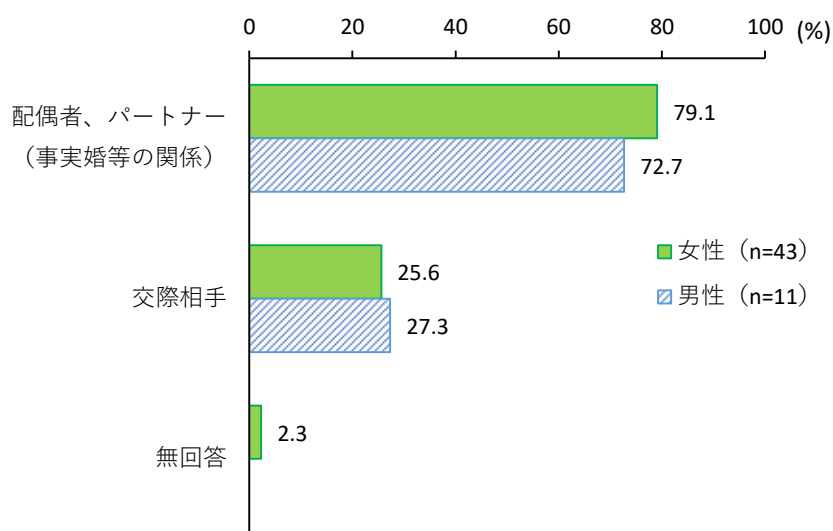
問13.DV 加害者はあなたからみてどの続柄になりますか。あてはまる番号を選んでください。(複数回答可)

DV 加害者の続柄について、最も高い項目は、「配偶者、パートナー（事実婚等の関係）」の 75.0% となっている。



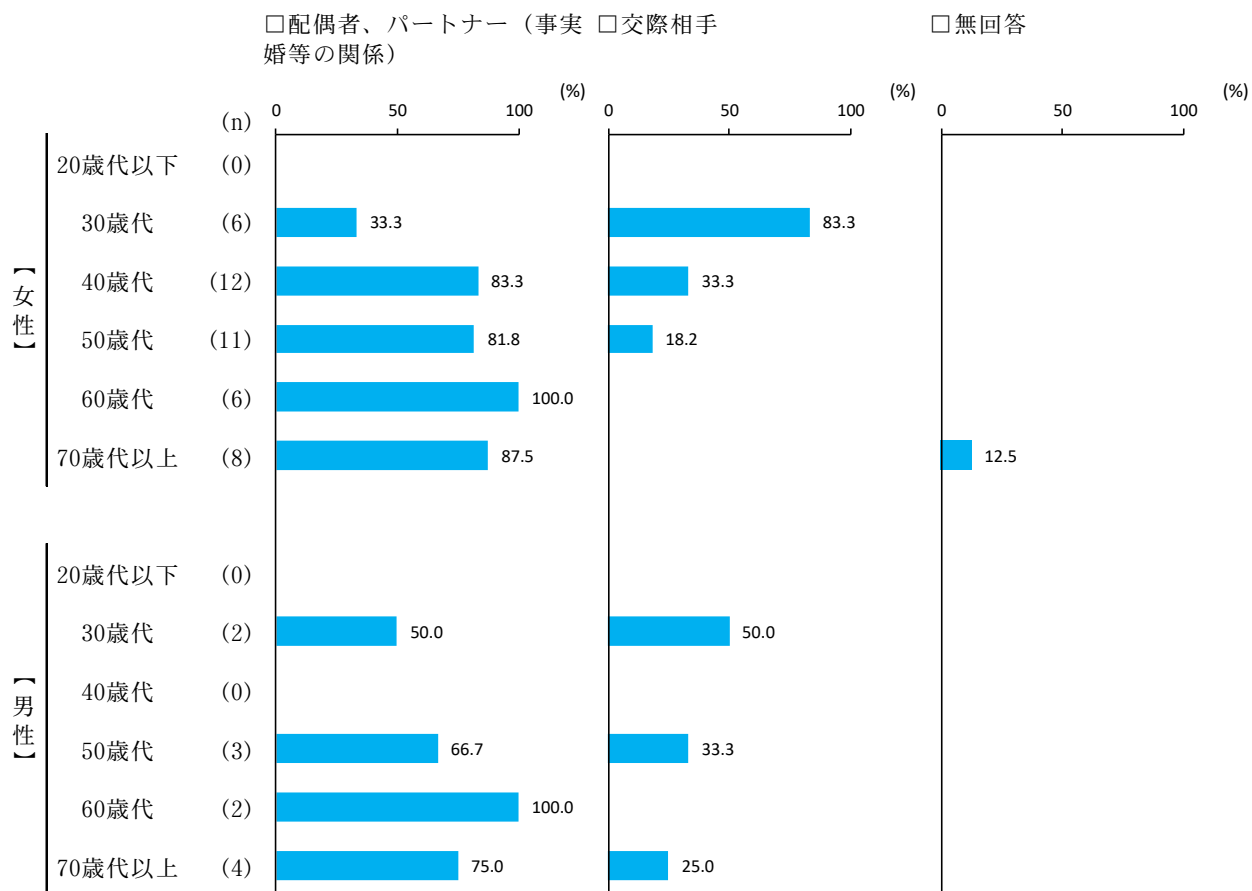
【性別】

性別でみると、「配偶者、パートナー（事実婚等の関係）」は女性が男性に比べ 6.4 ポイント高くなっている。また、「交際相手」は男性が女性に比べ 1.7 ポイント高くなっている。



【性・年齢別】

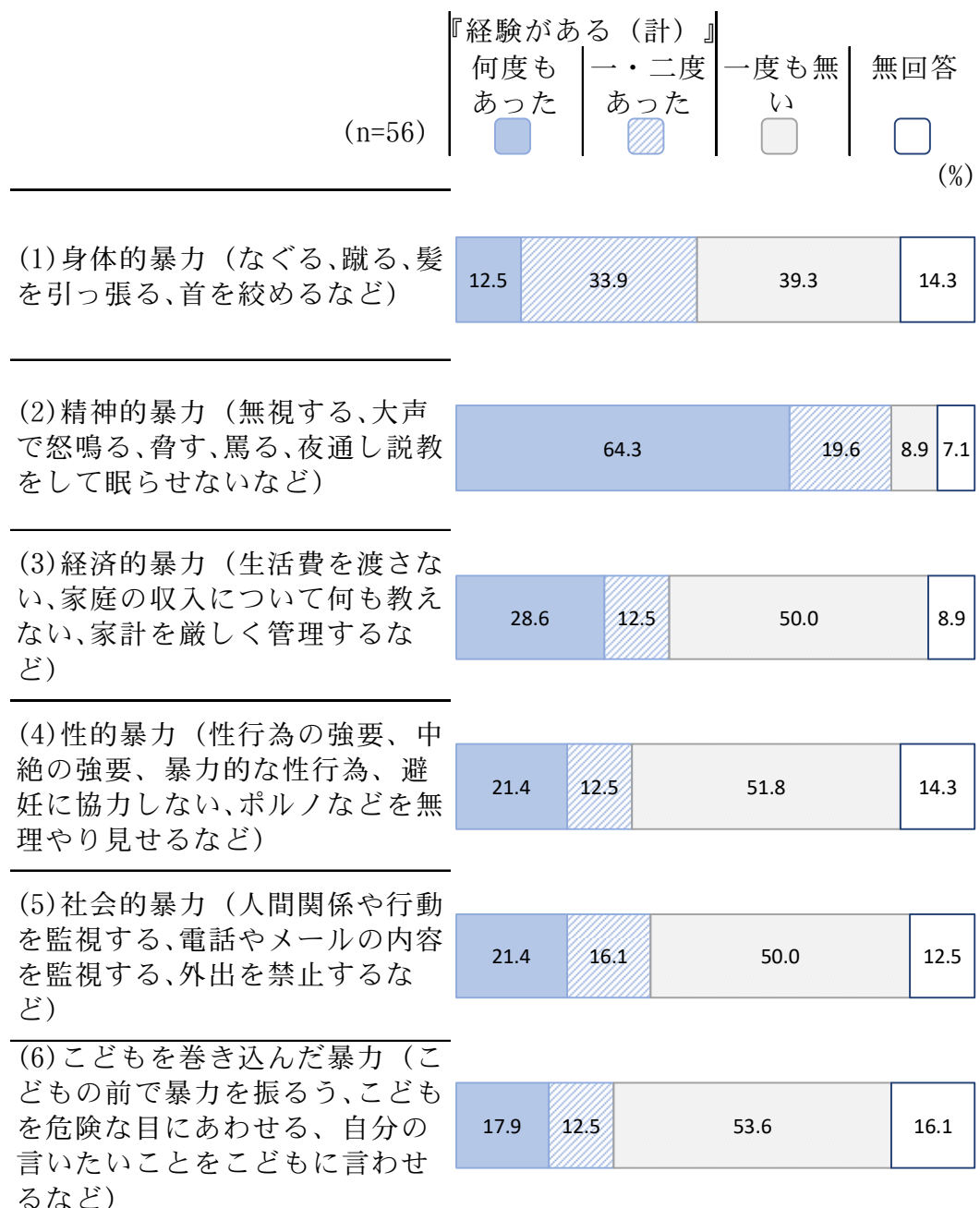
回答者数が少ないため参考値として掲載する。



(4)DV の内容について

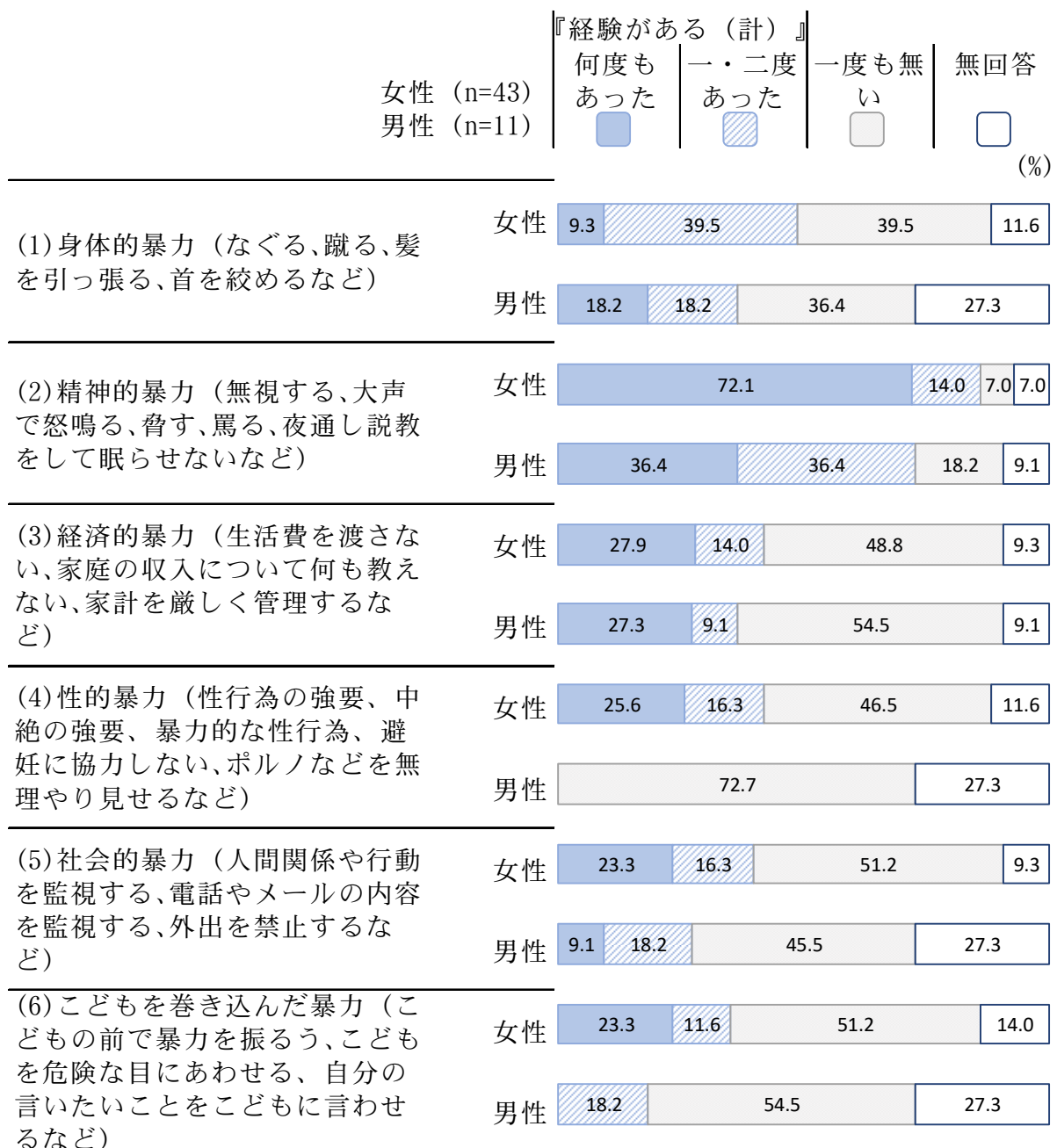
問14.あなたはどのような DV を受けましたか。あてはまる番号を選んでください。

DV の内容について、『経験がある（計）』が最も高い項目は、「(2)精神的暴力」の 83.9%となっており、次いで「(1)身体的暴力」の 46.4%となっている。また、「何度もあった」の割合が高くなっているのは、「(2)精神的暴力」の 64.3%に次いで「(3)経済的暴力」の 28.6%となっている。



【性別】

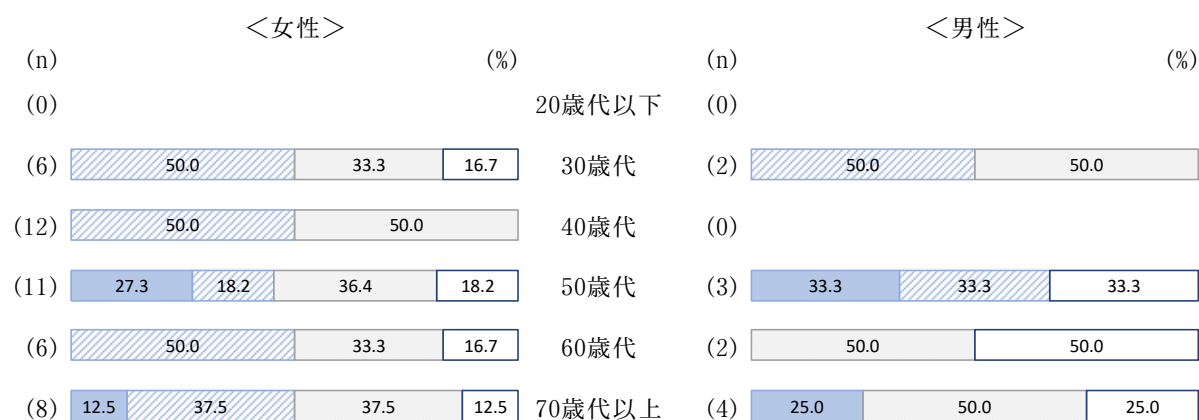
性別でみると、どの項目も女性は男性に比べ、『経験がある（計）』の占める割合が高くなっており、特に「(4)性的暴力」では女性が41.9ポイント高くなっている一方、男性は女性に比べ、「一度も無い」の占める割合が高くなっている。



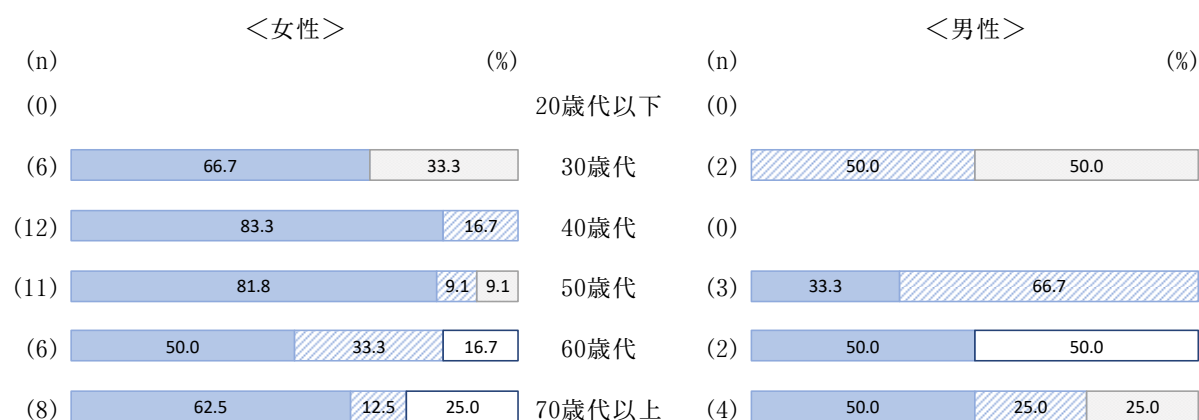
【性・年齢別】

回答者数が少ないため参考値として掲載する。

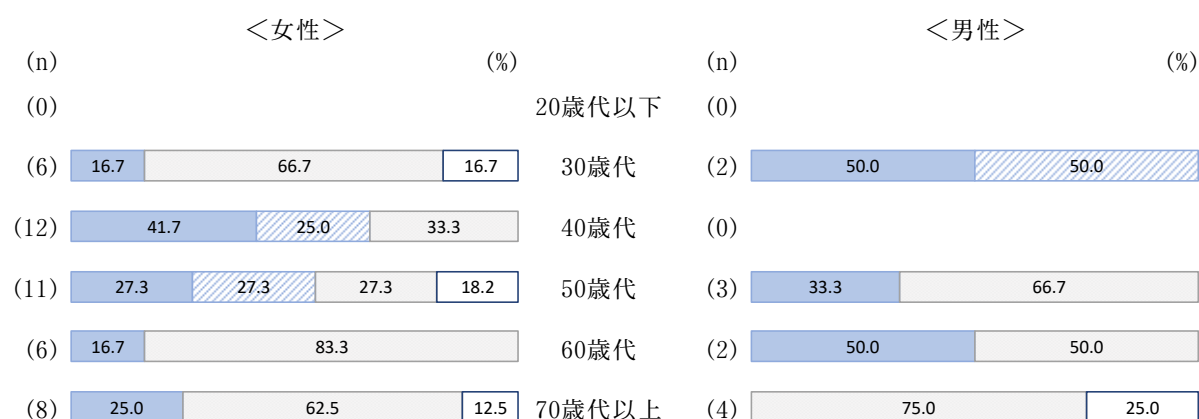
(1) 身体的暴力



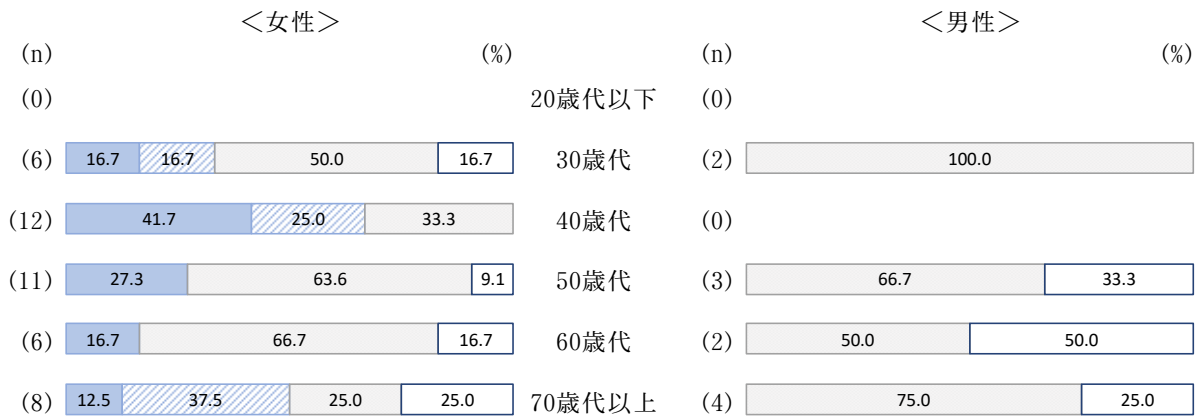
(2) 精神的暴力



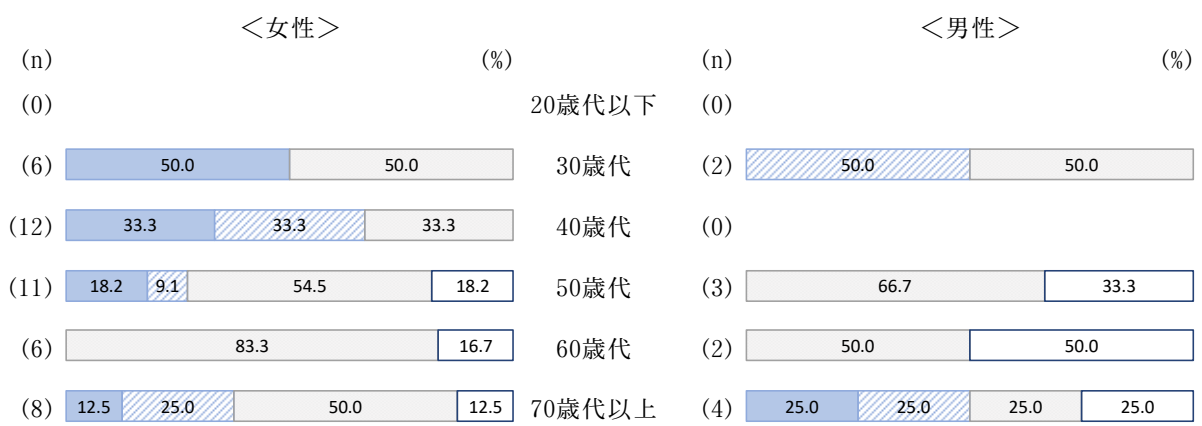
(3) 経済的暴力



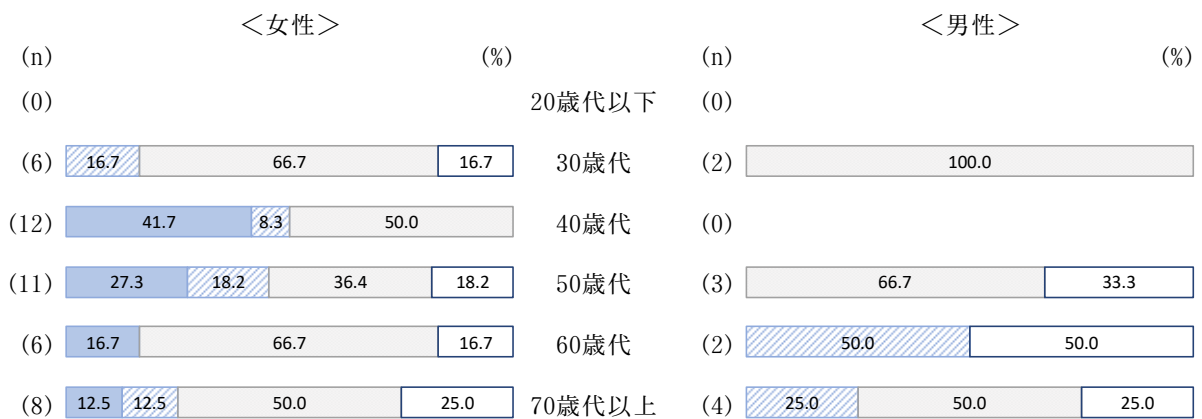
(4)性的暴力



(5)社会的暴力



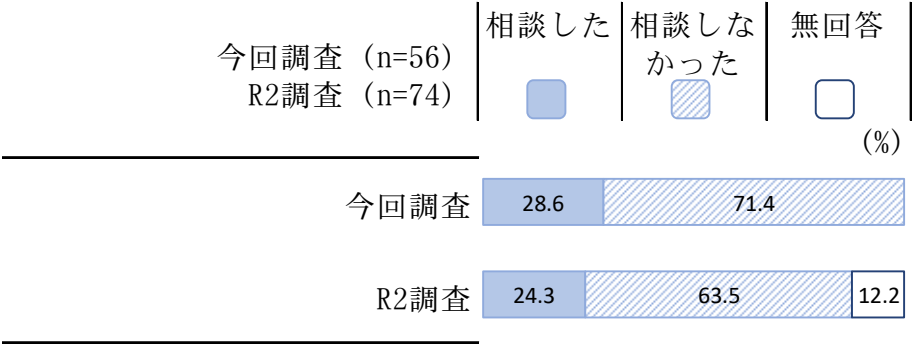
(6)こどもを巻き込んだ暴力



(5)DV 相談について

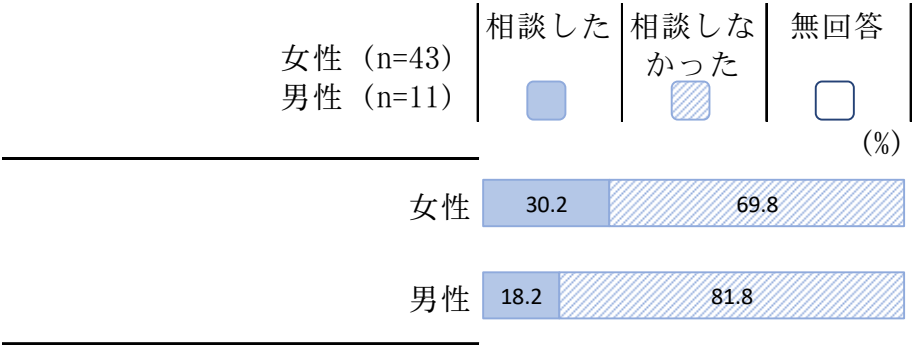
問15.あなたは DV を受けた時に相談しましたか。あてはまる番号をひとつ選んでください。

DV 相談について、「相談した」は 28.6%となっており、前回調査より 4.3 ポイント増加している一方、「相談しなかった」は 71.4%となっており、前回調査より 7.9 ポイント増加している。



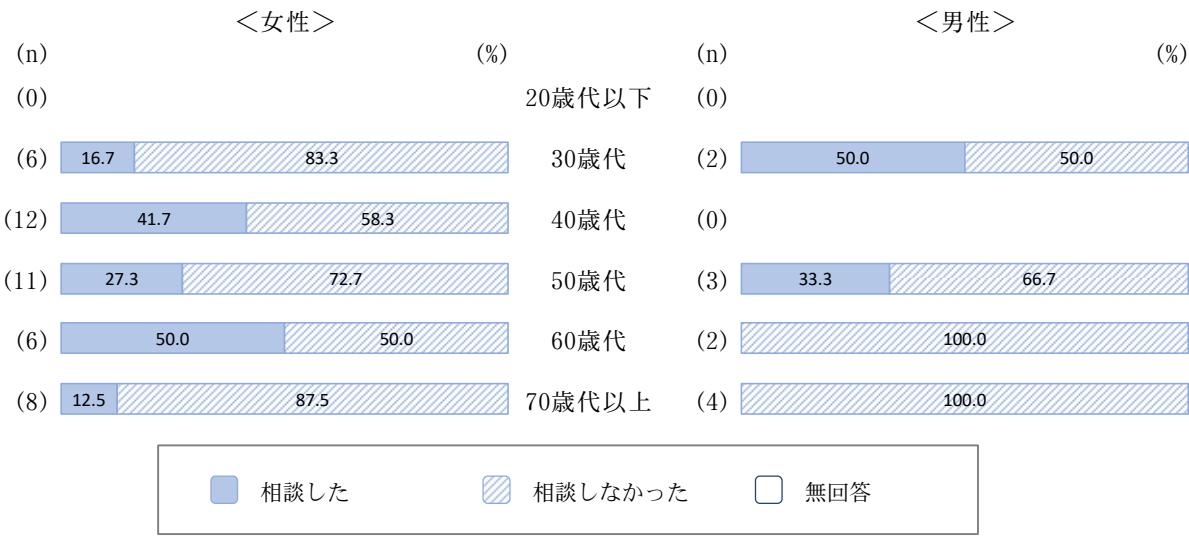
【性別】

性別でみると、「相談した」は女性が男性に比べ 12.0 ポイント高くなっている。また、「相談しなかった」は男性が女性に比べ 12.0 ポイント高くなっている。



【性・年齢別】

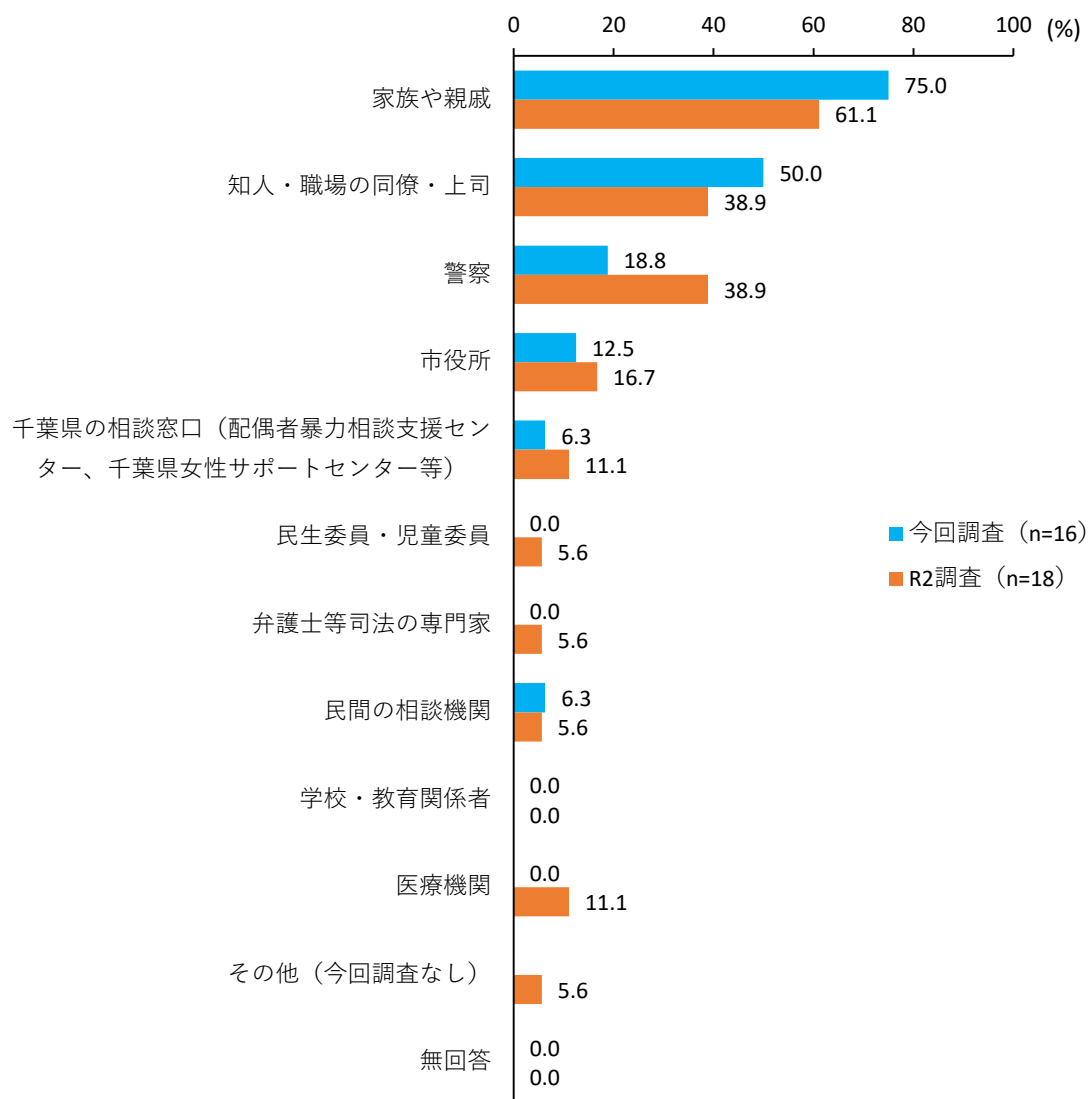
回答者数が少ないため参考値として掲載する。



(6)DV 相談先について

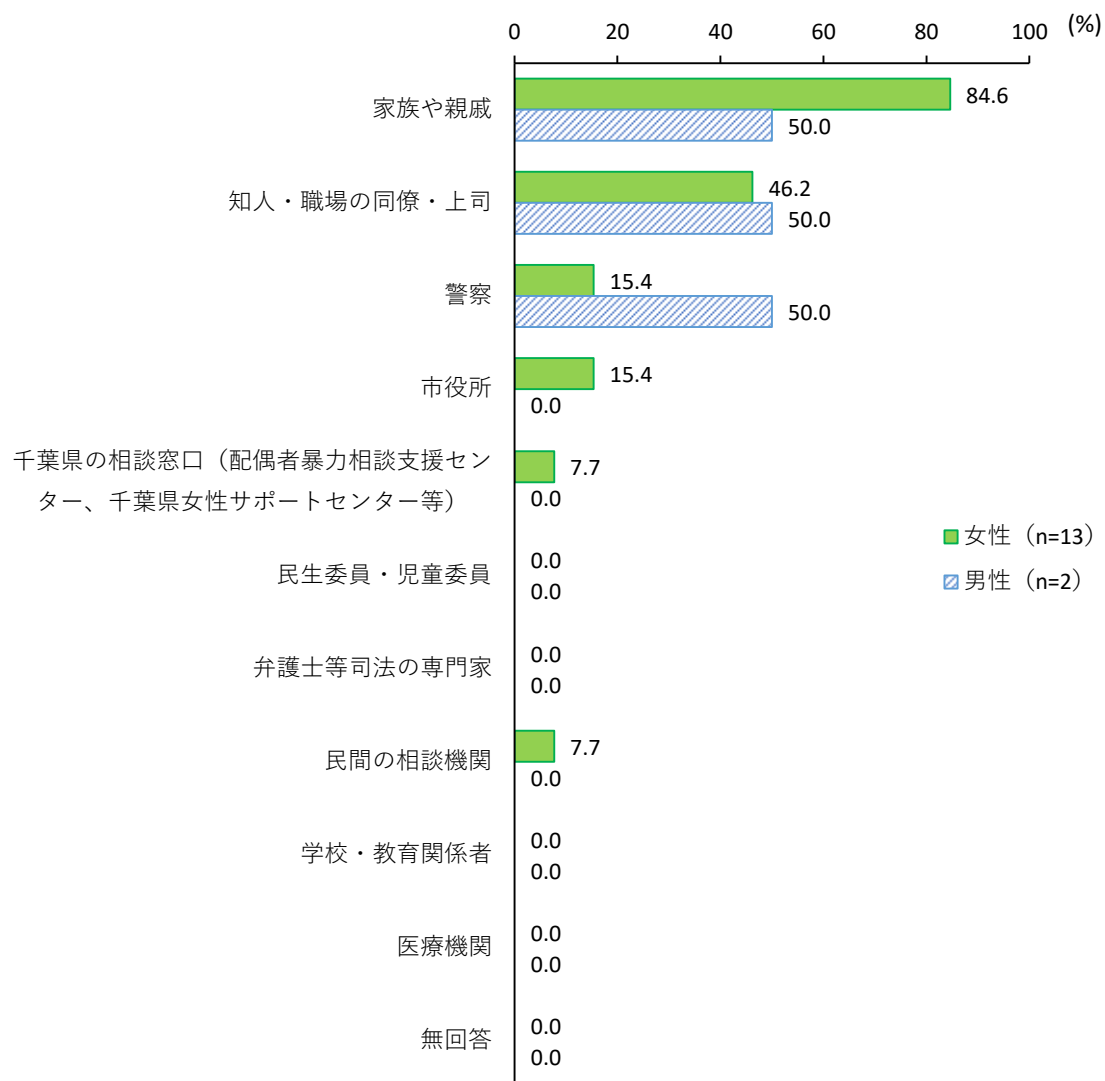
問16-1.DVを受けた時に相談した人(機関)についてあてはまる番号を選んでください。(複数回答可)

DV相談先について、最も高い項目は、「家族や親戚」の75.0%となっており、次いで「知人・職場の同僚・上司」の50.0%となっている。



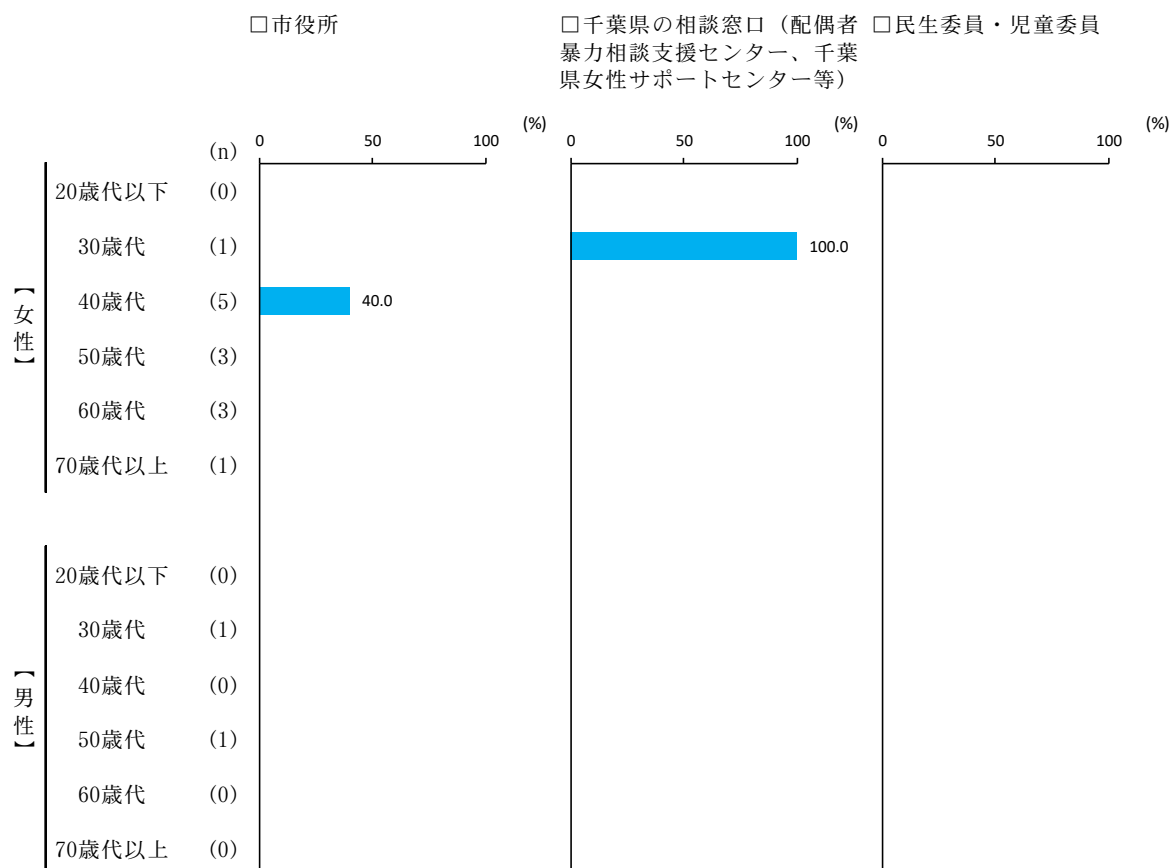
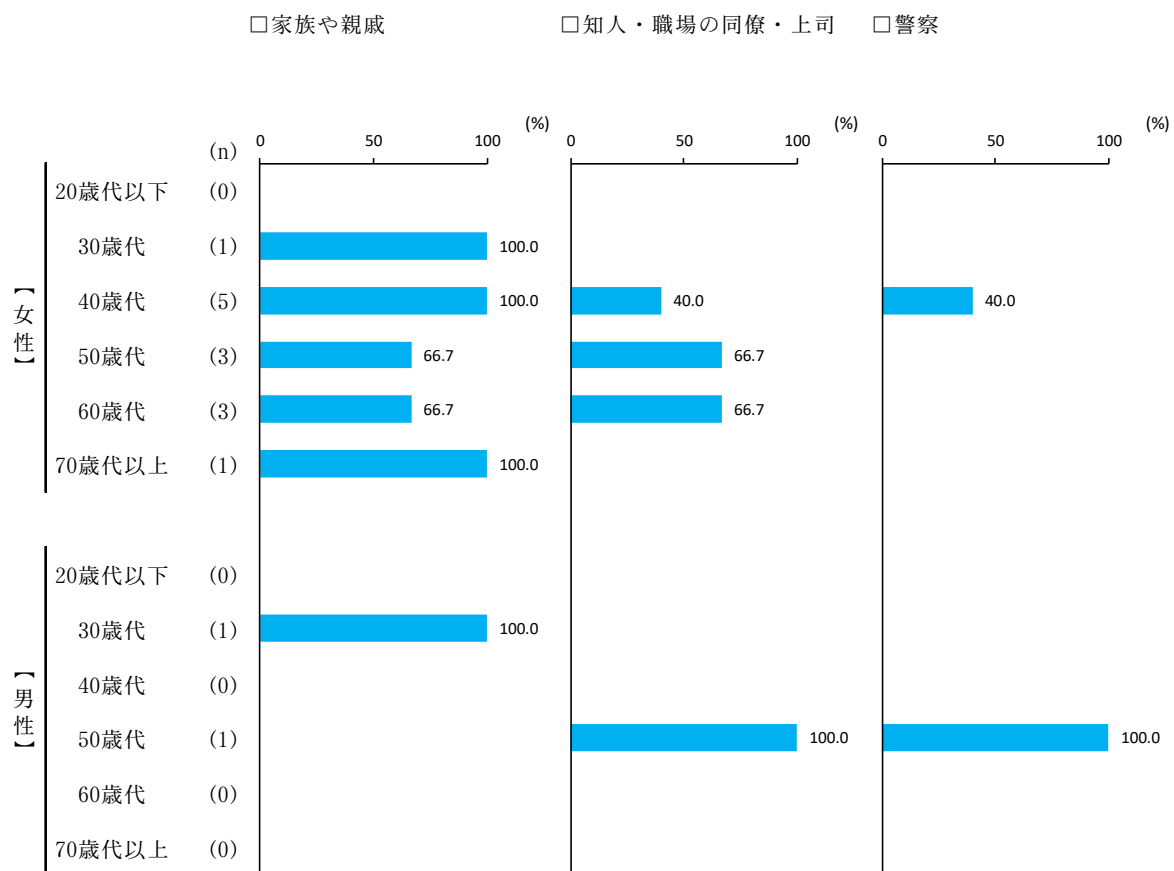
【性別】

回答者数が少ないため参考値として掲載する。



【性・年齢別】

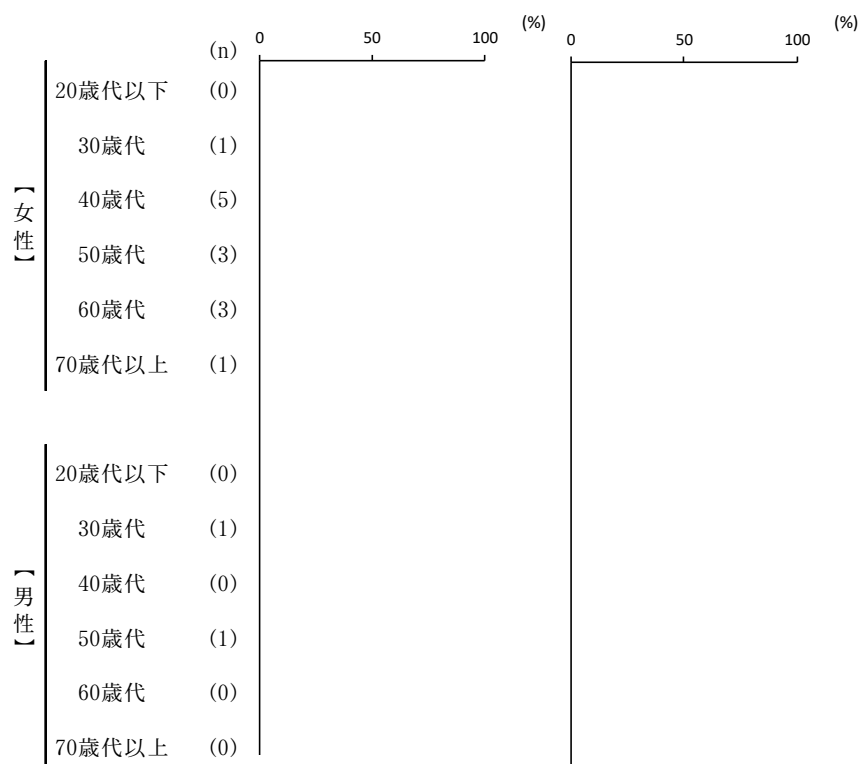
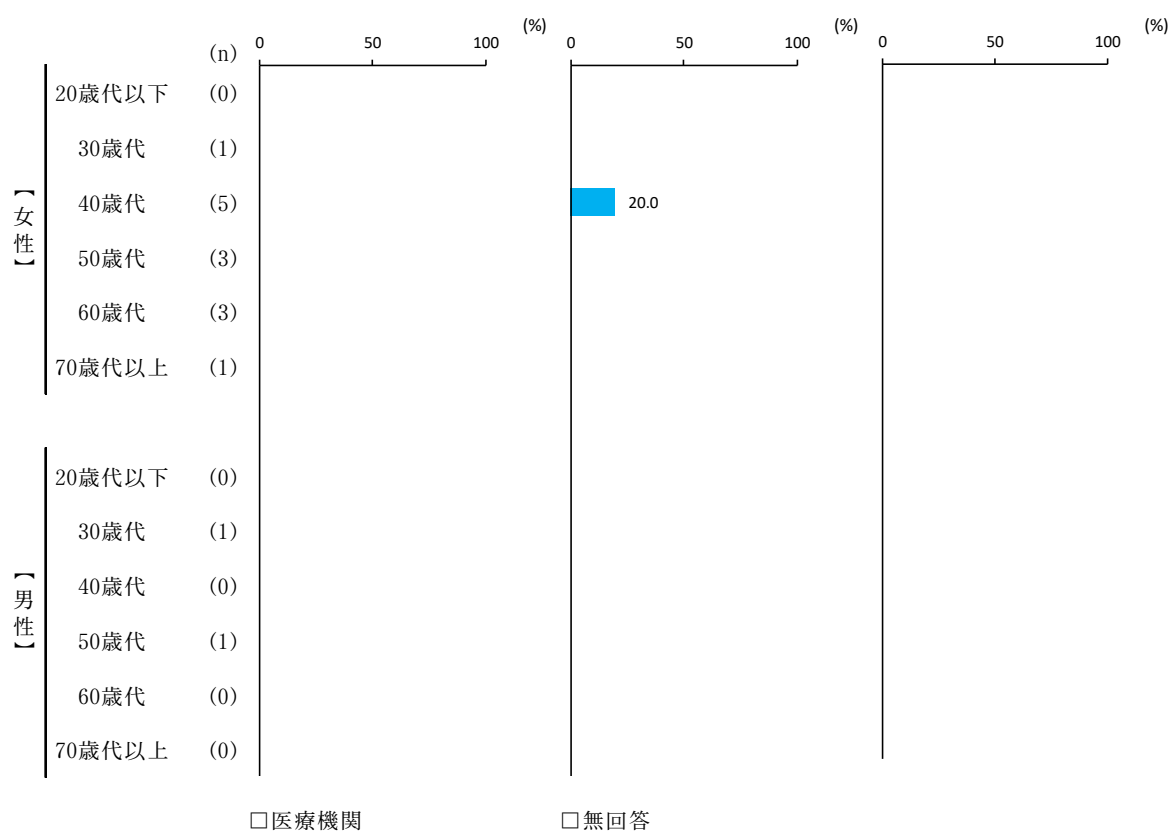
回答者数が少ないため参考値として掲載する。



☐ 弁護士等司法の専門家

☐ 民間の相談機関

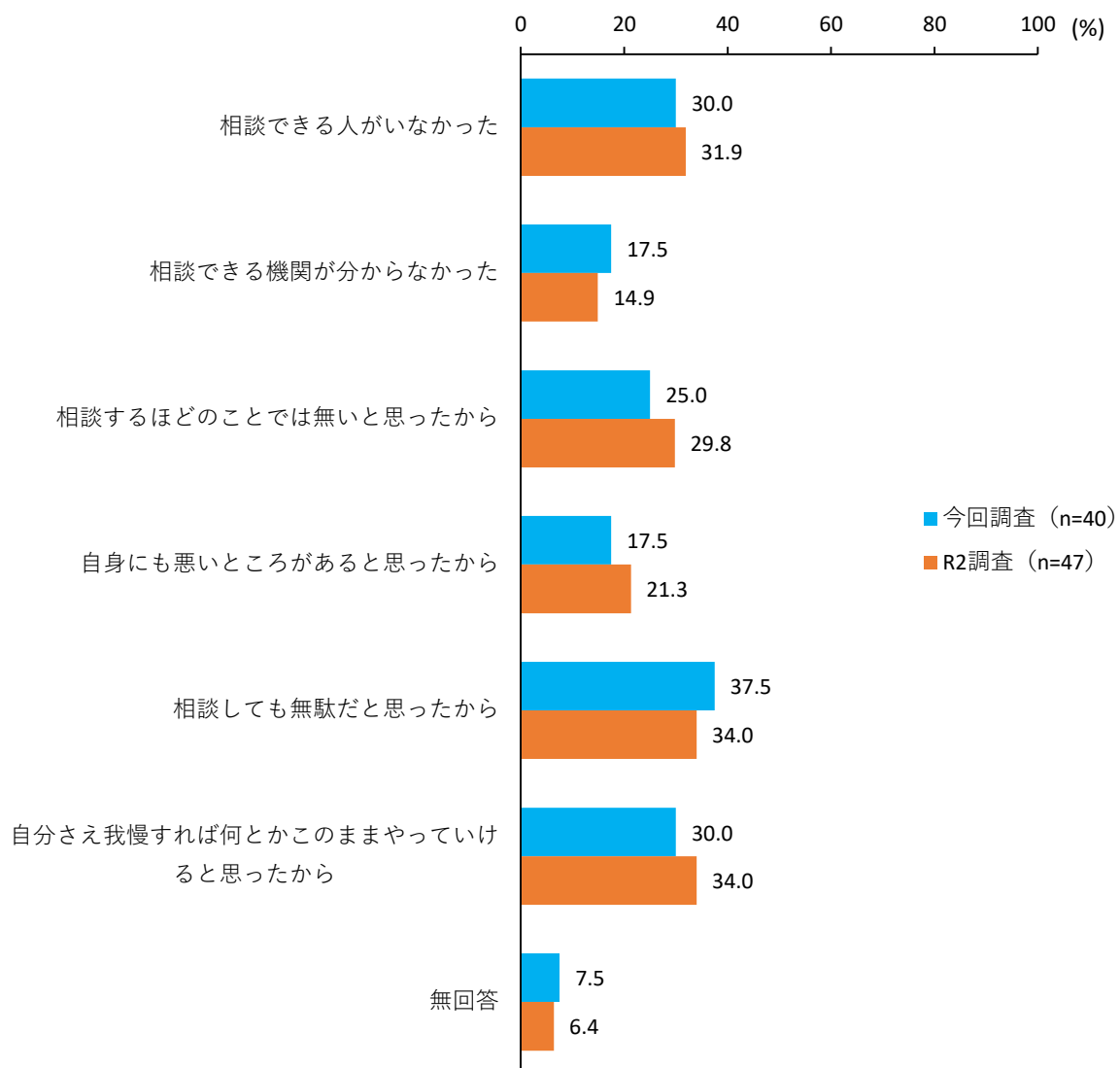
☐ 学校・教育関係者



(7)DV 相談をしない理由について

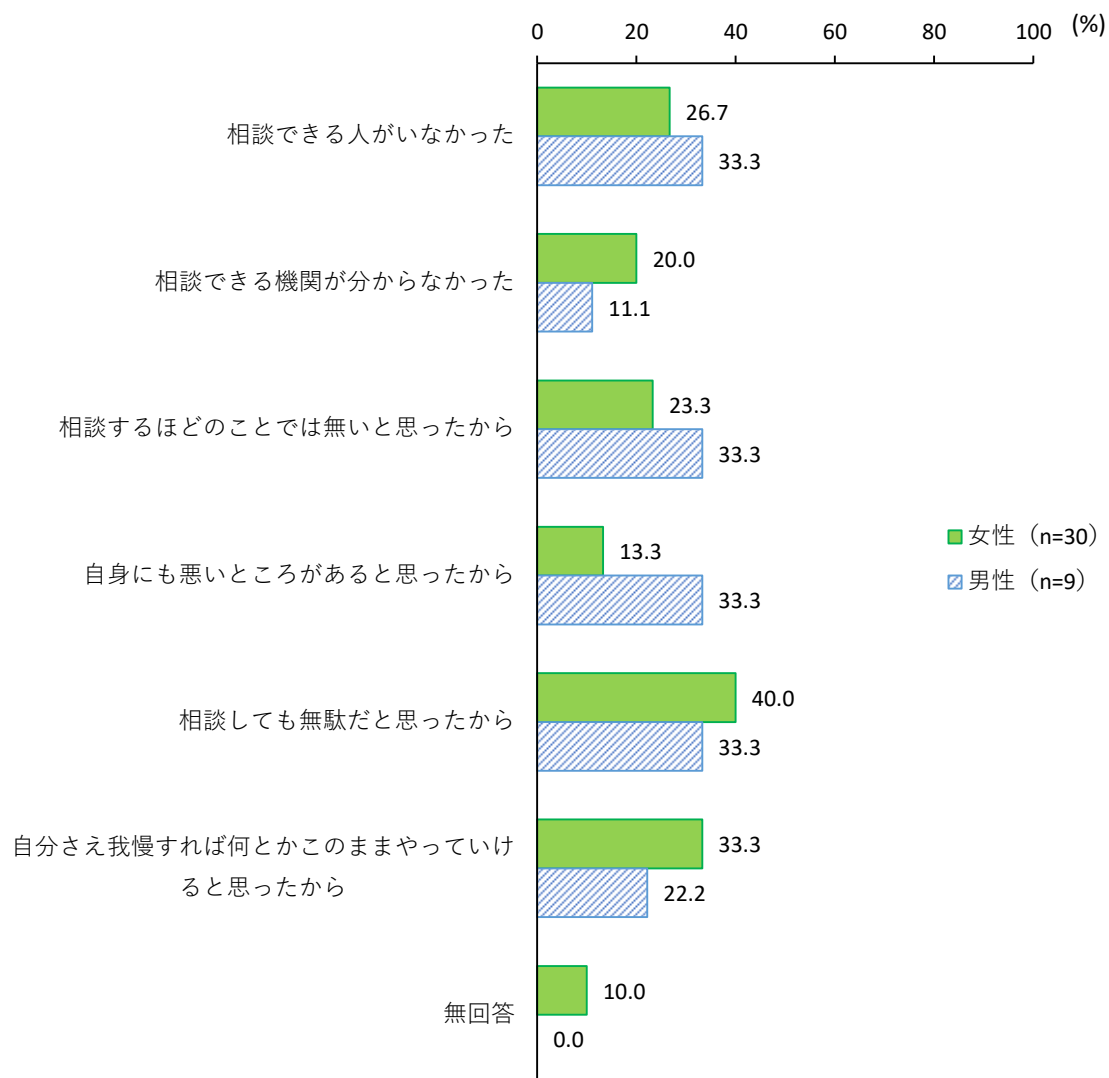
問16-2.相談しなかった理由についてあてはまる番号を選んでください。(複数回答可)

DV 相談をしない理由について、最も高い項目は、「相談しても無駄だと思ったから」の 37.5%となっており、次いで「相談できる人がいなかった」、「自分さえ我慢すれば何とかこのままやっていけたから」の 30.0%となっている。



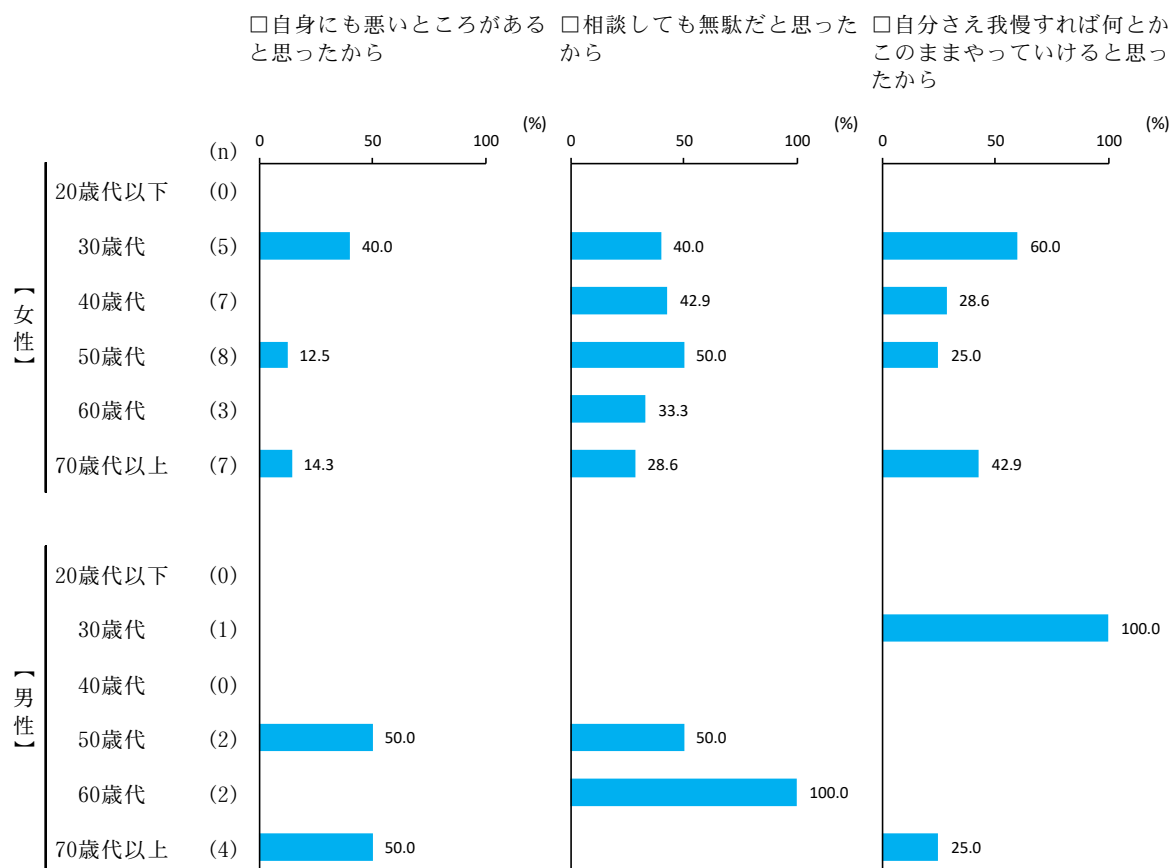
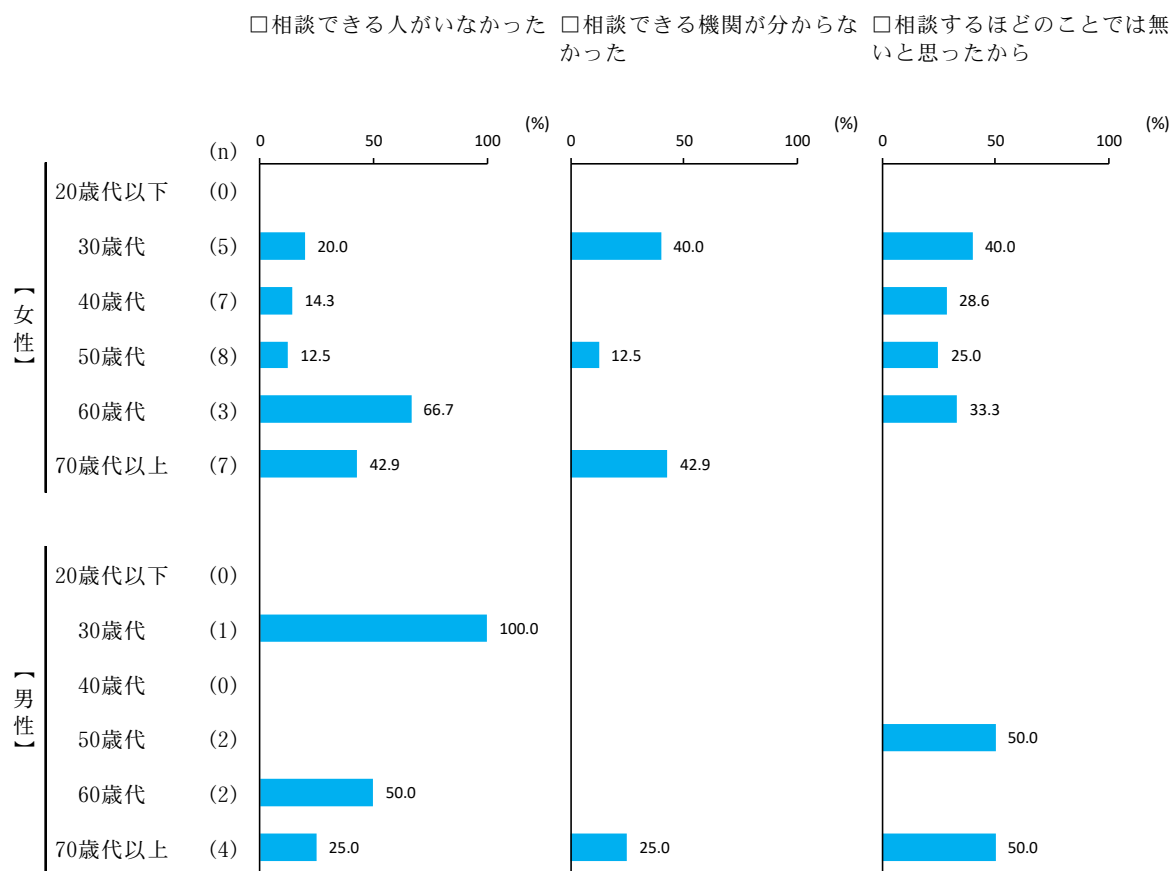
【性別】

性別でみると、「自分さえ我慢すれば何とかこのままやっていけたと思ったから」は女性が男性に比べ11.1ポイント高くなっている。また、「自身にも悪いところがあったから」は男性が女性に比べ20.0ポイント高くなっている。

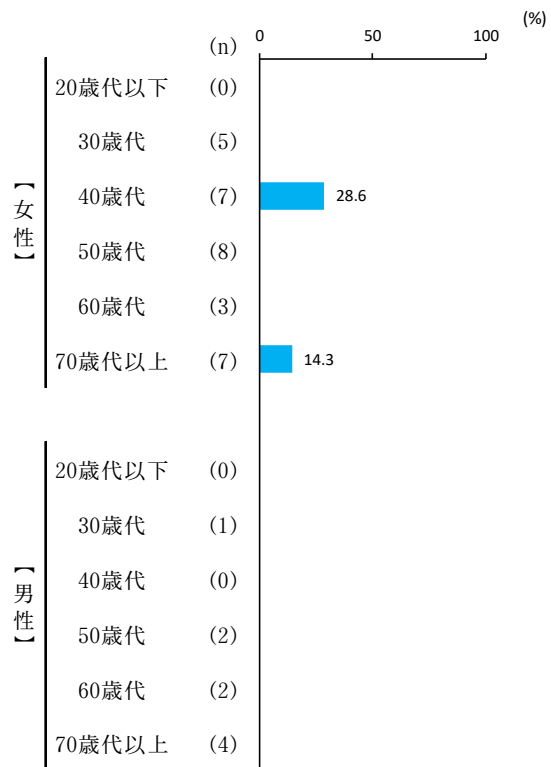


【性・年齢別】

回答者数が少ないため参考値として掲載する。



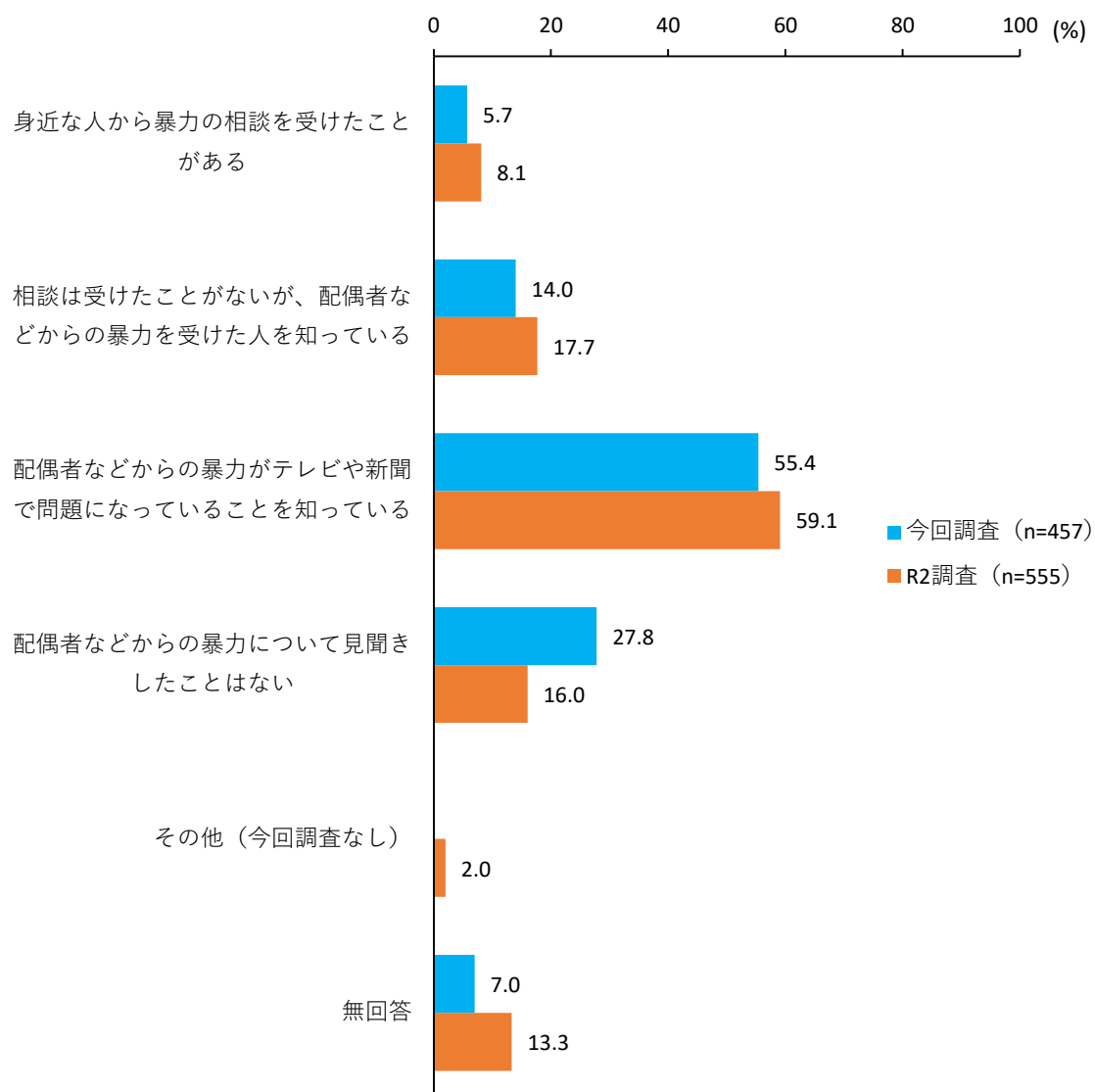
□無回答



(8)DV に対する見聞について

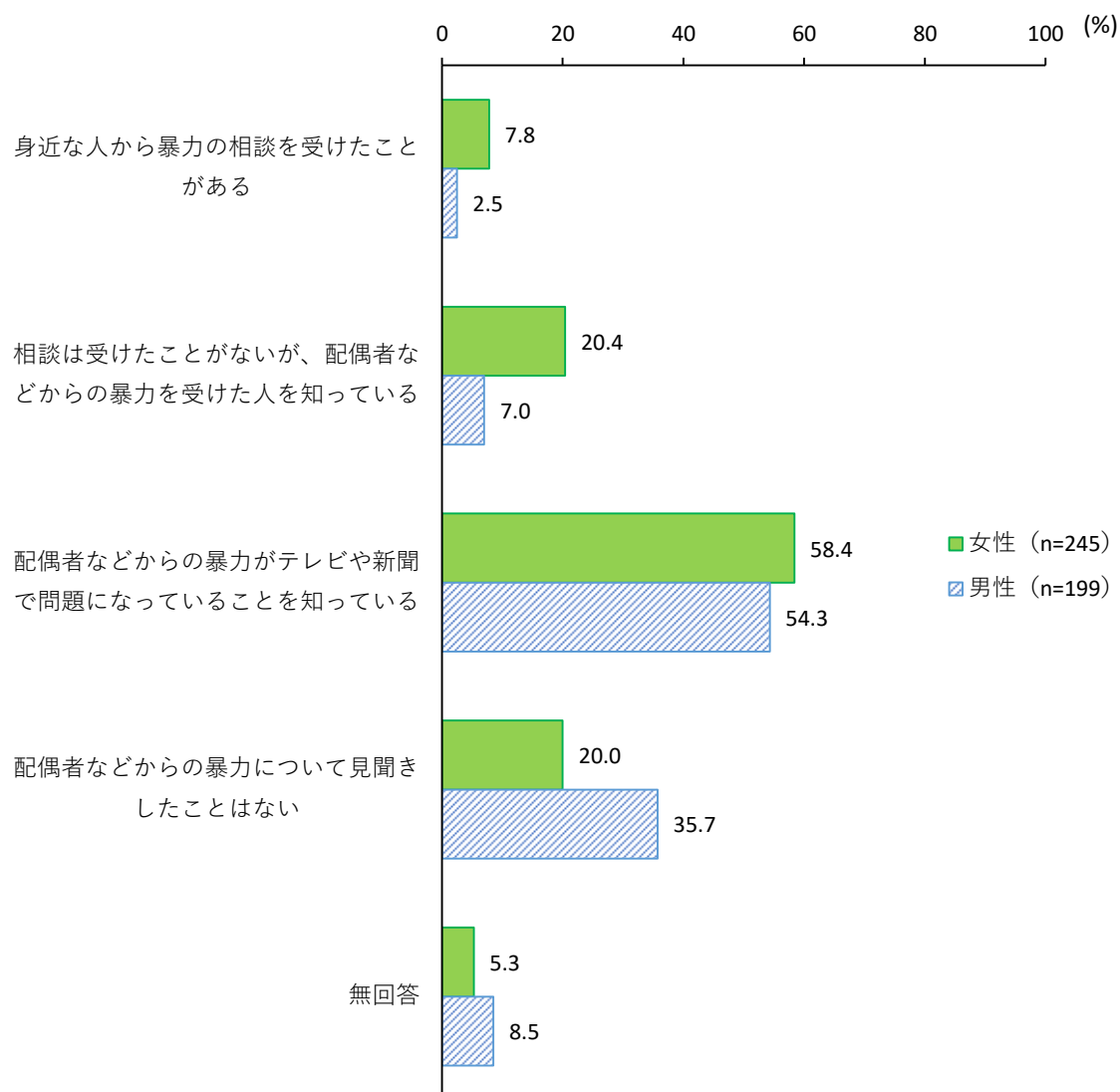
問17.あなたはDVを見聞きしたことがありますか。あてはまる番号を選んでください。(複数回答可)

DV に対する見聞について、最も高い項目は、「配偶者などからの暴力がテレビや新聞で問題になっていることを知っている」の 55.4%となっており、次いで「配偶者などからの暴力について見聞きしたことはない」の 27.8%となっている。



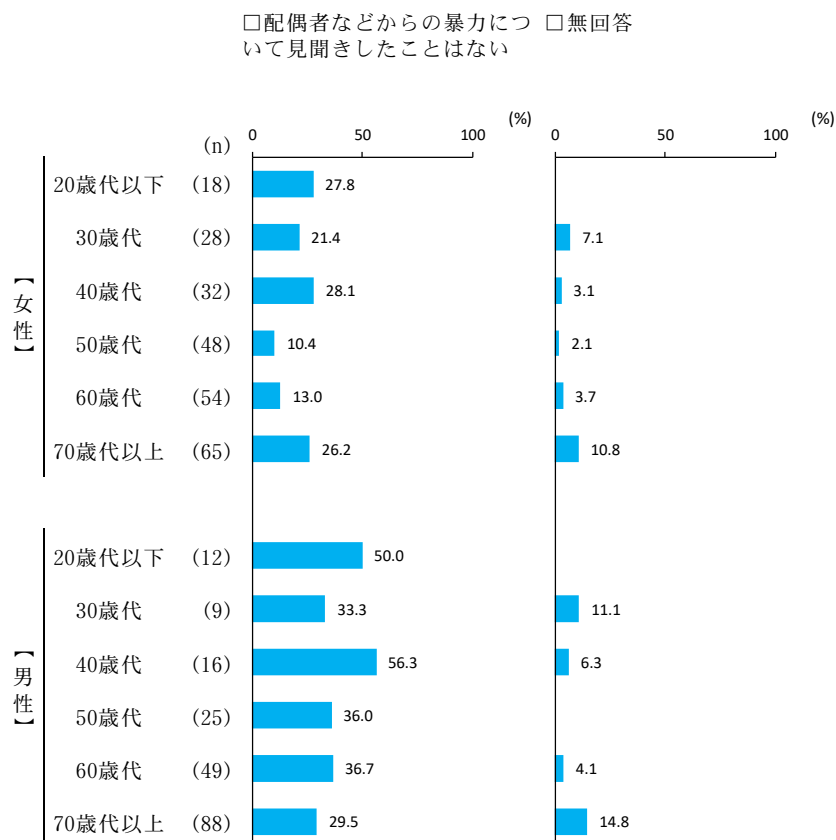
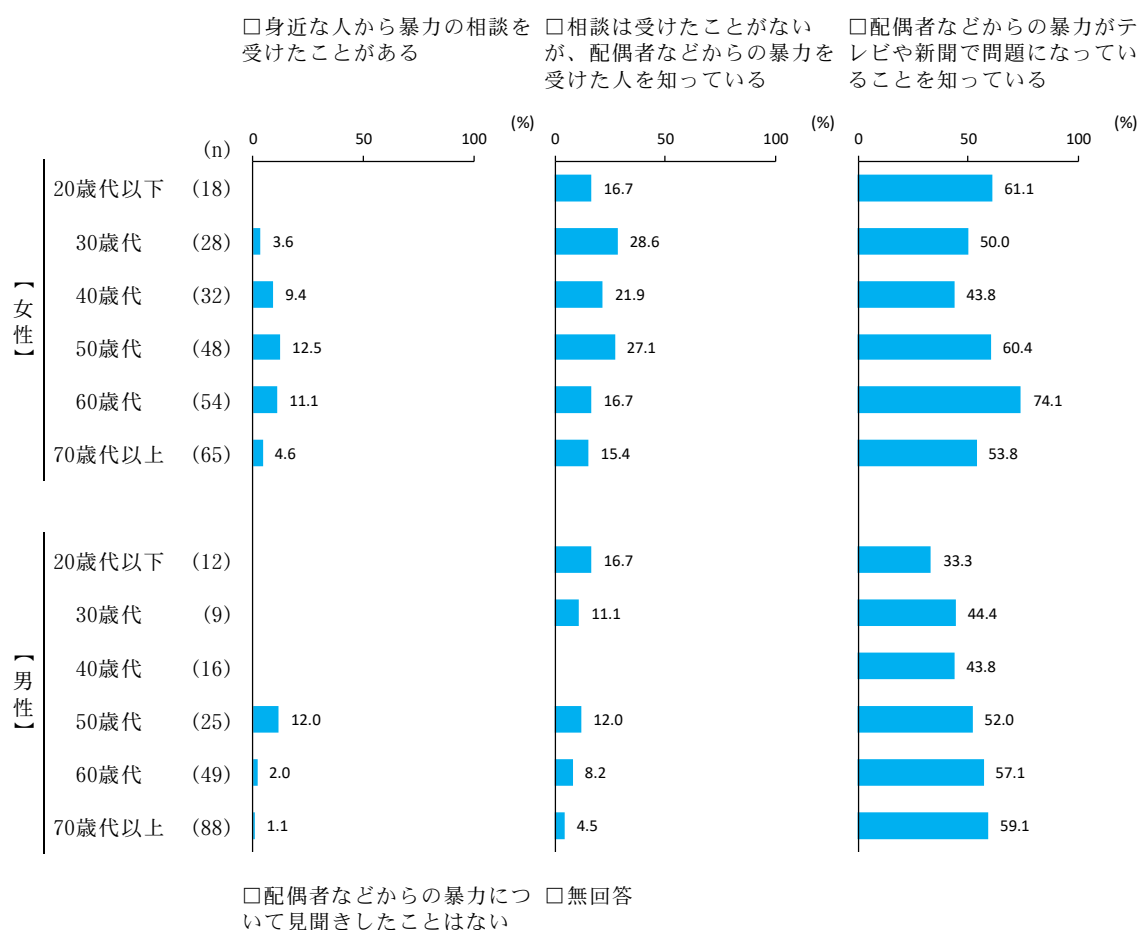
【性別】

性別でみると、「相談は受けたことがないが、配偶者などからの暴力を受けた人を知っている」は女性が男性に比べ 13.4 ポイント高くなっている。また、「配偶者などからの暴力について見聞きしたことはない」は男性が女性に比べ 15.7 ポイント高くなっている。



【性・年齢別】

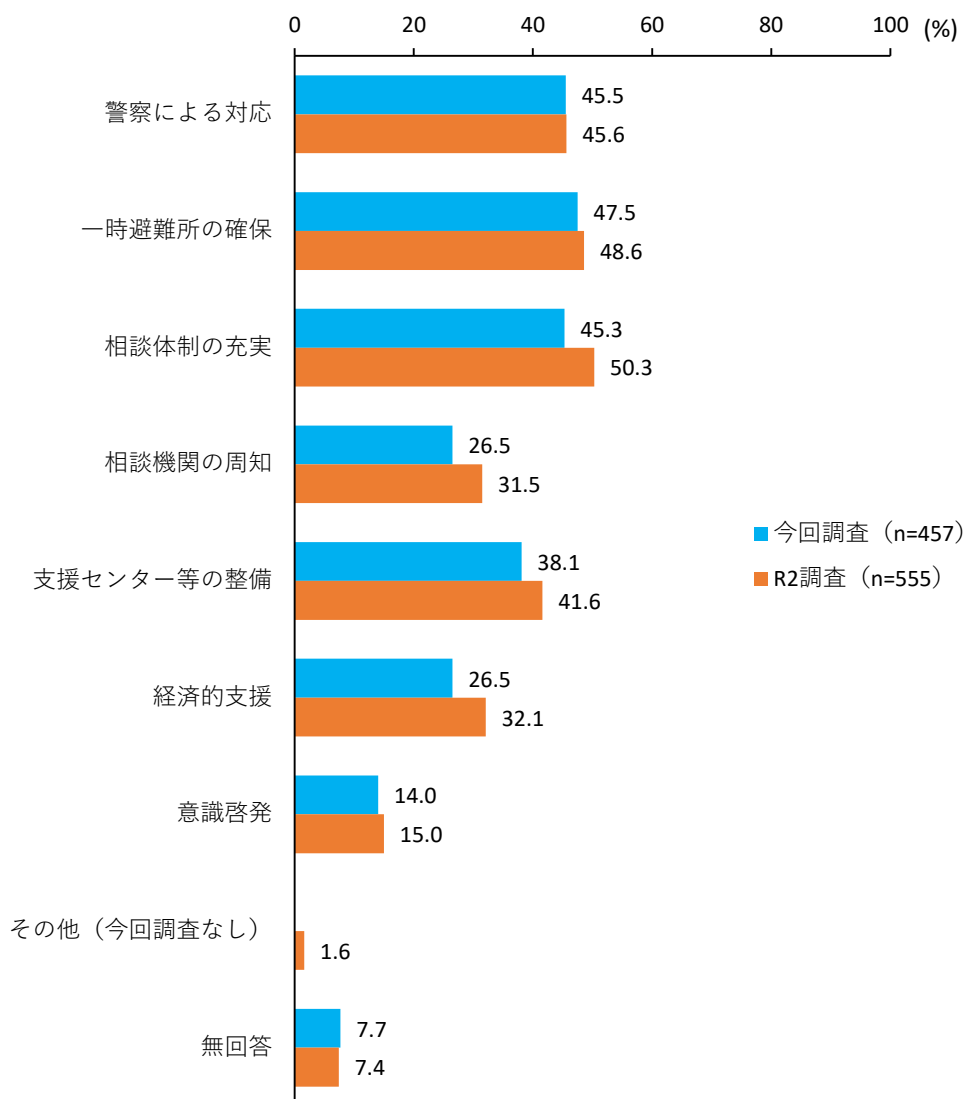
性・年齢別でみると、「配偶者などからの暴力がテレビや新聞で問題になっていることを知っている」は、女性の60歳代で74.1%、男性の70歳代以上で59.1%と高くなっている。



(9)行政のDV支援対応について

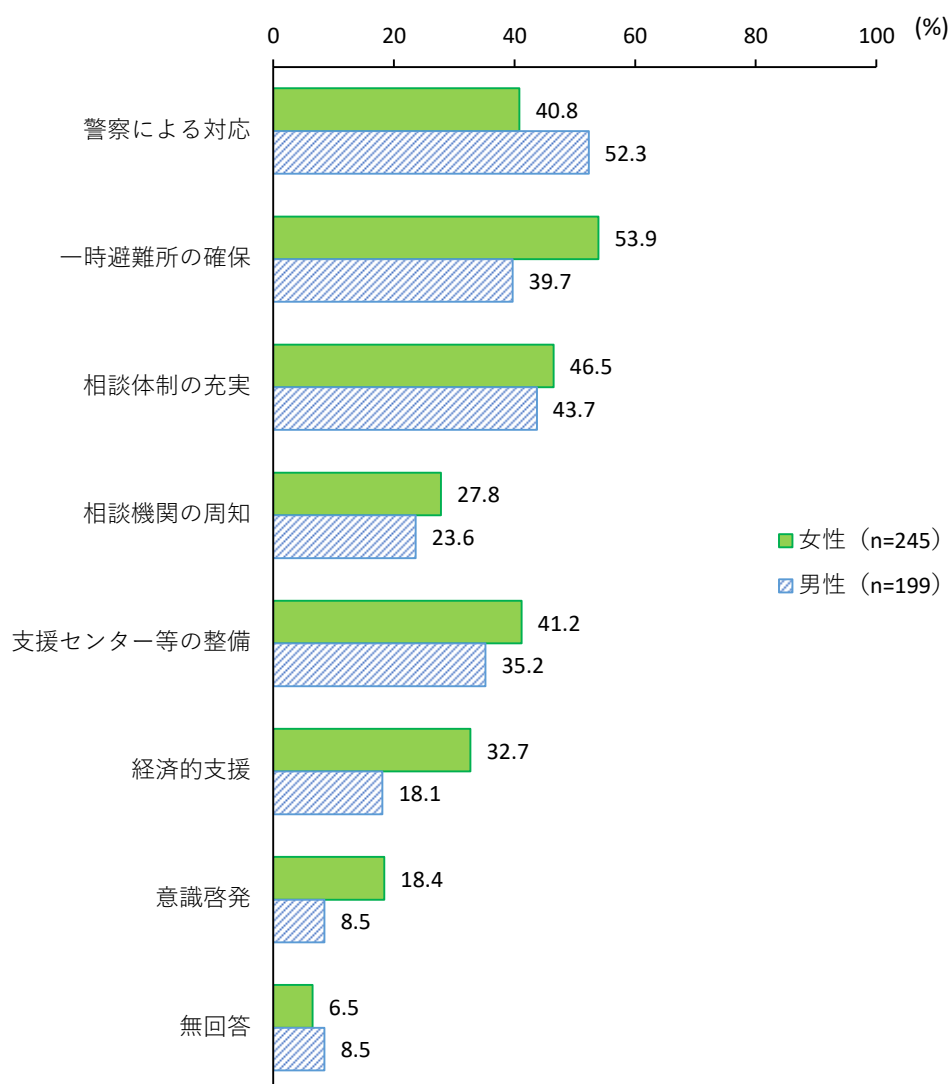
問18.行政のDV支援対応について望むものはどれですか。あてはまる番号を選んでください。(複数回答可)

行政のDV支援対応について、最も高い項目は、「一時避難所の確保」の47.5%となっており、次いで「警察による対応」の45.5%となっている。



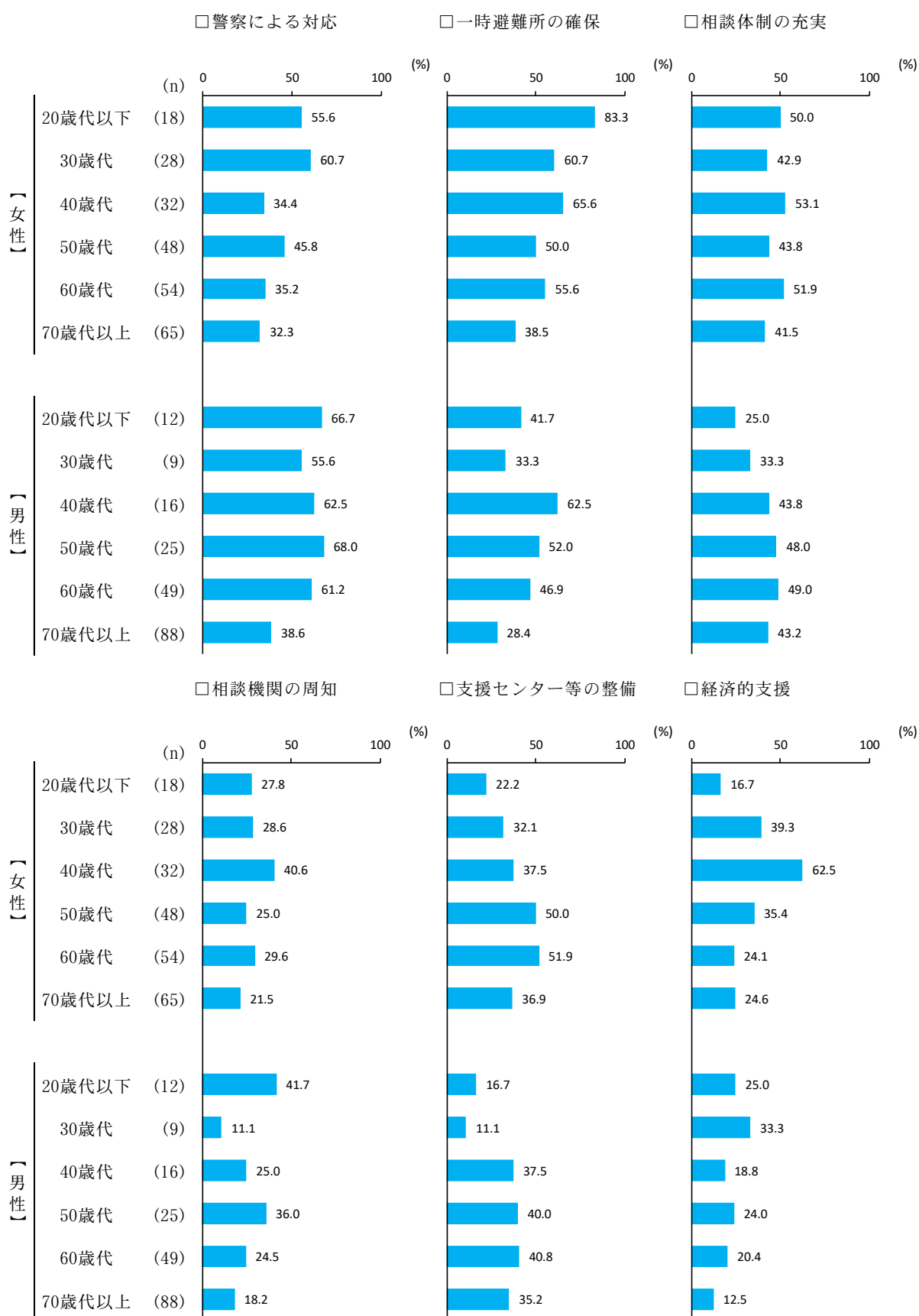
【性別】

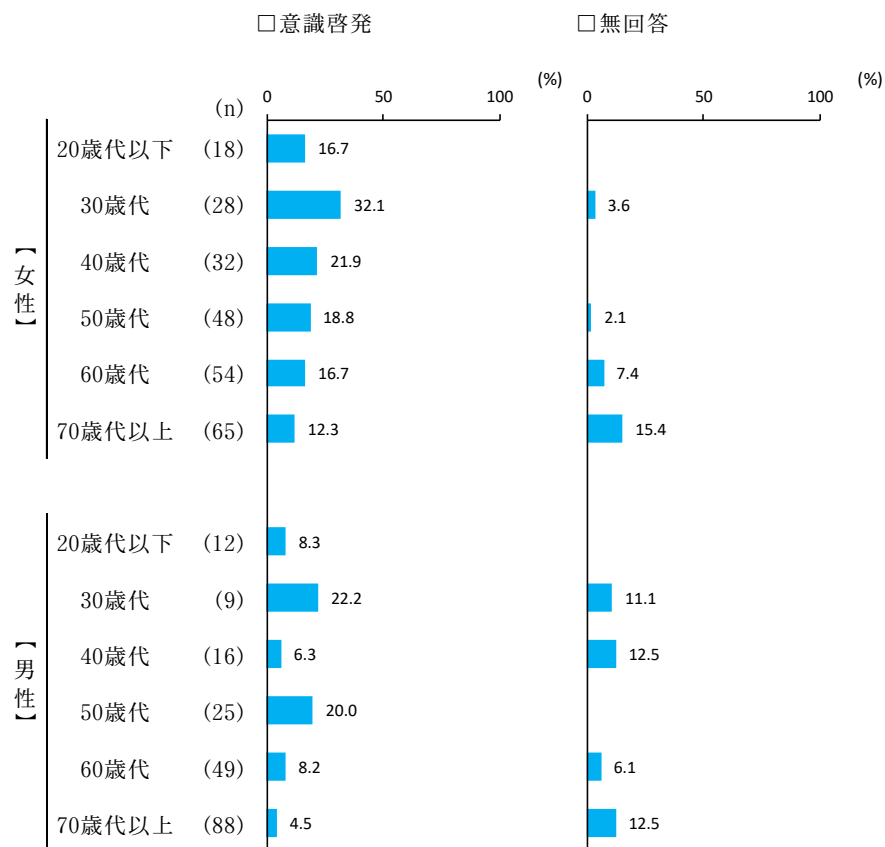
性別でみると、「経済的支援」は女性が男性に比べ14.6ポイント高くなっている。また、「警察による対応」は男性が女性に比べ11.5ポイント高くなっている。



【性・年齢別】

性・年齢別でみると、「一時避難所の確保」は、女性の20歳代以下で83.3%と高くなっている。また、「警察による対応」は男性の50歳代で68.0%と高くなっている。



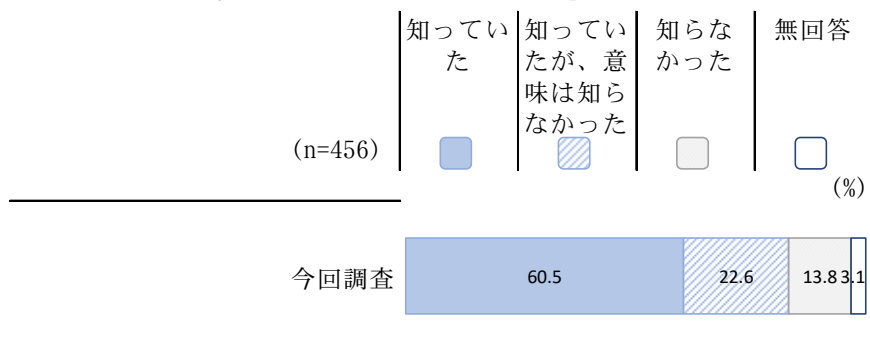


7. 性の多様性

(1) LGBTQ+ の認知について

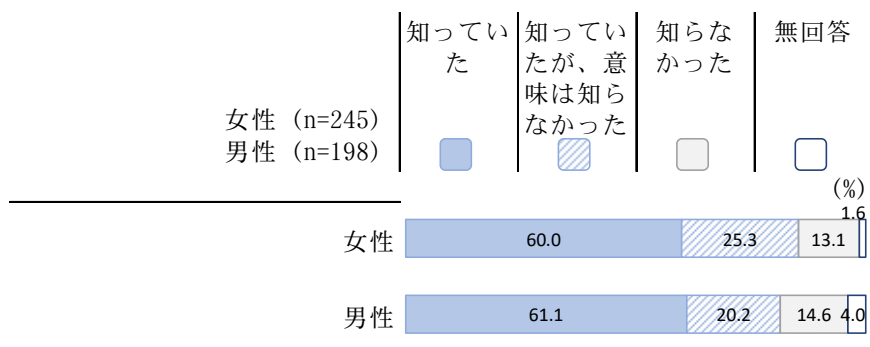
問19.LGBT や LGBTQ+という言葉を知っていますか。あてはまる番号をひとつ選んでください。

LGBTQ+の認知について、最も高い項目は、「知っていた」の 60.5%となっている。



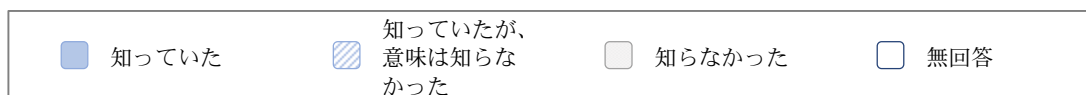
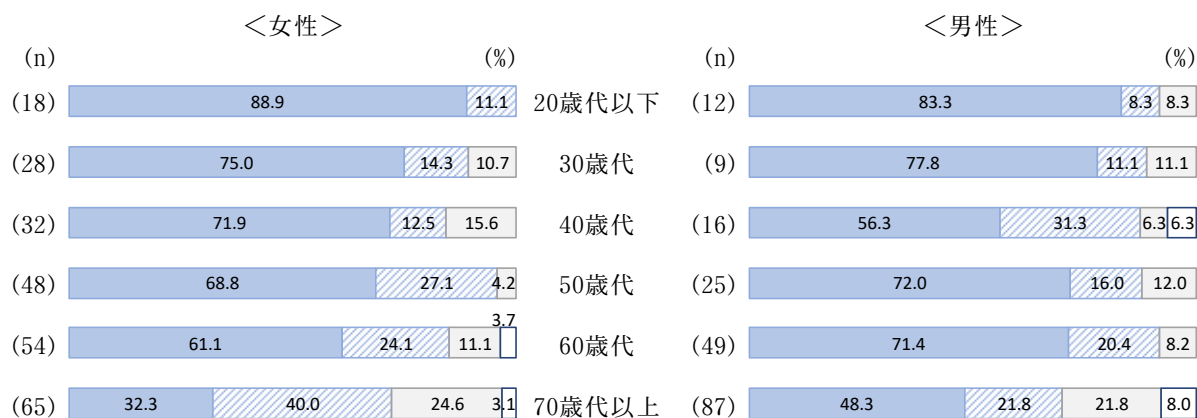
【性別】

性別でみると、「知っていたが、意味は知らなかった」は女性が男性に比べ 5.1 ポイント高くなっている。



【性・年齢別】

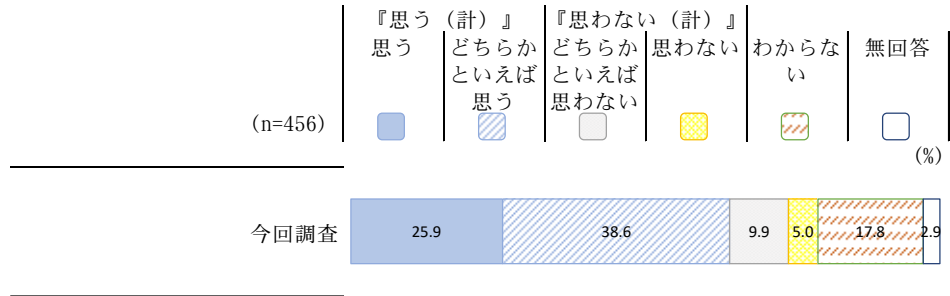
性・年齢別でみると、「知っていた」は、男女ともに 20 歳代以下が高くなっている。



(2)性的少数者に対する環境について

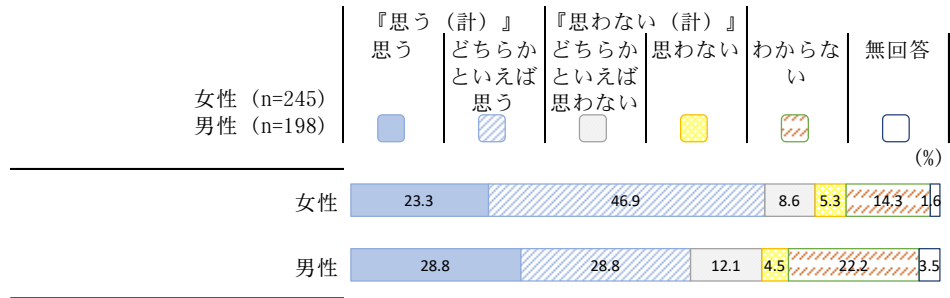
問20.LGBTQ+など性的マイノリティ(少数者)の方にとって、現在の社会は偏見や差別などで生きづらくと思いますか。あてはまる番号をひとつ選んでください。

性的少数者に対する環境について、『思う(計)』は64.5%、『思わない(計)』は14.9%となっている一方、「わからない」は17.8%と高い割合となっている。



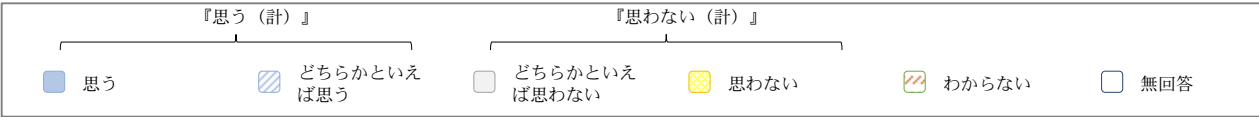
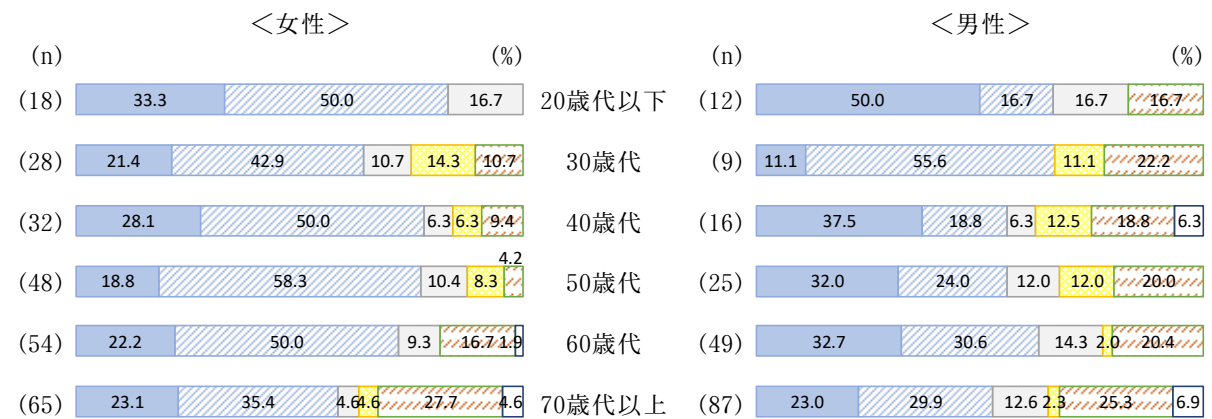
【性別】

性別でみると、男女ともに『思う(計)』の占める割合が高いが、女性は男性に比べ、『思う(計)』の占める割合が高くなっている一方、男性は女性に比べ、「わからない」の占める割合が高くなっている。



【性・年齢別】

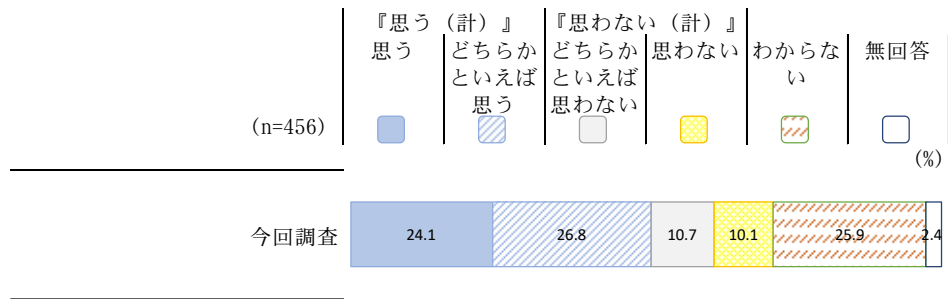
性・年齢別でみると、男女ともにどの年代も『思う(計)』の占める割合が高くなっている。また、男女ともに70歳代以上の「わからない」の占める割合が高くなっている。



(3)パートナーシップ宣誓制度の実施について

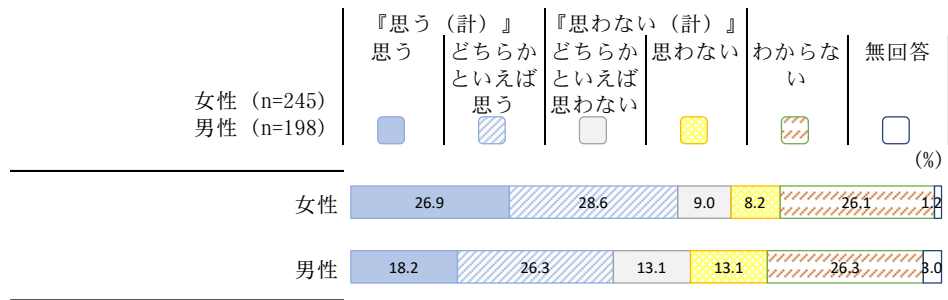
問21.パートナーシップ宣誓制度について、八街市でも実施する必要があると思いますか。あてはまる番号をひとつ選んでください。

パートナーシップ宣誓制度の実施について、『思う(計)』は50.9%、『思わない(計)』は20.8%となっている一方、「わからない」は25.9%と高い割合となっている。



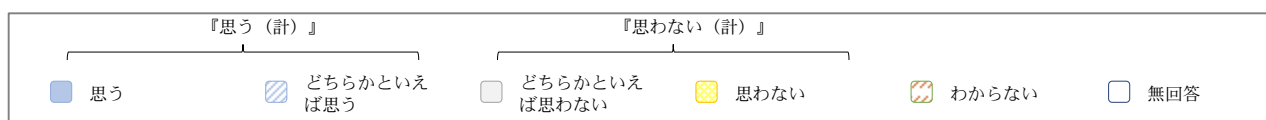
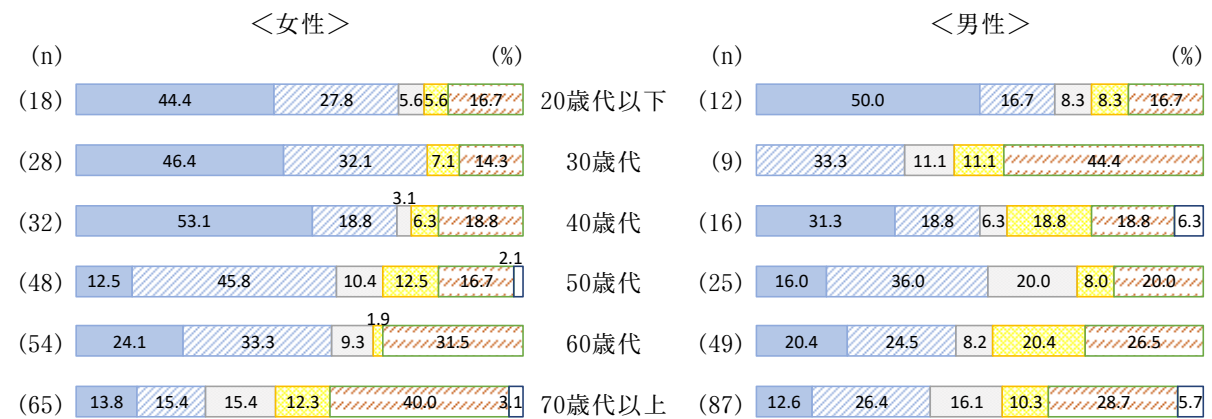
【性別】

性別でみると、男女ともに『思う(計)』の占める割合が高いが、女性は男性に比べ、『思う(計)』の占める割合が高くなっている。



【性・年齢別】

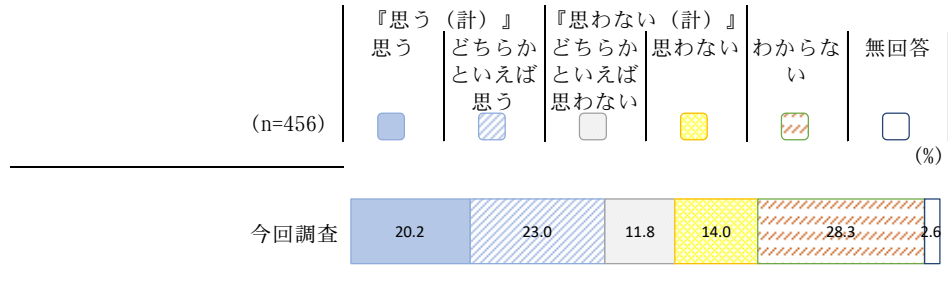
性・年齢別でみると、女性は70歳代以上以外『思う(計)』の占める割合が高いほか、女性の50歳代、男性の40～60歳代を除き「わからない」の占める割合が『思わない(計)』を上回っている。



(4)パートナーシップ宣誓制度の対象者について

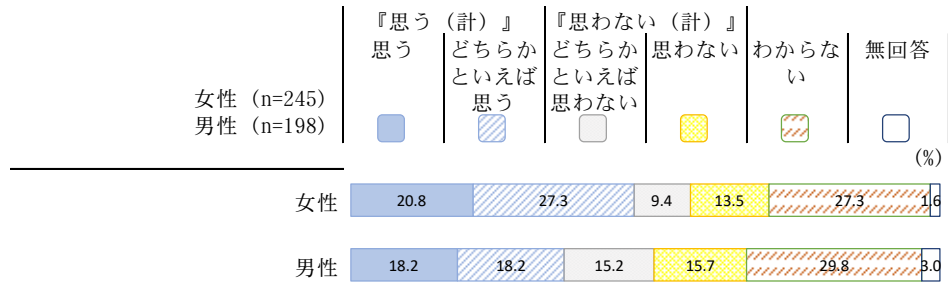
問22.パートナーシップ宣誓制度の対象者に異性間の事実婚カップルも含む必要があると思いますか。
あてはまる番号をひとつ選んでください。

パートナーシップ宣誓制度の対象者について、『思う(計)』は43.2%、『思わない(計)』は25.8%
となっている一方、「わからない」は28.3%と高い割合となっている。



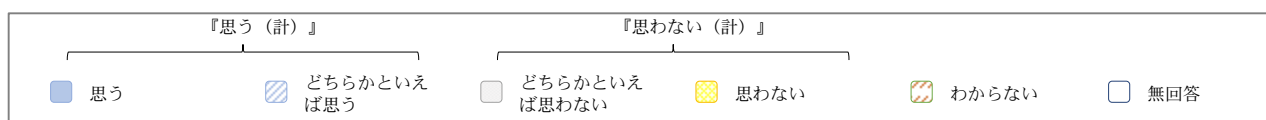
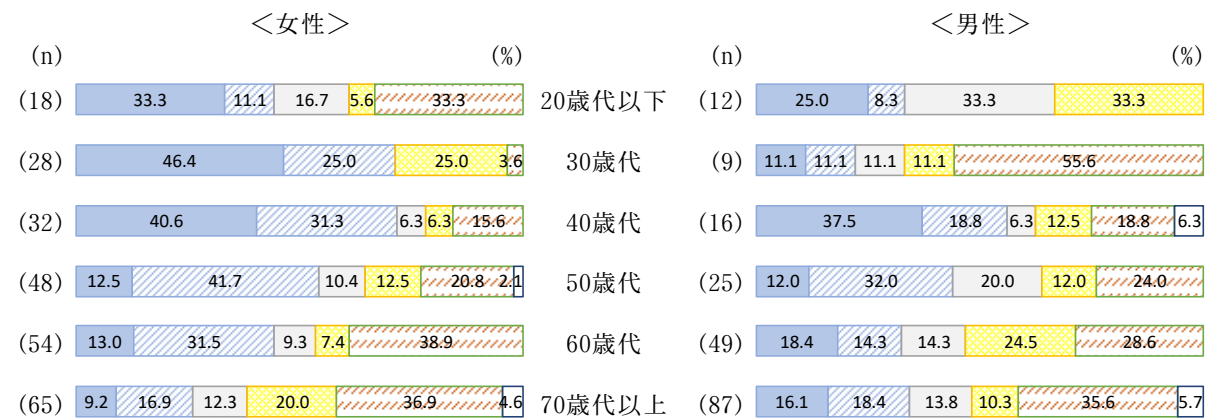
【性別】

性別でみると、男女ともに『思う(計)』の占める割合が高いが、女性は男性に比べ、『思う(計)』の
占める割合が高くなっている一方、男性は女性に比べ、「わからない」の占める割合が高くなっている。



【性・年齢別】

性・年齢別でみると、女性は70歳代以上を除き『思う(計)』の占める割合が高い一方、男性は20
歳代以下で『思わない(計)』、30歳代で「わからない」の占める割合が高くなっている。

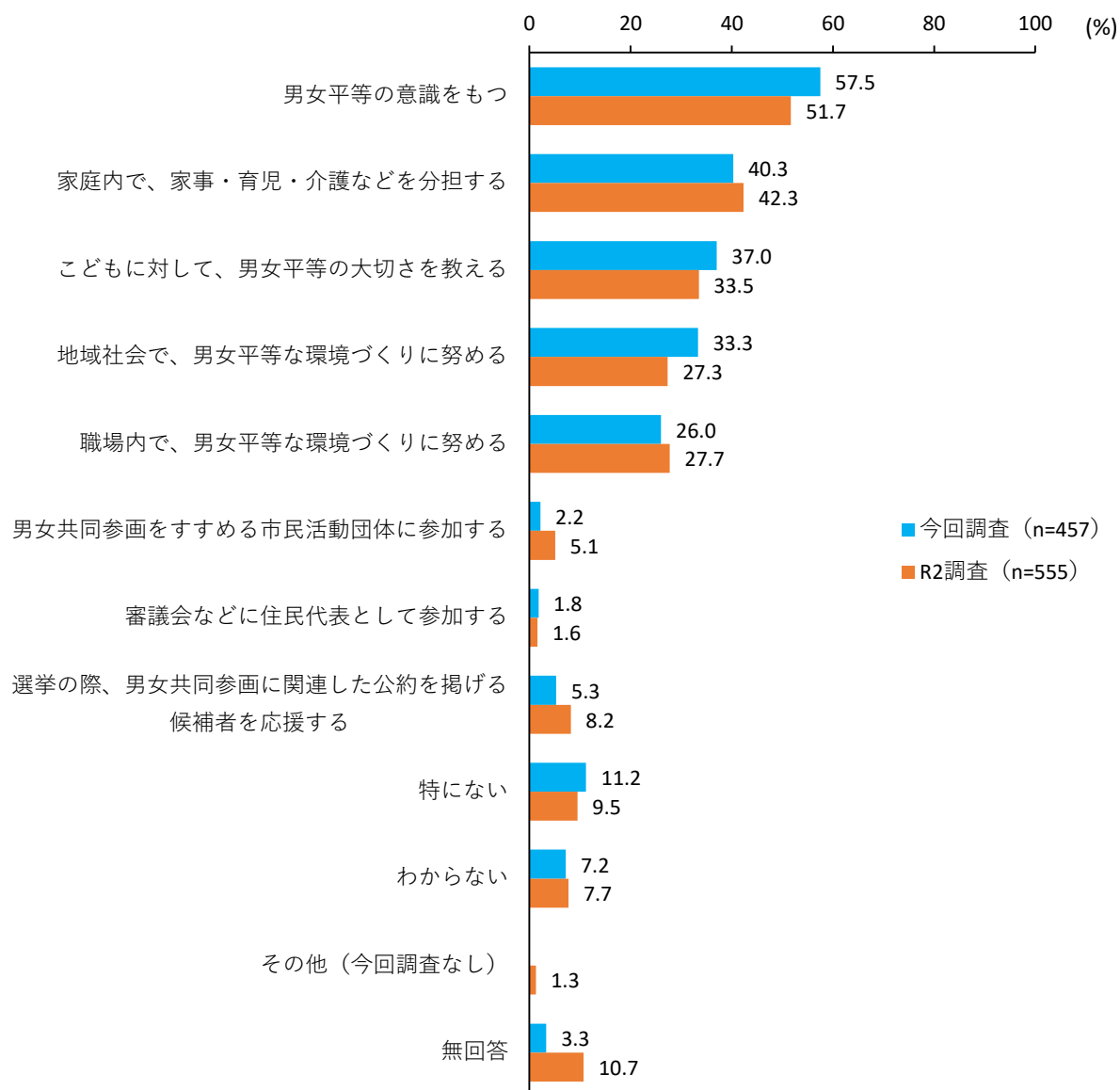


8. 市民と行政の役割

(1)男女共同参画推進のために行いたいことについて

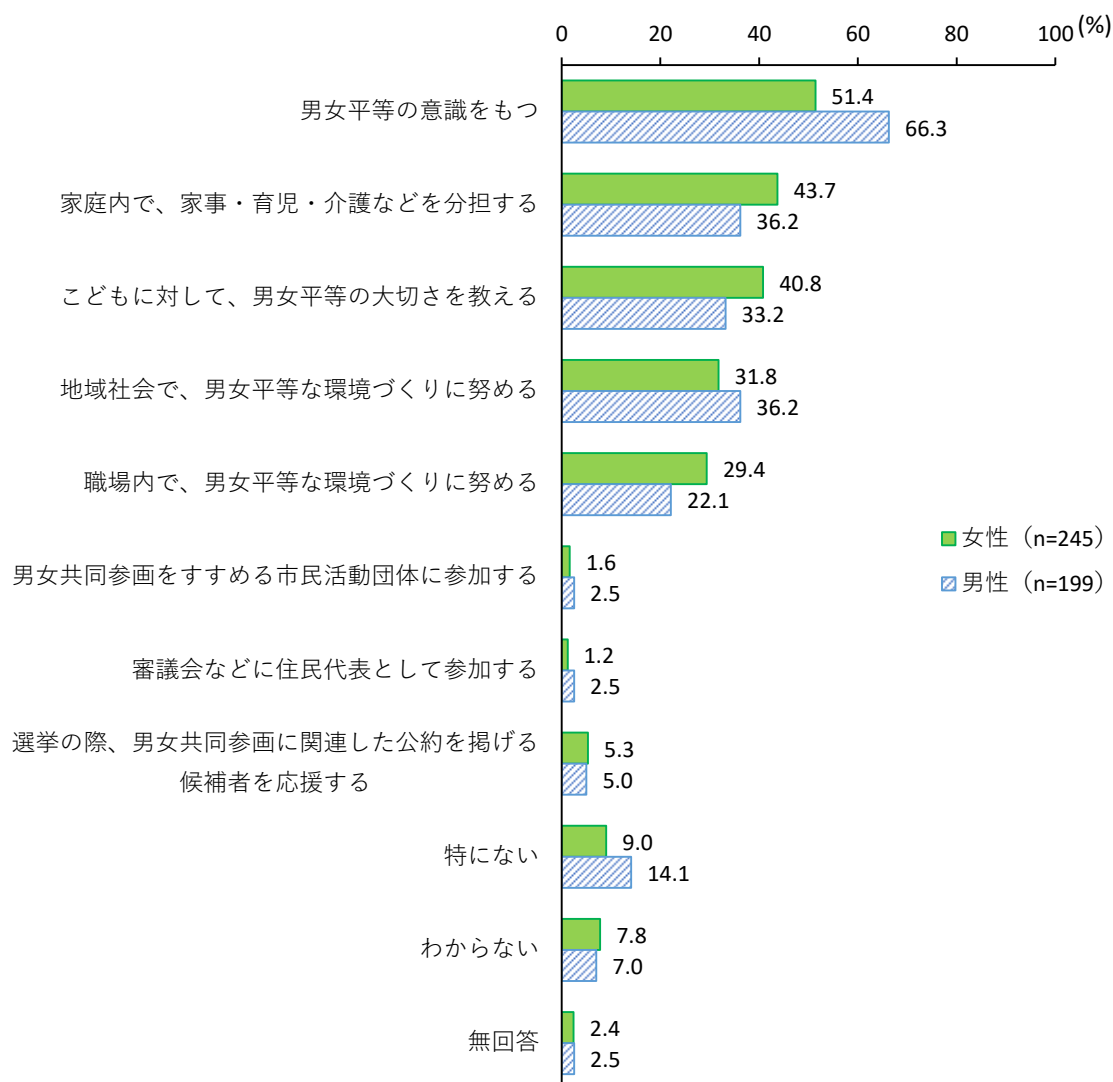
問23.あなたは男女共同参画をすすめるために、どのようなことを行いたいと思いますか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

男女共同参画推進のために行いたいことについて、最も高い項目は、「男女平等の意識をもつ」の57.5%となっており、次いで「家庭内で、家事・育児・介護などを分担する」の40.3%となっている。



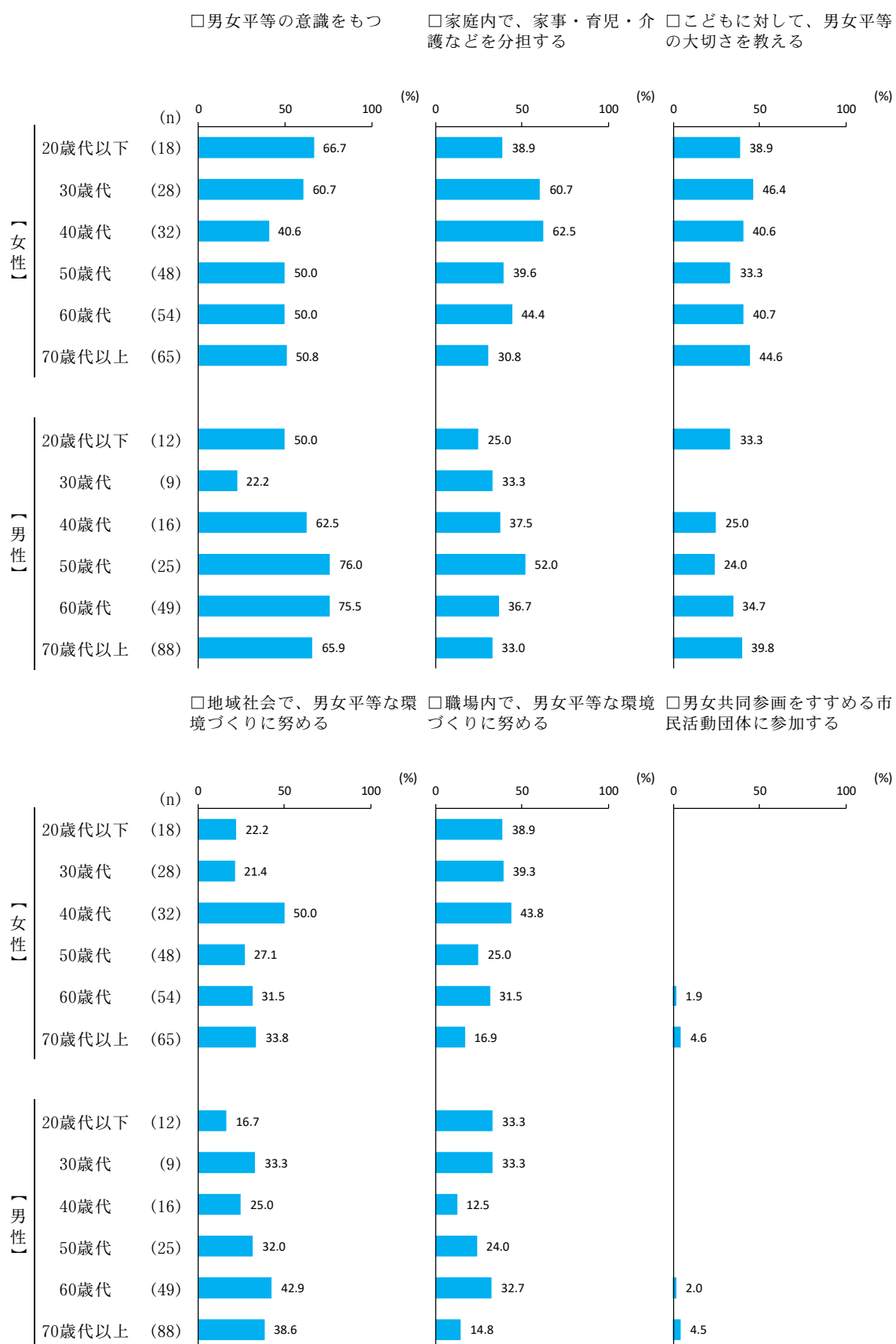
【性別】

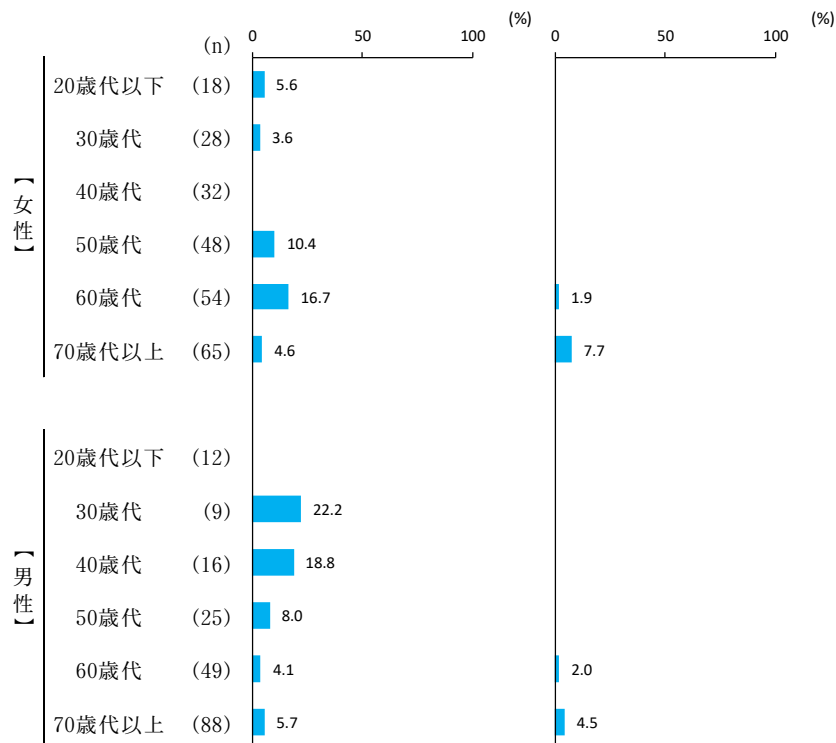
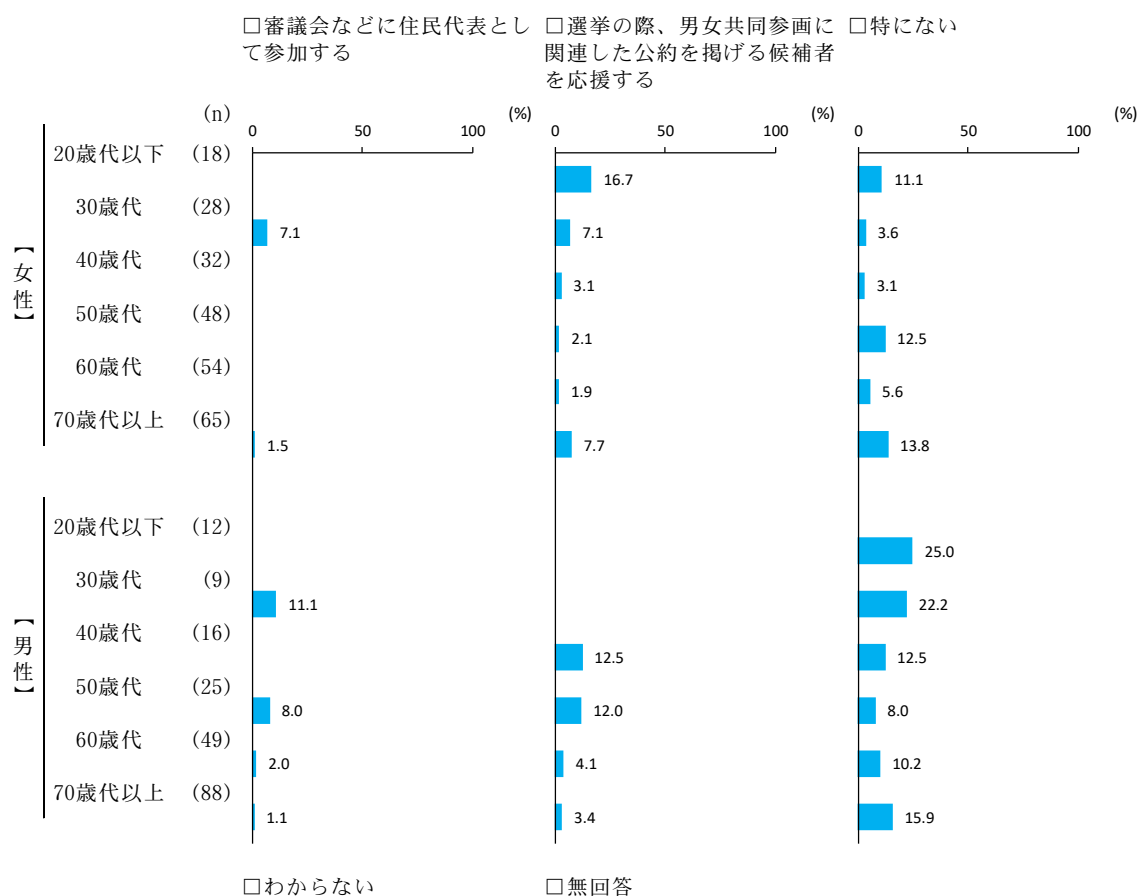
性別でみると、「こどもに対して、男女平等の大切さを教える」は女性が男性に比べ 7.6 ポイント高くなっている。また、「男女平等の意識をもつ」は男性が女性に比べ 14.9 ポイント高くなっている。



【性・年齢別】

性・年齢別でみると、「男女平等の意識をもつ」が、女性の20歳代以下で66.7%、男性の50歳代で76.0%と高くなっている。

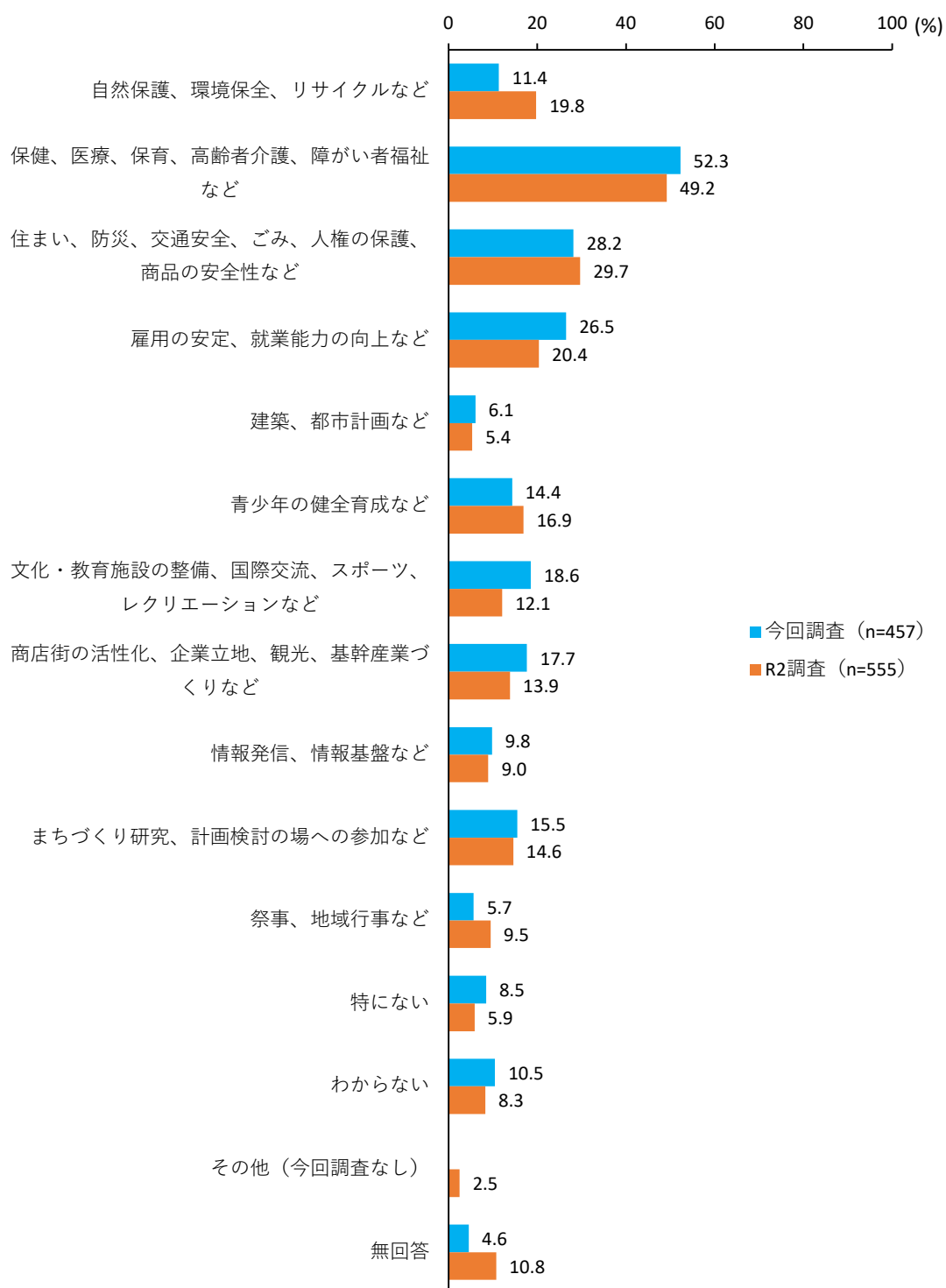




(2)活かすべき女性の視点について

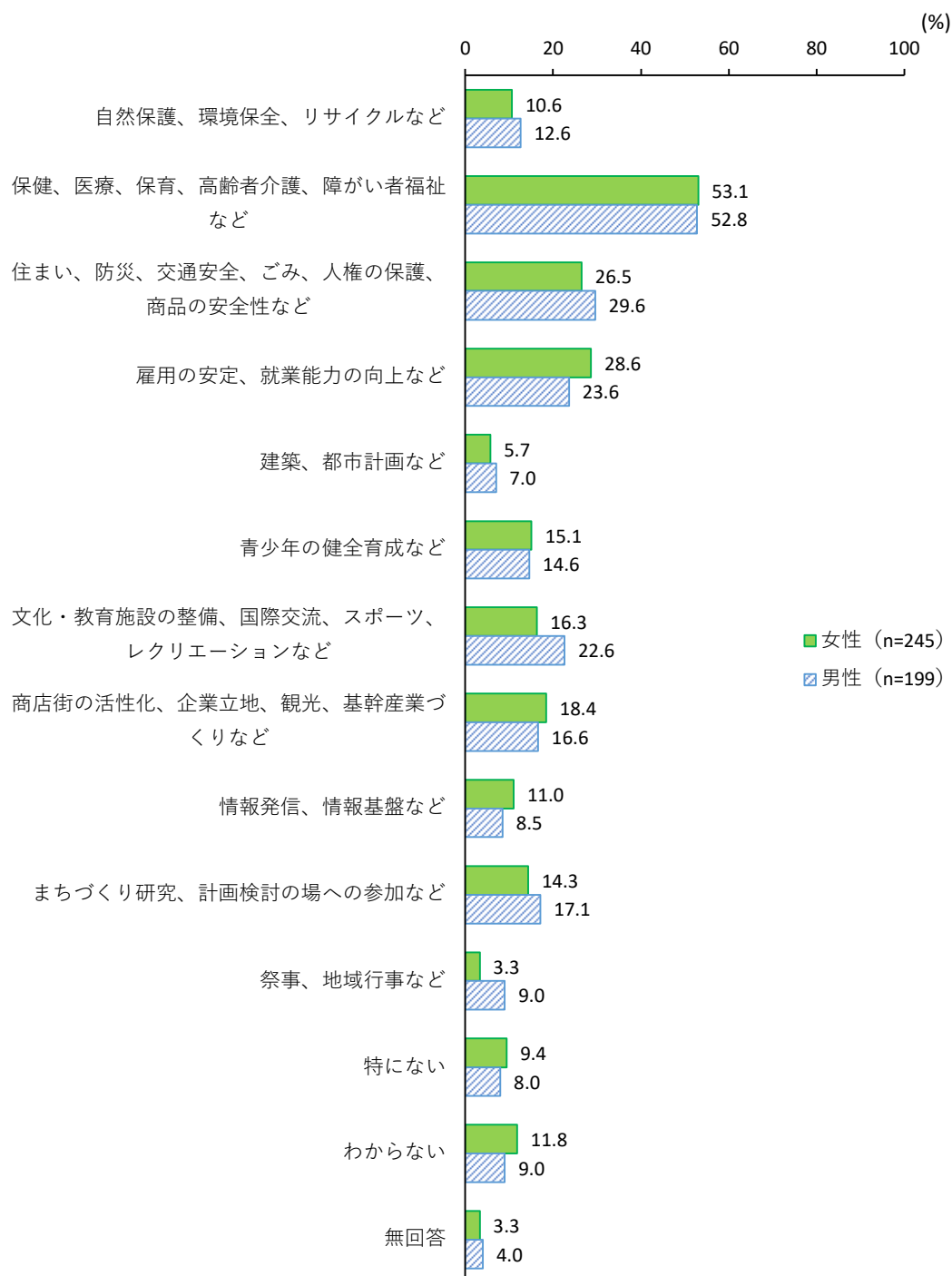
問24.あなたは、どのような分野でより女性の視点を活かすべきだと思いますか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

活かすべき女性の視点について、最も高い項目は、「保健、医療、保育、高齢者介護、障がい者福祉など」の52.3%となっており、次いで「住まい、防災、交通安全、ごみ、人権の保護、商品の安全性など」の28.2%となっている。



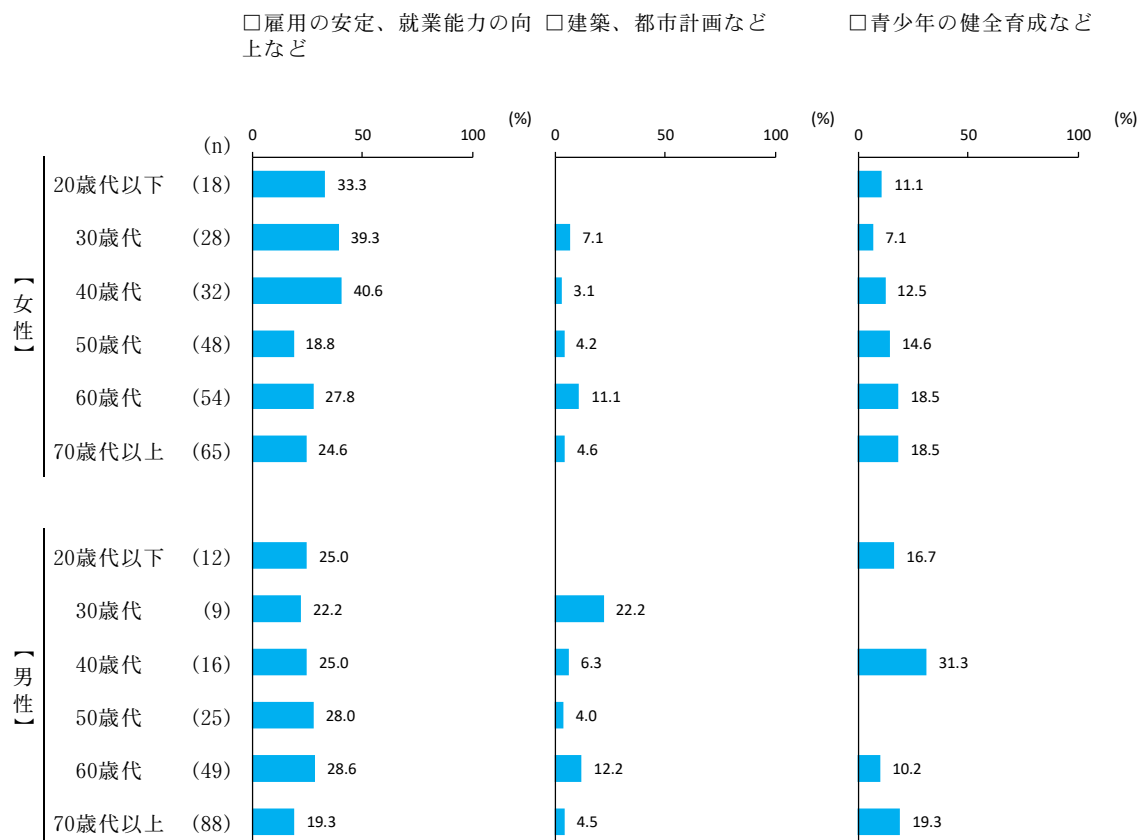
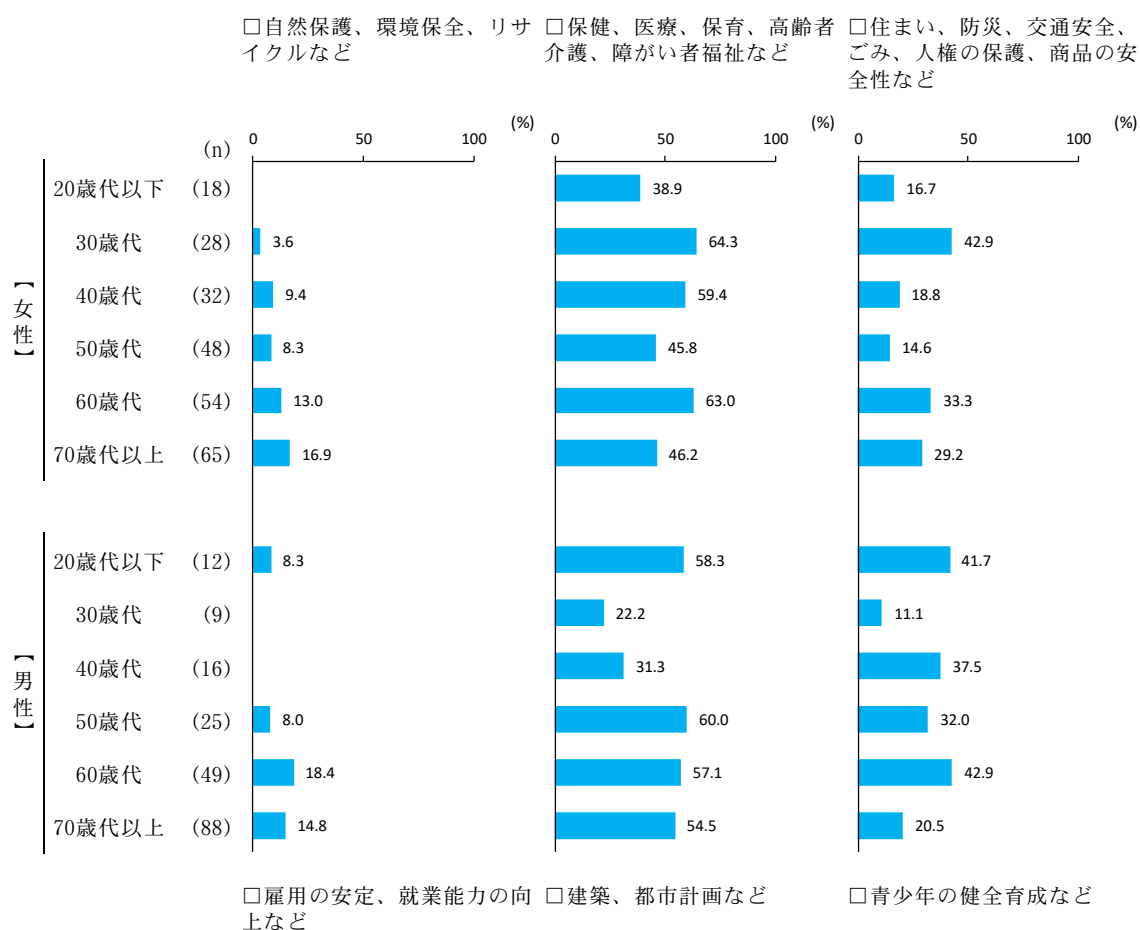
【性別】

性別でみると、「雇用の安定、就業能力の向上など」は女性が男性に比べ 5.0 ポイント高くなっている。また、「文化・教育施設の整備、国際交流、スポーツ、レクリエーションなど」は男性が女性に比べ 6.3 ポイント高くなっている。

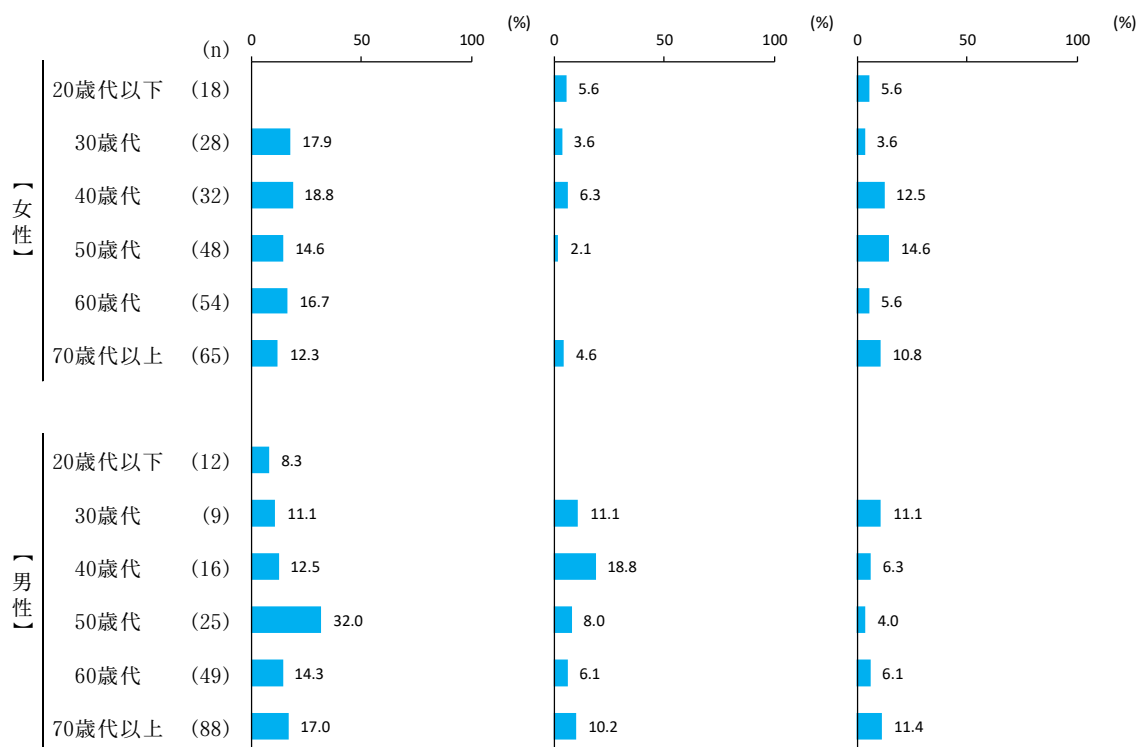
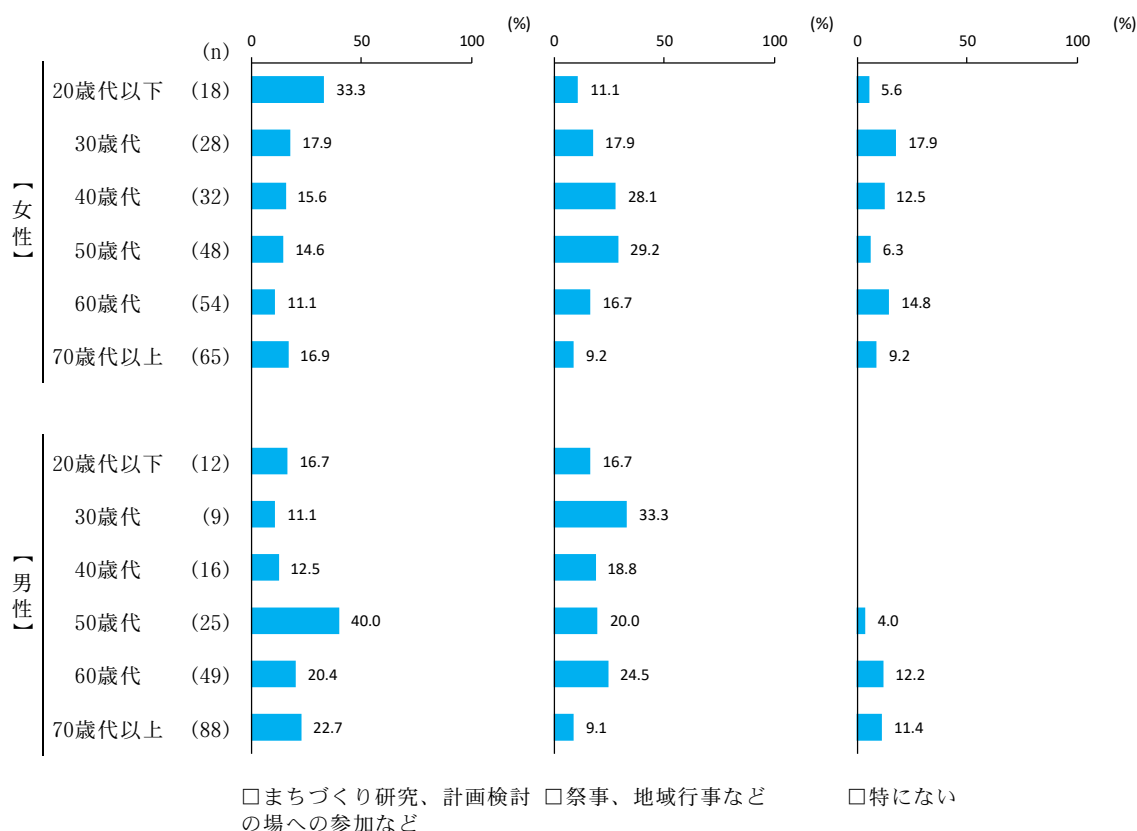


【性・年齢別】

性・年齢別でみると、「保健、医療、保育、高齢者介護、障がい者福祉など」は、女性の30歳代で64.3%、男性の50歳代で60.0%と高くなっている。

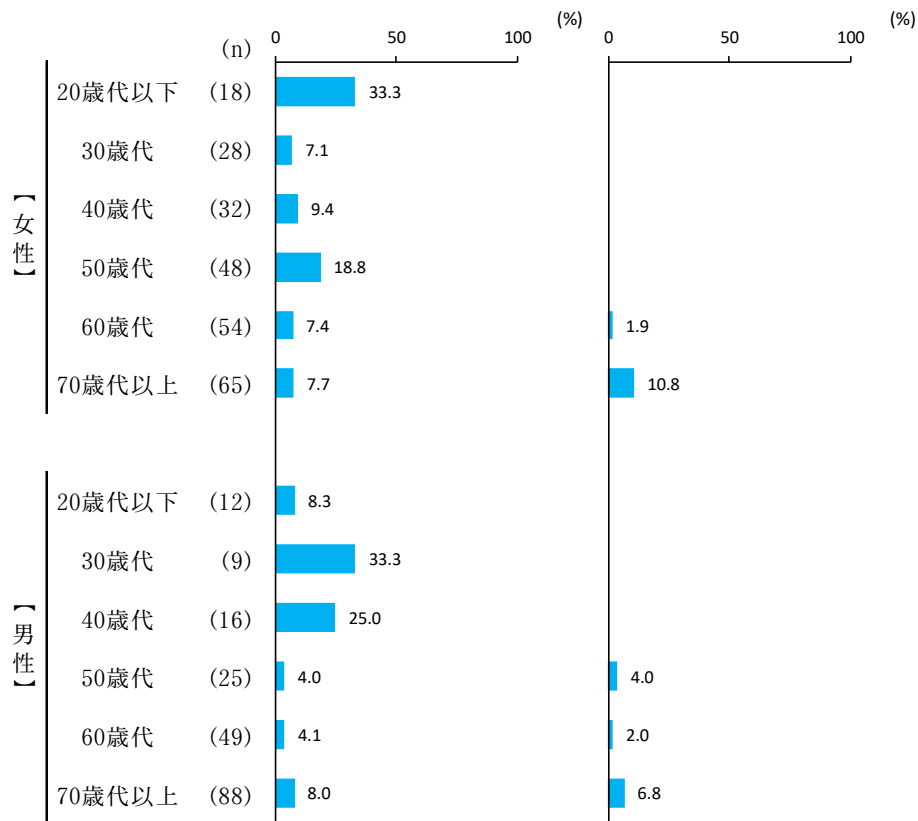


□文化・教育施設の整備、国際交流、スポーツ、レクリエーションなど □商店街の活性化、企業立地、観光、基幹産業づくりなど □情報発信、情報基盤など



□わからない

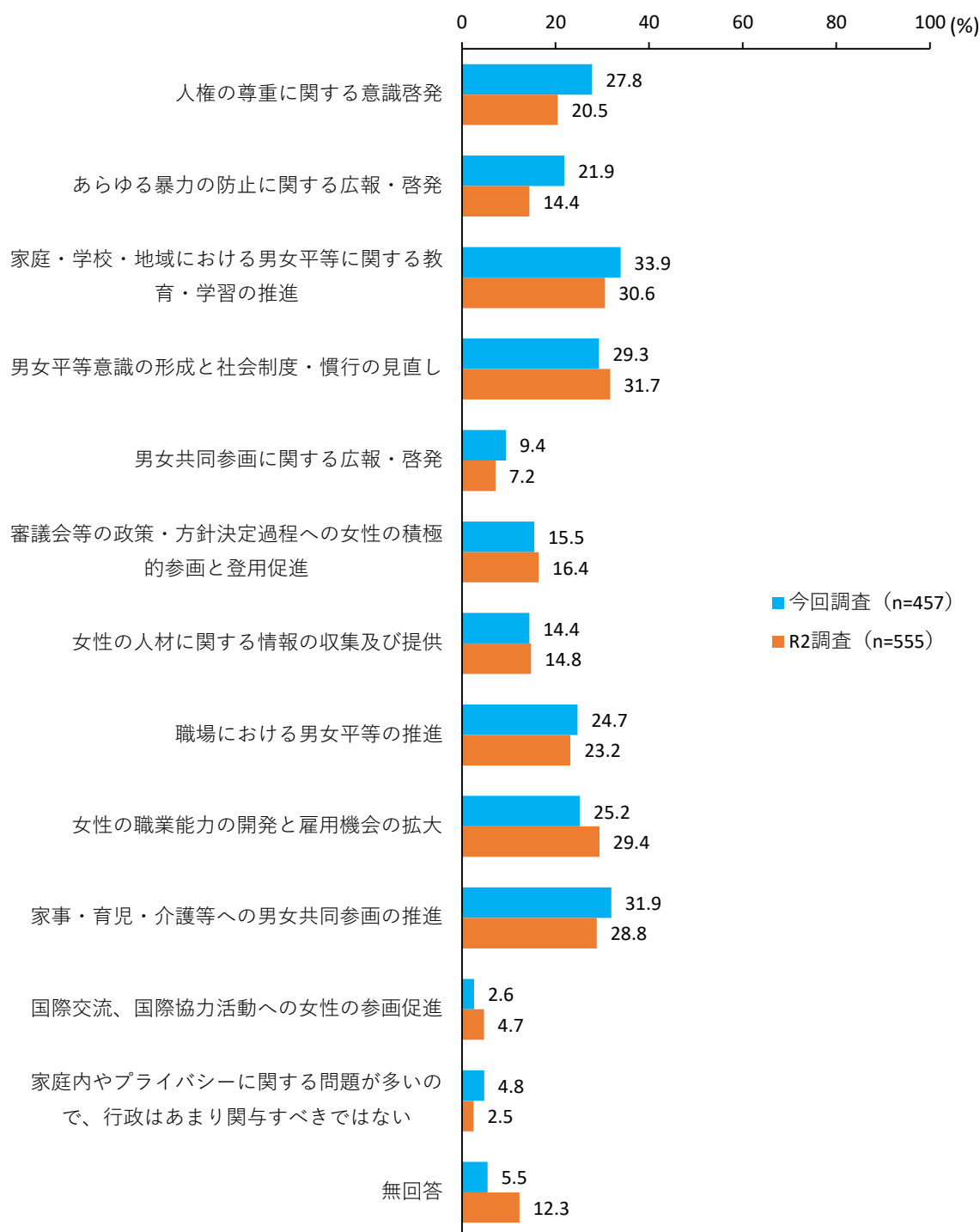
□無回答



(3)行政の事業展開について

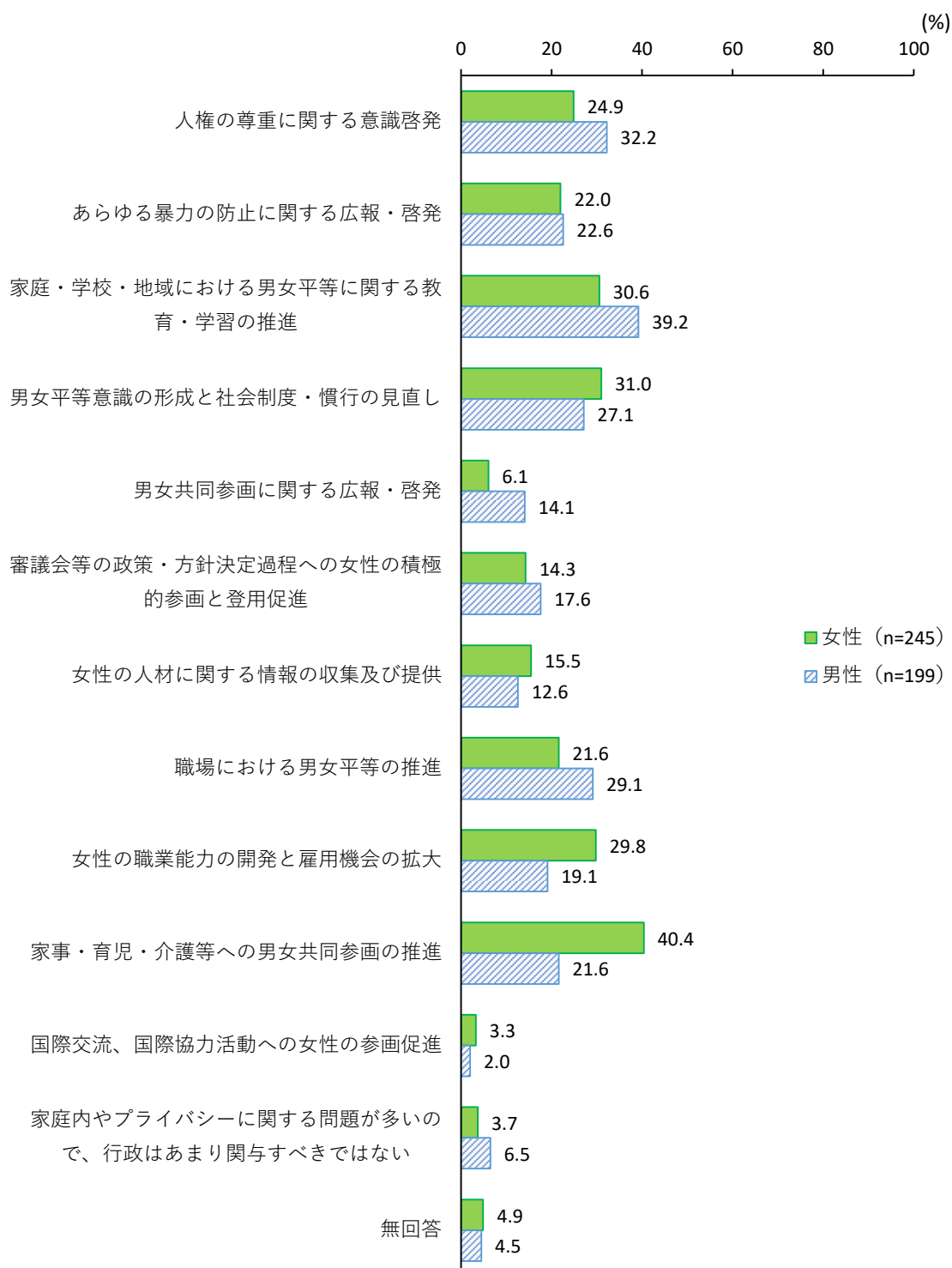
問25.あなたは男女共同参画をすすめるために、今後、行政はどのような事業を展開すればよいと思いますか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

行政の事業展開について、最も高い項目は、「家庭・学校・地域における男女平等に関する教育・学習の推進」の33.9%となっており、次いで「家事・育児・介護等への男女共同参画の推進」の31.9%となっている。



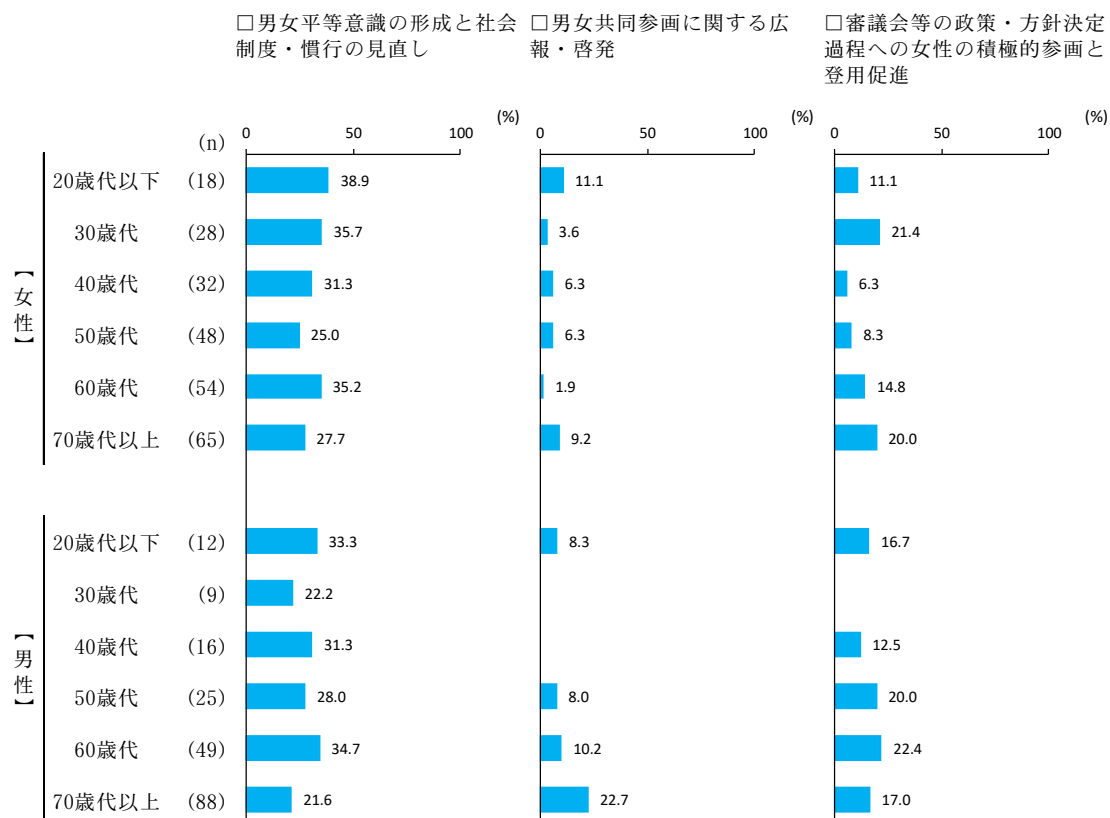
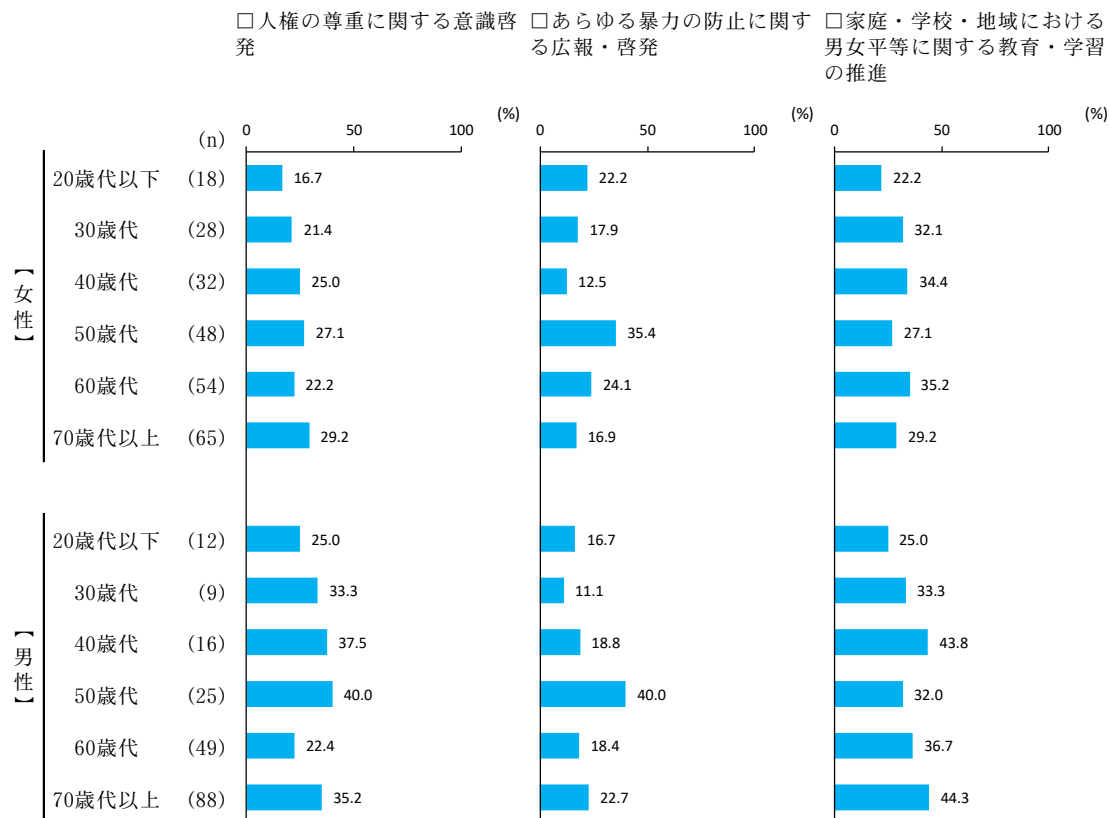
【性別】

性別でみると、「家事・育児・介護等への男女共同参画の推進」は女性が男性に比べ18.8ポイント高くなっている。また、「家庭・学校・地域における男女平等に関する教育・学習の推進」は男性が女性に比べ8.6ポイント高くなっている。

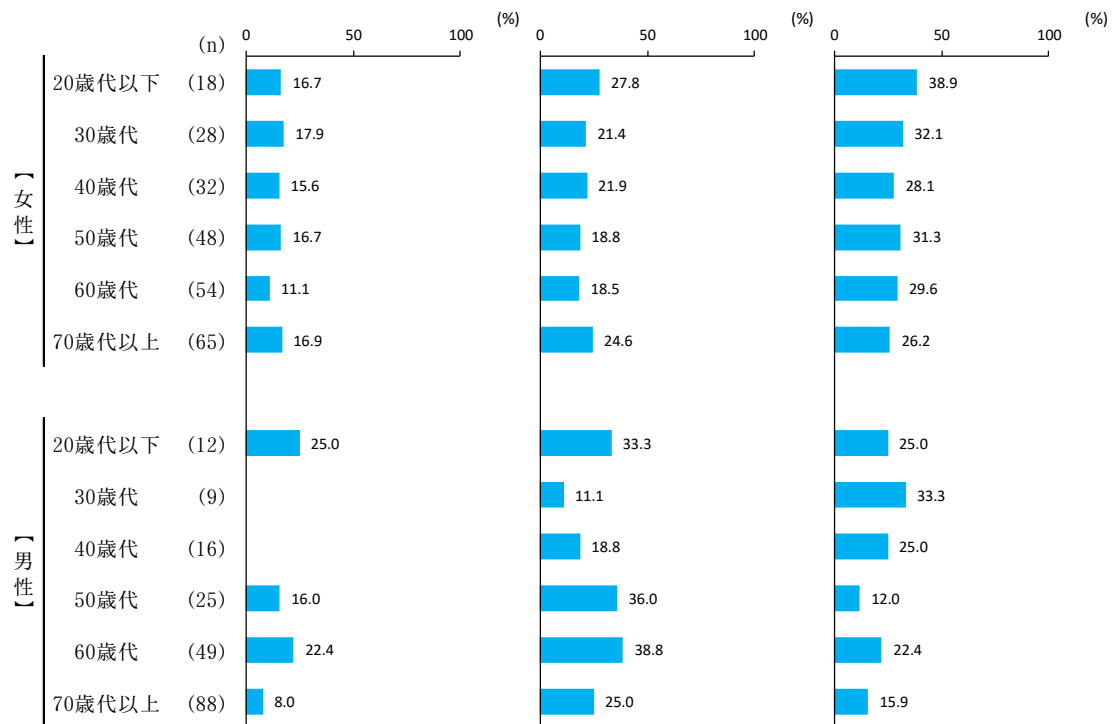


【性・年齢別】

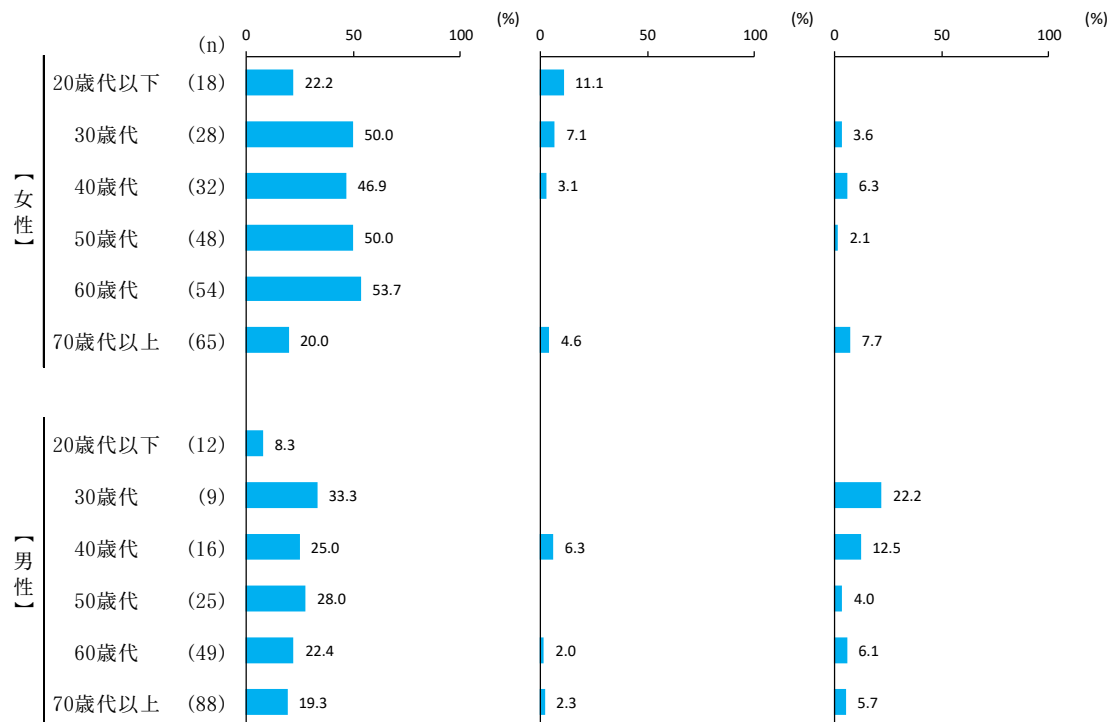
性・年齢別でみると、「家事・育児・介護等への男女共同参画の推進」は、女性の60歳代で53.7%と高くなっている。また、「家庭・学校・地域における男女平等に関する教育・学習の推進」は男性の70歳代以上で44.3%と高くなっている。



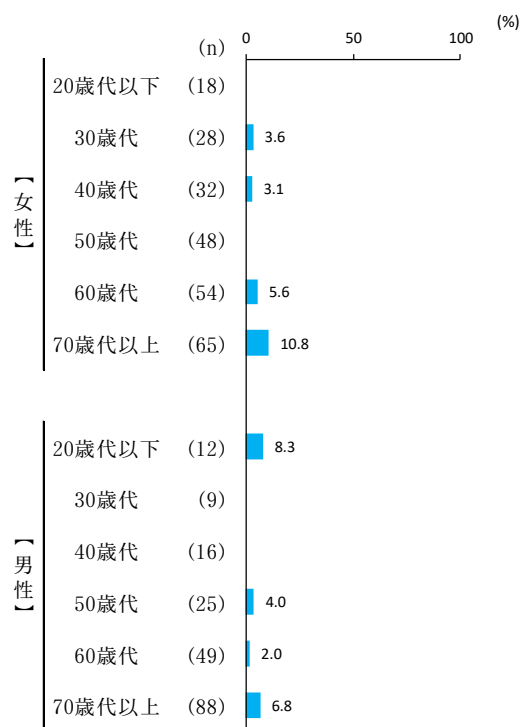
□女性の人材に関する情報の収集及び提供 □職場における男女平等の推進 □女性の職業能力の開発と雇用機会の拡大



□家事・育児・介護等への男女共同参画の推進 □国際交流、国際協力活動への女性の参画促進 □家庭内やプライバシーに関する問題が多いので、行政はあまり関与すべきではない



□無回答



9. 自由記述意見

- 今回、たくさんの質問を答えてみて、「女性」についての質問が多いなと感じました。私はまだ高校生なので、家庭も持っていないですし、仕事に就いたことも無いので、男女の不平等については聞いたことしかありません。そんな私が思うことは「男女平等」も大事だけど「一人一人が自分の長所」を生かしていける世の中にあることだと思います。多様性への理解が求められる今、「男女」で考えるべきではないんじゃないかと思いました。この調査で誰かにとって少しでも良い方向に進んだらうれしいです。(20 歳代以下女性)
- 自分は学生なので社会についてわからないことだらけですが、会社の休暇についてまだまだ理解がないと感じます。女性特有の休暇（育休・産休・生理）ですら良い印象をもたれていないし、男性の休暇（育休・介護）も変な目で見られる世の中だと思います。これらは個人の固定概念が問題なので改善は難しいと思いますが、当たり前になるように活動を広げてほしいと思います。(20 歳代以下女性)
- アンケートの最初で女性の職場等と聞いている時点で男女共同、平等とか言ってるのがうざいです。(20 歳代以下男性)
- 互いの話を聞く場が必要だと思います。それと、八街市も外国の方が多いので、そちらの方も対応していただきたいです。(30 歳代女性)
- 一つのアンケートにすぎないが、男女差や LGBT(LGBTQ)について取り上げたアンケートを実施してくれることが一歩踏み出している、考え始めているということ。これから始まりになるので、これきりにしないで考え始めていかないといけない。(30 歳代女性)
- 子育て中ですが、将来は働くことを目標としていてスキルアップのために資格取得の勉強をしています。専業主婦の方でも取得可能な資格の案内などが市役所の掲示物コーナーにあったら良いと思います。（支援センターにもよく行くので置いてあればうれしいです。）女性は一度キャリアをストップせざるを得ない事情があっても再度社会に復帰できる構造ができればと思います。小学校の高学年から、社会参加の意識が継続して持てるような学校教育ができれば、未来に希望を持ってくれるのかなとも思います。(30 歳代女性)
- 少しでも多く、女性が活躍できて、男尊女卑政治が減る事を願います。田舎、都会関係なく肩身のせまい思いをする女性の声をきちんと受けとめて、生活が出来る様な社会を切に願います。(30 歳代女性)
- 女性の事を考えてくれている企業や企画があっても外に大きく発信されなければ、なかなか気づく事は難しいように感じます。(30 歳代女性)
- 共同参画するためには、平等である必要がある。区別なのか差別なのか、優遇なのか、今までの慣行を含め考える必要がある。男女で話し合ったときに偏りがあるところが直すべきところ。(30 歳代男性)
- 身体づくり、能力、特性が違うので男女平等を目指すよりそれぞれの良いところが伸ばせて生きがいを感じられる社会にするべきだと思う。平等より互いの敬いが大事である。LGBTなどをあえて学校などで教えずにいい。余計だ。(40 歳代女性)
- 世間では少しずつ男女平等な対策が進められていますが、八街はまだまだな気がします。特に年配者の方が昔ながらの考え方の人が多く、若者達とのギャップが大きいと思います。もちろん昭和の考え方で尊重できる部分はありますが、時代は流れているので年配者の方にも「今」の考えを尊重してほしいです。古い考えのままじゃ何も変わらないと思います。(40 歳代女性)
- 男女平等について、子供たちに教育する前に、まず、私たち大人がしっかり意識する事だと思います。大

人が自然と男女平等できていれば、わざわざ子供たちに教育しなくても、大人の姿勢を見て意識を持てると思うので、古い考えの方はアップデートする必要があるのががんばってほしいです。(40 歳代女性)

- DV を受けている母親に子供手当がこず、父親の方に子供手当が行くシステム。弱い立場で困っていても父親の方に優先的に入るのは男女平等なのかという疑問がある。結局世帯主が父親であるという優先順位もおかしな話で根本的に男性がいまだに上であるのはまちがいない。(40 歳代女性)
- 家で出来る仕事を市で斡旋していただけたら嬉しい。(40 歳代女性)
- 男女共同参画社会の実現は、理想的な社会であり、特に女性は活気づくのではないかと思います。しかし、家庭生活の改善はなかなか難しく感じ、職場では中小企業だと進めることが困難に思います。まずは、大企業が先陣を切っていただき、「男女対等が当たり前」の道を作ってもらえたら、中小企業も後に続くことができるのかなと思います。これからのこどもたちの教育にこの計画を盛り込んでいくことにより、認識が変わることを願います。(40 歳代女性)
- 男性と女性はそもそも別の生物と認識しています。形状はにているかも知れませんが、種族として理解しきれない部分が多数あるでしょう。本当の平等は性別だけでなく、年齢、国籍、身体の不自由総てをまとめて人間として考えていく必要があると思います。総ての偏見を捨てて真っ白な状態で向き合っていくことが最大の難関で課題だと日頃から思っております。何を持って男とするのか、女とするのか。難しいですね。(50 歳代)
- 平等とは言え、男性と女性に二分するだけでなく、個々の可能性が十分に活かされる社会で意見が出しやすい、聞きやすい共同体が目標となってほしい。年齢や経験もそれぞれに参加しやすいところで十分に能力を発揮できる場ができたらいいです。(50 歳代女性)
- 個人経営の経営者。大抵妻は専業主婦なので働く女性の大変さを経営者(男)は何一つ分かっていない。研修強制して重いペナルティを課す位じゃないと女性の働きにくさは改善しないと思う。(50 歳代女性)
- 多様化されている今、参考までに少数派の意見にも耳を傾けていただければとも思います。(50 歳代女性)
- まだまだ男尊女卑の感覚が強い世の中。暴力(力・言葉)で人に影響を与える色が濃い。もっと自由におだやかに、平和主義に女性も発言、認められる社会になるとよい。ゼロを 1 にもできる、みんなにはその可能性はあると思います。(50 歳代女性)
- 男女平等というのは、今までの歴史や部落差別など古く根強いものがあると思いますし、簡単にはいかないものだと考えます。だからこそ考え続けていかなければいけないとも思います。男性が作り上げてきた社会の中で男性の基準で、男性と同様の仕事ができなければ同等と認められないことが果たして平等になるのかなど男性優位の時代が長い分時間はかかると思いますが、私も考えていきたいです。(50 歳代女性)
- 男女差別は不要だが、男女区別は必要だと思う。※適材適所という意味で。(50 歳代男性)
- 現状の問題点がわからないので認知が必要。(50 歳代男性)
- このようなアンケートは八街で初めてなので、とても良いことだと思うし、八街市が最近フェス等前向きに動いてくださっていることを実感しています。ありがとうございます。男女問わず、地球に生存している動物、人間、植物、皆が共存でき、もっとやさしく生活できることを望みます。(60 歳代女性)

- 男女それぞれが尊敬し、協力しあう社会にしたいです。偏見のない社会にしたいです。(60 歳代女性)
- 八街に転入して思い感じた事。小中学校の PTA 会長、地区の区長は、なぜ男性ばかりなのでしょう。八街に転入してから地区の地元の年配の方には、いまだによそ者扱いです。男女共同参画も、とても大事ですが、古き悪しき慣習をなくさないと、進まないような気がします。(60 歳代女性)
- (性の多様性・LGBTQ+・パートナーシップ宣誓制度) 自分は縁が無く 60 代で未婚です。どういう性の型でも信じ合えるパートナーがいるということはとても素晴らしいと思います。こういう方たちが胸を張って生きられる社会にしてほしいと願います。(60 歳代女性)
- 八街市の現状を良く審議した上で進めてほしい。(60 歳代女性)
- 女性の能力や特性を発揮できる社会になるともっと優しい社会になると思います。(60 歳代女性)
- 在留外国人が増加している昨今、会話のできる人材を登用したり、地域の人たちとの付き合いも合わせて考えないと思います。(60 歳代女性)
- いちいち政府が定義付けしなければならないことなのか？男女雇用機会均等法による女性の社会進出が有る中、いまさら感が有る。そんな事に金と時間を掛けることなく、社会福祉に税を振り分けるべき。今の女性達の自立心に水を差す様な施策で有る。又、性の自認、性的指向は個人の問題でそれをピックアップして規定するのはいかなるものか？自然体で空気の様に捉えればよいのではないか。(60 歳代男性)
- 共稼ぎ世帯の家なので家事は分担して行っています。食事の支度、掃除、洗濯はできる人がやる、男女の関係なく行っています。どちらかというと(男性)夫の方が家事を積極的行っています。妻は買物が得意なので担当してもらっています。協力しないと成り立ちません。(60 歳代男性)
- 先進国を十分勉強し何がよいか、何はいらない等しっかり判断し、自国にあった方法を考えること。まずは十分な知識と勉強からでないと、中途半端なものになってしまうと思います。(委員は一人一人が真剣にことの顛末を理解して望むべきだと思います。)(70 歳代以上女性)
- 迷いながら考えて必死に記入しました。私は常々、疑問に思っております。国策なので八街市には直接には関わりはないと思いますが、夫婦別姓の案はどうなったのでしょうか。子供の事を思う時、むずかしい問題ではありますが。(70 歳代以上女性)
- 時代の変化をはっきりと感じました。(70 歳代以上女性)
- なかなかできにくい分野だと思います。気長に対策を講じる必要があると思います。(70 歳代以上女性)
- 特にありません。よりよい街づくりを頑張ってください。(70 歳代以上女性)
- 70 歳以上のこのアンケートいらないのでは？(70 歳代以上女性)
- 今の日本で家庭、職場、政治、教育、皇室などあらゆる場面で平等となるのは、20 代、30 代の人達が中心となるまでは無理だと思う。頭のかたい人がいるうちは。(70 歳代以上女性)
- 男性の得意分野、女性の得意分野、それは否定できないと思うのでそれを踏まえて考えて行きたいと思います。(70 歳代以上女性)
- アンケートの結果を知らせてください。(70 歳代以上女性)
- 家の中ではそれぞれ役割分担して生活しているので、社会の中でも自然な役割分担でいいと思う。その自然さをはばむものは取りのぞかなければならない。子供には衣・食・住の生活の基本を身につけさせる教育がのぞまれる。頭から男女平等を教えるのは間違っていると考えます。(70 歳代以上男性)

- 環境的側面の質問が多かったように思う。いわゆる「ガラスの天井」を解消することも大事だと思い、回答もその思いに沿って回答している。(70 歳代以上男性)
- 今の時代でもまだまだ女性を軽視している傾向が見える（一般の会社でも公務員の世界でもある）(70 歳代以上男性)
- 思いついたことを箇条書きにします。前提：男女共同参画で「まちづくり」をする。1.いわゆる「PiT」の存在とその活動を大いに PR し、安心して住めるまちづくりの意識を開拓します。2.まちづくりに意欲のある良い意味での「野心家」市民の掘り出しを積極的にやり、仲間づくりと場を設けます。3.現実にまちづくりを推進しているグループを市の広報に載せ、場合によっては表彰します。(70 歳代以上男性)
- 興味のある仕事、他のことでも男女共同参画でやれば素晴らしい計画作成できると考えます。(70 歳代以上男性)
- 回答に無理矢理選ばなければならない質問が多いように思う。各質問に意見を書けるようにしないと回答の幅が狭くなってしまう。せっかく市民の意見を聞くのに意味がなくなってしまう。やらなきゃいけないのでやってる感がある。残念です。集計して結果は市民に知らされるのでしょうか。企画政策課だけの資料になるのでしょうか。(70 歳代以上男性)
- 1.女性が出産後も安心して生活できる社会にする。2.一般的に女性が男性より体力が劣るということを認識して物事を進める。3.スポーツ、コンクール等男女別を実施していることが格差を物語っているので、真の平等は長い道程だと思う。(70 歳代以上男性)
- 男女共同参画を広報してほしい。(70 歳代以上男性)
- 男性に出来ることと、女性にしか出来ないことの住み分けは、必要(70 歳代以上男性)
- 65 才まで会社員であったが男女平等には、不満があった!なぜなら外勤で、雨、風、極寒、猛暑でも勤務した(18~65 才)女性は建物内の事務がほとんどで男女平等などとえらくなったり、賃金差も体力的にきついのはほぼ平等である。根本的に男女平等には、社会的にむずかしいのでは?市役所でも外勤は男ばかりではないですか!平等にするなら女性も外のきたなくなる仕事もどんどんやらせてほしい!(70 歳代以上男性)
- 机上の空論にならないように(70 歳代以上男性)
- 男女とも集まる所、機会を多く作ることが大事ではないでしょうか。(70 歳代以上男性)
- 個人が自覚することが大切だと思う。仕事にしても能力を発揮できるかは本人自身と思います。男女というより自力により評価されるのでは。(70 歳代以上男性)
- 労働者人口の減少の中で女性の社会進出は非常に重要です。職業に関係なく参加してほしい。(70 歳代以上男性)
- 小中高の生理痛の休みが欠席扱いになっているため制度見直し。(年齢性別未回答)

(付) 調査票

男女共同参画社会に関する市民意識調査

市民のみなさまには、日頃より市政運営にご理解とご協力をいただきまして、厚く御礼申し上げます。

近年、女性を取り巻く環境は大きく変化しており、法律や制度上では男女平等が達成されつつあります。しかし、慣習やしきたりをはじめとした日常生活においては、男女の性別による不平等感が残っています。また、さまざまな分野への女性の参画ⁱは進んでいるものの、女性が意思決定の場に加わっていないことも多くあります。

今回お願いいたします「男女共同参画社会ⁱⁱに関する意識調査」は、市民のみなさまに男女共同参画社会に関するお考えやご意見をお聞きし、第4次八街市男女共同参画計画の策定の基礎資料とするために行うものです。

調査の実施にあたっては、市内にお住まいの満18歳以上の方から無作為に2000人を選ばせていただいております。調査は無記名であり、調査結果は統計的に処理いたしますので、ご回答いただいたみなさまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和7年8月

八街市長 北村 新司

●ご記入にあたってのお願い●

あて名のご本人がお答えください。(代筆による回答も可能です。)

回答方法は「郵送」又は「インターネット」のいずれかをお選びいただけます。

9月30日(火)までにご回答をお願いします。

【郵送でお答えいただく場合】

- ・回答は、選択肢の番号を○で囲んでください。(ことわり書きがある場合は除きます。)
- ・調査票はご記入後、同封の返信用封筒に入れて郵便ポストへご投函ください。切手は不要です。

【インターネットでお答えいただく場合】

- ・ご回答には右下の「ID」が必要になります。(「ID」は個人を特定するものではありません。)
- ・スマートフォンで右下の2次元コードを読み取ると回答ページに移動します。

ID:「 」



このアンケートにつきまして、ご質問等がございましたら下記までお願いいたします。

《問い合わせ先》 八街市役所 総務部 企画政策課

電話 043-443-1114(直通)

メールアドレス kikaku@city.yachimata.lg.jp

ⁱ「参加」は仲間として加わることですが、「参画」は単に参加するだけでなく企画・立案や決定にも自らの意思がかかわり、意見や考えを出し、負担も責任も担い合うという主体的かつ積極的な態度や行動をいいます。

ⁱⁱ男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参加する機会が確保され、政治的、経済的、社会的及び文化的利益を均等に受けることができ、かつ、共に責任を担うべき社会をいいます。

男女共同参画社会に関する市民意識調査

～みなさまのご意見をおきかせください～

男女平等と人権の尊重についておたずねします

問1. あなたは現在、次のような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。(1)から(9)のそれぞれについて、あてはまる番号をひとつずつ選んでください。

	さ 男 れ 性 て が い 非 常 に 優 遇	い 男 ど る 性 ち が ら 優 か 遇 と さ い れ え ば	平 等	い 女 ど る 性 ち が ら 優 か 遇 と さ い れ え ば	さ 女 れ 性 て が い 非 常 に 優 遇	わ か ら な い
(1) 家庭生活の中で	1	2	3	4	5	6
(2) 学校教育の中で	1	2	3	4	5	6
(3) 職場で	1	2	3	4	5	6
(4) 地域活動・社会活動の中で	1	2	3	4	5	6
(5) 法律や制度のうえで	1	2	3	4	5	6
(6) 政治や意思決定の中で	1	2	3	4	5	6
(7) 社会通念・慣習・しきたりなどで	1	2	3	4	5	6
(8) 男性の意識の中で	1	2	3	4	5	6
(9) 女性の意識の中で	1	2	3	4	5	6

問2. あなたは「男性は仕事、女性は家事・育児」という考え方について、どのように思っていますか。あてはまる番号をひとつ選んでください。

1. 賛成である 2. どちらかといえば賛成である 3. どちらかといえば反対である 4. 反対である
5. わからない

学校教育についておたずねします

問3. あなたは男女共同参画をすすめるためには、学校教育の場で何が必要だと思いますか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

1. 男女平等についての授業を行うこと
2. 男女平等についてのこども向け、家庭向けのパンフレットを作成すること
3. 名簿や教室内の座席について、男女を分けないこと
4. 家庭科などを通じて性別にかかわらず家庭生活に必要な技術を教えること
5. 性別にかかわらず、児童・生徒の個性や能力に応じた進路指導を行うこと
6. 互いの性を尊重しあうことやこどもを産み育てることの責任と大切さを教えること
7. 女性の校長や教頭を増やすこと
8. 校長や教員などに対し、男女平等についての研修を行うこと

就労についておたずねします

問4. あなたは現在の女性は働きやすい環境にあると思いますか。あてはまる番号をひとつ選んでください。

1. はい → 問5-1へ 2. いいえ → 問5-2へ 3. どちらでもない → 問6へ

問5-1. 現在の女性は働きやすい環境にあると思うのはどのような理由からですか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

1. 働く場が多い
2. 労働環境が整っている
3. 育児・子育て支援制度が整っている
4. 介護・高齢者支援制度が整っている
5. 昇進・研修等に男女の差がない
6. 結婚・出産退職の慣行がない
7. 家族の理解・協力が得やすい
8. 技能・資格等を活かすことができる
9. 女性に対する偏見がない

問5-2. 現在の女性は働きやすい環境にないと思うのはどのような理由からですか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

1. 働く場が限られている
2. 労働環境が整っていない
3. 育児・子育て支援制度が整っていない
4. 介護・高齢者支援制度が整っていない
5. 昇進・研修等に男女の差がある
6. 結婚・出産退職の慣行がある
7. 家族の理解・協力が得にくい
8. 技能・資格等を活かすことができない
9. 女性に対する偏見がある

問6. あなたは次のなかで、女性の仕事に対するあり方でどれが最も望ましいと思いますか。あてはまる番号をひとつ選んでください。

1. 仕事を持ち続けるタイプ（継続型）
2. 結婚を機に仕事をやめるタイプ（結婚退職型）
3. 出産を機に仕事をやめるタイプ（出産退職型）
4. 仕事は続けるが子育ての時期は一時やめて家庭にいるタイプ（中断再就職型）
5. 結婚してからまたは子育てが終わってから仕事を始めるタイプ（中途就職型）
6. 仕事はしないタイプ（専業主婦型）

問7. あなたは女性が職場で役職に就くことについて、どのようにお考えですか。あてはまる番号をひとつ選んでください。

1. 意欲と能力のある女性は、どんどん役職に就いてほしい
2. 女性の特性が活かせたり、女性の多い職場で役職に就いた方がよい
3. 女性も役職に就いた方がよいが、自分の上司は男性がよい
4. 現状では、役職に就くことができる経験や能力を備えた女性が少ない
5. 家事や子育て、介護などを担うことが多いため、女性が役職に就くのは難しい

問8. あなたは男女がともに働きやすい職場をつくるためには、どのようなことが大切だと思いますか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

1. 男女で仕事の内容に差があるなど、男性中心の職場運営を見直す
2. 賃金や昇進など、職場における男女平等をすすめる
3. 残業を減らすなど労働時間を短くする
4. 在宅勤務やフレックスタイム制（規定の範囲で出退社時刻等を自由に決められる制度）などを導入する
5. パートタイム労働者や派遣社員など労働条件を改善する
6. 育児休業や介護休業をとりやすい職場環境をつくる
7. 再就職準備のための講座や職業訓練を行う
8. 結婚や子育てなどで退職した後の再雇用制度を充実する
9. 仕事や職場環境についての相談窓口を充実する
10. わからない

家庭生活についておたずねします

※現に婚姻をしている方（事実婚を含む。）のみお答えください。

問9. あなたの家庭では、次の役割を主にどなたが担当していますか。（1）から（10）のそれぞれについて、あてはまる番号をひとつずつ選んでください。

	夫※	妻※	夫婦※同程度	その他家族	該当なし
(1) 世帯の収入を得る	1	2	3	4	5
(2) 日常の家計管理	1	2	3	4	5
(3) 食事の用意	1	2	3	4	5
(4) 洗濯・掃除	1	2	3	4	5
(5) 食料品・日用品の買い物	1	2	3	4	5
(6) 町内会などの地域活動	1	2	3	4	5
(7) 育児・教育	1	2	3	4	5
(8) 学校行事への参加	1	2	3	4	5
(9) 高齢者や病人の世話	1	2	3	4	5
(10) 近所づきあい	1	2	3	4	5

※夫婦には、それぞれ同居のパートナーを含みます。

※現に婚姻をしている方（事実婚を含む。）のみお答えください。

問10. 次のような日常的な仕事のうち【女性の方は】男性が今以上分担してほしいと思うもの【男性の方は】自分が今以上分担してもよいと思うものがありますか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

1. 世帯の収入を得る
2. 日常の家計管理
3. 食事の用意
4. 洗濯・掃除
5. 食料品・日用品の買い物
6. 町内会などの地域活動
7. 育児・教育
8. 学校行事への参加
9. 高齢者や病人の世話
10. 近所づきあい
11. 特になし

DV（ドメスティックバイオレンス）についておたずねします

問11. あなたは配偶者やパートナー、交際相手から、DV（身体的・精神的・経済的・性的・社会的暴力など）を受けたことがありますか。あてはまる番号をひとつ選んでください。

1. 暴力を受けたことがある ⇒ 問12へ 2. 暴力を受けたことがない ⇒ 問17へ

問12. あなたが何歳の時にDVを受けましたか。あてはまる番号を選んでください。（複数回答可）

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上

問13. DV加害者はあなたからみてどの続柄になりますか。あてはまる番号を選んでください。（複数回答可）

1. 配偶者、パートナー（事実婚等の関係） 2. 交際相手

問14. あなたはどのようなDVを受けましたか。あてはまる番号を選んでください。

	何度もあった	一・二度あった	一度も無い
(1) 身体的暴力（なぐる、蹴る、髪を引っ張る、首を絞めるなど）	1	2	3
(2) 精神的暴力（無視する、大声で怒鳴る、脅す、罵る、夜通し説教をして眠らせないなど）	1	2	3
(3) 経済的暴力（生活費を渡さない、家庭の収入について何も教えない、家計を厳しく管理するなど）	1	2	3
(4) 性的暴力（性行為の強要、中絶の強要、暴力的な性行為、避妊に協力しない、ポルノなどを無理やり見せるなど）	1	2	3
(5) 社会的暴力（人間関係や行動を監視する、電話やメールの内容を監視する、外出を禁止するなど）	1	2	3
(6) こどもを巻き込んだ暴力（こどもの前で暴力を振るう、こどもを危険な目にあわせる、自分の言いたいことをこどもに言わせるなど）	1	2	3

問15. あなたはDVを受けた時に相談しましたか。あてはまる番号をひとつ選んでください。

1. 相談した ⇒ 問16-1へ 2. 相談しなかった ⇒ 問16-2へ

問16-1. DVを受けた時に相談した人(機関)についてあてはまる番号を選んでください。（複数回答可）

1. 家族や親戚 2. 知人・職場の同僚・上司 3. 警察 4. 市役所
 5. 千葉県の相談窓口（配偶者暴力相談支援センター、千葉県女性サポートセンター等）
 6. 民生委員・児童委員 7. 弁護士等司法の専門家 8. 民間の相談機関
 9. 学校・教育関係者 10. 医療機関

問16-2.相談しなかった理由についてあてはまる番号を選んでください。(複数回答可)

1. 相談できる人がいなかった
2. 相談できる機関が分からなかった
3. 相談するほどのことでは無いと思ったから
4. 自身にも悪いところがあると思ったから
5. 相談しても無駄だと思ったから
6. 自分さえ我慢すれば何とかこのままやっていけると思ったから

問17. あなたはDVを見聞きしたことがありますか。あてはまる番号を選んでください。(複数回答可)

1. 身近な人から暴力の相談を受けたことがある
2. 相談は受けたことがないが、配偶者などからの暴力を受けた人を知っている
3. 配偶者などからの暴力がテレビや新聞で問題になっていることを知っている
4. 配偶者などからの暴力について見聞きしたことはない

問18.行政のDV支援対応について望むものはどれですか。あてはまる番号を選んでください。(複数回答可)

1. 警察による対応
2. 一時避難所の確保
3. 相談体制の充実
4. 相談機関の周知
5. 支援センター等の整備
6. 経済的支援
7. 意識啓発

性の多様性についておたずねします

問19. LGBTやLGBTQ+という言葉を知っていますか。あてはまる番号をひとつ選んでください。

※LGBTQ+とは、[L]レズビアン(女性同性愛者)、[G]ゲイ(男性同性愛者)、[B]バイセクシュアル(両性愛者)、[T]トランスジェンダー(出生時に割り当てられた性別と自認する性別が一致しない人)、[Q]クエスチョン(性自認や性的指向が定まっていない人)の頭文字をとった言葉で、[+]はそれ以外の多様な性の在り方を包括する意味を指します。

1. 知っていた
2. 知っていたが、意味は知らなかった
3. 知らなかった

問20. LGBTQ+など性的マイノリティ(少数者)の方にとって、現在の社会は偏見や差別などで生きづらいと思いますか。あてはまる番号をひとつ選んでください。

1. 思う
2. どちらかといえば思う
3. どちらかといえば思わない
4. 思わない
5. わからない

問21. パートナーシップ宣誓制度について、八街市でも実施する必要があると思いますか。あてはまる番号をひとつ選んでください。

※パートナーシップ宣誓制度とは、同性・異性問わず、互いを人生のパートナーとし、日常生活において協力し合うことを約束した二人が、パートナーシップの関係にあることを届け出ることができる制度です。

1. 思う
2. どちらかといえば思う
3. どちらかといえば思わない
4. 思わない
5. わからない

問22. パートナーシップ宣誓制度の対象者に異性間の事実婚カップルも含む必要があると思いますか。あてはまる番号をひとつ選んでください。

1. 思う
2. どちらかといえば思う
3. どちらかといえば思わない
4. 思わない
5. わからない

市民と行政の役割についておたずねします

問23. あなたは男女共同参画をすすめるために、どのようなことを行いたいと思いますか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

1. 男女平等の意識をもつ
2. 家庭内で、家事・育児・介護などを分担する
3. こどもに対して、男女平等の大切さを教える
4. 地域社会で、男女平等な環境づくりに努める
5. 職場内で、男女平等な環境づくりに努める
6. 男女共同参画をすすめる市民活動団体に参加する
7. 審議会などに住民代表として参加する
8. 選挙の際、男女共同参画に関連した公約を掲げる候補者を応援する
9. 特にない
10. わからない

問24. あなたは、どのような分野でより女性の視点を活かすべきだと思いますか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

1. 自然保護、環境保全、リサイクルなど
2. 保健、医療、保育、高齢者介護、障がい者福祉など
3. 住まい、防災、交通安全、ごみ、人権の保護、商品の安全性など
4. 雇用の安定、就業能力の向上など
5. 建築、都市計画など
6. 青少年の健全育成など
7. 文化・教育施設の整備、国際交流、スポーツ、レクリエーションなど
8. 商店街の活性化、企業立地、観光、基幹産業づくりなど
9. 情報発信、情報基盤など
10. まちづくり研究、計画検討の場への参加など
11. 祭事、地域行事など
12. 特にない
13. わからない

問25. あなたは男女共同参画をすすめるために、今後、行政はどのような事業を展開すればよいと思いますか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

1. 人権の尊重に関する意識啓発
2. あらゆる暴力の防止に関する広報・啓発
3. 家庭・学校・地域における男女平等に関する教育・学習の推進
4. 男女平等意識の形成と社会制度・慣行の見直し
5. 男女共同参画に関する広報・啓発
6. 審議会等の政策・方針決定過程への女性の積極的参画と登用促進
7. 女性の人材に関する情報の収集及び提供
8. 職場における男女平等の推進
9. 女性の職業能力の開発と雇用機会の拡大
10. 家事・育児・介護等への男女共同参画の推進
11. 国際交流、国際協力活動への女性の参画促進
12. 家庭内やプライバシーに関する問題が多いので、行政はあまり関与すべきではない

あなたご自身のことについておたずねします

F1. あなたの性別についておきかせください。※ご自身の自認によりご記入ください。

1. 男性 2. 女性 3. どちらともいえない

F2. あなたの年齢についておきかせください。

1. 20歳代以下 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上

F3. あなたの職業についておきかせください。

農業	自営業・自由業	勤め人	その他
1. 事業主 2. 家族従事者	3. 事業主 4. 家族従事者	5. 管理職(部課長以上) 6. 管理職以外の一般社員・職員 7. パート・アルバイト・内職 8. 派遣・契約社員	9. 専業主婦・主夫 10. 学生 11. 無職

F4. あなたは八街に住んで何年になりますか。あてはまる番号を選んでください。

1. 生まれたときから 2. 3年未満 3. 3年以上5年未満 4. 5年以上10年未満
5. 10年以上20年未満 6. 20年以上30年未満 7. 30年以上

F5. あなたは現在結婚していच्छいますか。あてはまる番号を選んでください。

1. 現に婚姻をしている(事実婚を含む。) ⇒ F6へ 2. 未婚 3. 離死別

F6. ふたりとも収入を得る仕事(パート・アルバイトなど含む)をしていますか。あてはまる番号を選んでください。

1. 夫(男性のパートナー)だけが働いている 2. 妻(女性のパートナー)だけが働いている
3. ふたりとも働いている 4. ふたりとも働いていない 5. その他()

質問項目はここまでです。多数の質問にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

男女共同参画について、ご意見がありましたら自由にご記入ください。

お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて投函してください。
インターネットでお答えいただく場合は、投函不要です。